

令和6年度
こども・子育て支援団体の実態調査
調査報告書

令和7年2月
一般財団法人仙台こども財団

目次

I 調査概要	1
II 回答団体について	3
III 調査結果の概要	5
IV 調査結果	7
1. 団体の現状について	7
(1) 常勤/非常勤スタッフの人数	7
(2) 無償/有償ボランティアの人数	13
(3) 事業規模(支出規模)	19
(4) ご支援いただいた寄附の種類・件数	25
(5) 活動分野(当てはまるもの全て/主たる活動分野)	31
(6) 活動の対象	43
(7) 具体的な活動内容	48
(8) 今後取り組みたい活動内容	57
(9) 活動上の課題(当てはまるもの全て/主たる課題)	63
2. 連携・協働について	75
(1) これまでに連携の実績があった関係機関等	75
(2) 今後の連携を希望する関係機関等	81
(3) 今後、連携を通じて取り組みたい活動内容	86
3. 広報について	91
(1) 広報・情報発信の手段	91
(2) 紙媒体の掲示方法	96
4. 地域社会全体で子ども・子育てを支えるために必要だと思うこと	101
5. 仙台子ども財団に対するご意見	111
V 調査を振り返って	119
VI (参考) 質問項目一覧	120



I 調査概要

1 調査の目的

地域社会全体で子ども・子育てを支えるにあたって重要な役割を果たしている子ども・子育て支援団体（以下「支援団体」という。）に関して、連携・協働の状況や情報発信に係る課題等を明らかにし、支援団体の現状把握を行うとともに、仙台子ども財団（以下「財団」という。）のネットワーク構築に資する取組の検討に役立てる。また、調査結果の公表を通じて、支援団体の社会的な認知度向上や、支援団体・企業・関係機関等相互の連携・協働の促進を図る。

2 調査対象及び調査方法

(1) 調査対象	仙台市域を中心に活動する子ども・子育て支援団体
(2) 調査票の送付・回収方法	メールでの送付・WEB回答
(3) 調査期間	令和6年7月10日（水）から8月10日（土）まで
(4) 送付数	630件
(5) 回答数	223件

3 調査内容

支援団体の現状を把握するため、下記について質問票調査を実施した。

1. 団体の現状について

- (1) 常勤/非常勤スタッフの人数
- (2) 無償/有償ボランティアの人数
- (3) 事業規模（支出規模）
- (4) ご支援いただいた寄附の種類・件数
- (5) 活動分野（当てはまるもの全て/主たる活動分野）
- (6) 活動の対象
- (7) 具体的な活動内容
- (8) 今後取り組みたい活動内容
- (9) 活動上の課題（当てはまるもの全て/主たる課題）

2. 連携・協働について

- (1) これまでに連携の実績があった関係機関等
- (2) 今後の連携を希望する関係機関等
- (3) 今後、連携を通じて取り組みたい活動内容

3. 広報について

- (1) 広報・情報発信の手段
- (2) 紙媒体の掲示方法

4. 地域社会全体でこども・子育てを支えるために必要だと思うこと

5. 仙台こども財団に対するご意見

4 報告書の見方

- グラフ・表中の「n (number of cases)」は、調査票の有効回収数を示している。
- 割合は全て百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、合計が100.0%にならない場合もある。
- 複数回答の場合、回答の合計割合が100.0%を超える場合がある。
- グラフ・表として示したもののうち、回答数が0の選択肢は表示を省略している場合がある。また、設問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化している場合がある。
- 表内の網掛けは、選択肢に対するクロス集計軸ごとの最も高い割合の内容を示している。
- 表内の「-」表記は、回答数が0であることを示している。また、回答の構成比について回答者が少なく小数点第2位を四捨五入した際に0.1%未満となる値は「0.0」と表記している場合がある。
- 報告の都合上、設問の順番を入れ替えて報告している場合がある。

5 本調査についての特記事項

- 回答の負担を考慮し、問11においてA、Bと回答団体を類型化した (p. 4 参照)。それにより、回答団体によって回答した設問数が異なっている。
- 本調査で扱うデータは、回答に協力していただいた中での傾向を把握するものであり、支援団体一般の特徴について表しているものではない。

II 回答団体について

問5 団体の形態・種類

種別	件数	(%)	備考
認定NPO法人	14	6.3	「その他」の内訳は以下のとおり。 ・企業が運営 14件 ・個人で活動 5件 ・労働者協同組合が運営 2件 ・地方独立行政法人が運営 1件 ・飲食店が運営 1件 ・未分類、不明 2件
特定非営利活動法人（NPO法人）	95	42.6	
一般社団法人	11	4.9	
公益社団法人	1	0.4	
一般財団法人	-	-	
公益財団法人	1	0.4	
社会福祉法人	8	3.6	
学校法人	1	0.4	
宗教法人	-	-	
任意団体	65	29.1	
その他	25	11.2	
分からない	2	0.9	

問6 主たる事務所の所在地

市町名	件数	(%)	市町名	件数	(%)
仙台市	157	70.4	松島町	1	0.4
石巻市	6	2.7	七ヶ浜町	-	-
塩竈市	5	2.2	利府町	2	0.9
気仙沼市	2	0.9	大和町	-	-
白石市	2	0.9	大郷町	-	-
名取市	6	2.7	大衡村	-	-
角田市	3	1.3	色麻町	1	0.4
多賀城市	2	0.9	加美町	1	0.4
岩沼市	2	0.9	涌谷町	-	-
登米市	1	0.4	美里町	-	-
栗原市	1	0.4	女川町	-	-
東松島市	4	1.8	南三陸町	-	-
大崎市	4	1.8	なし	14	6.3
富谷市	2	0.9	県外	2	0.9
蔵王町	1	0.4	その他	-	-
七ヶ宿町	-	-			
大河原町	1	0.4			
村田町	-	-			
柴田町	1	0.4			
川崎町	1	0.4			
丸森町	1	0.4			
巨理町	-	-			
山元町	4	1.8			

問7 活動地域

市町名	件数	(%)	市町名	件数	(%)	備考
仙台市	162	72.6	松島町	5	2.2	「その他」として以下のような回答があった。 ・東北6県 ・全国 ・ご依頼先の地域 ・首都圏 ・海外（カンボジア）
石巻市	12	5.4	七ヶ浜町	4	1.8	
塩竈市	11	4.9	利府町	12	5.4	
気仙沼市	5	2.2	大和町	6	2.7	
白石市	5	2.2	大郷町	2	0.9	
名取市	17	7.6	大衡村	1	0.4	
角田市	2	0.9	色麻町	2	0.9	
多賀城市	5	2.2	加美町	4	1.8	
岩沼市	8	3.6	涌谷町	2	0.9	
登米市	2	0.9	美里町	1	0.4	
栗原市	1	0.4	女川町	-	-	
東松島市	6	2.7	南三陸町	1	0.4	
大崎市	6	2.7	宮城県内	28	12.6	
富谷市	8	3.6	県外	7	3.1	
蔵王町	4	1.8	その他	14	6.3	
七ヶ宿町	-	-				
大河原町	6	2.7				
村田町	1	0.4				
柴田町	4	1.8				
川崎町	1	0.4				
丸森町	2	0.9				
亘理町	2	0.9				
山元町	4	1.8				

問8 団体の活動開始時期(年)

時期	件数	(%)
昭和40(1965)年以前	3	1.3
昭和41(1966)年～平成10(1998)年	19	8.5
平成11(1999)年～平成22(2010)年	55	24.7
平成23(2011)～令和元(2019)年	96	43.0
令和2(2020)年以降	38	17.0
分からない	4	1.8
回答なし	8	3.6

問11 貴団体は次の①～③のうちどれに近いですか？

種別	件数	(%)
A：法人格を持つ団体・組織、または、マネジメント体制や規則を持つ団体・組織	163	
①Aに該当し、こども・子育て支援を主たる活動としている	98	43.9
②Aに該当し、主たる活動とは別にこども・子育て支援に取り組んでいる	65	29.1
B：A以外の、自発的に集まって活動するグループ・サークル	60	
③Bに該当し、活動の中でこども・子育て家庭と関わりがある	60	26.9

Ⅲ 調査結果の概要

1. 団体の現状について

(1) 常勤/非常勤スタッフの人数 (p. 7～12)

○常勤スタッフの人数については、「いない」が23.9%と最も多く、次いで「2～3人」が16.0%、「4～5人」が14.7%、「6～9人」が14.1%となっている。

○非常勤スタッフの人数については、「いない」が21.5%と最も多く、次いで「2～3人」が20.2%、「4～5人」が16.6%となっている。

(2) 無償/有償ボランティアの人数 (p. 13～18)

○無償ボランティアの人数については、「いない」が31.3%と最も多く、次いで「1～5人」が21.5%、「10～19人」が16.6%となっている。

○有償ボランティアの人数については、「いない」が62.6%と最も多く、次いで「1～5人」が19.0%、「10～19人」が5.5%となっている。

(3) 事業規模（支出規模） (p. 19～23)

○事業規模（支出規模）については、「1000～3000万円未満」が20.2%と最も多く、次いで「50万円未満」が12.9%、「1億円以上」が12.3%となっている。

(4) ご支援いただいた寄附の種類・件数 (p. 25～30)

○支援団体がこれまでに受けた寄附の種類については、「寄附金」が66.3%と最も多く、次いで「食料品」が47.2%、「日用品（文房具、玩具、家具などを含みます）」が42.9%となっている。

○昨年度、ご支援いただいた寄附の件数については、「なし」が31.9%と最も多く、次いで「1～5件」が31.3%、「10～19件」が10.4%となっている。

(5) 活動分野（当てはまるもの全て/主たる活動分野） (p. 31～41)

○活動分野（当てはまるもの全て）については、「世代を超えた交流・居場所づくり」が32.5%と最も多く、次いで「子育て相談・育児相談」及び「放課後支援」が23.9%、「障がい児（者）支援、医療ケア児の支援（その親やきょうだいの支援も含む）」が23.3%となっている。

○主たる活動分野については、「世代を超えた交流・居場所づくり」及び「障がい児（者）支援、医療ケア児の支援（その親やきょうだいの支援も含む）」が13.5%と最も多く、次いで「放課後支援」が11.0%、「子ども食堂・地域のふれあいサロン」が8.6%となっている。

(6) 活動の対象 (p. 43～47)

○活動の対象とする世代については、「小学生（6～12才）」が50.3%と最も多く、次いで「中学生（12～15才）」が42.3%、「高校生（15～18才）」が38.7%となっている。

(7) 具体的な活動内容 (p. 48～56)

※原文のまま掲載

(8) 今後取り組みたい活動内容 (p. 57～62)

※原文のまま掲載

(9) 活動上の課題（当てはまるもの全て/主たる課題）（p. 63～73）

- 活動上の課題（当てはまるもの全て）について、回答団体全体をみると、「事業費や管理費などの資金確保が難しい」が48.0%と最も多く、次いで「事業や組織運営に携わる人材が不足している」が43.0%、「自団体の活動を効果的に広報・PRできていない」が26.0%となっている。
- 主たる課題について、回答団体全体を見ると、「事業費や管理費などの資金確保が難しい」が29.6%と最も多く、次いで「事業や組織運営に携わる人材が不足している」が17.5%となっている。

2. 連携・協働について**(1) これまでに連携の実績があった関係機関等**（p. 75～79）

- これまでに連携の実績があった関係機関等については、「地域団体」が57.1%と最も多く、次いで「行政」が55.2%、「小学校」が47.9%となっている。
- 回答のあった163団体のうち、「特にいない」、「分からない」及び「回答なし」を除いた、9割以上を占める152団体がいずれかの関係機関等との連携の実績を有している。

(2) 今後の連携を希望する関係機関等（p. 81～85）

- 今後の連携を希望する関係機関等について、回答団体全体を見ると、「こども・子育て支援を主たる活動とする団体」が33.6%と最も多く、次いで「児童館・児童センター」が29.6%、「企業」が27.4%となっている。

(3) 今後、連携を通じて取り組みたい活動内容（p. 86～89）

※原文のまま掲載

3. 広報について**(1) 広報・情報発信の手段**（p. 91～95）

- 広報・情報発信の手段について、回答団体全体をみると、「紙媒体（チラシ、ポスターなど）」が70.9%と最も多く、次いで「団体ホームページ」が60.1%、「Instagram」が47.5%となっている。

(2) 紙媒体の掲示方法（p. 96～100）

※原文のまま掲載

4. 地域社会全体でこども・子育てを支えるために必要だと思うこと

※原文のまま掲載（p. 101～110）

5. 仙台こども財団に対するご意見

※原文のまま掲載（p. 111～117）

IV 調査結果

1. 団体の現状について

(1) 常勤/非常勤スタッフの人数

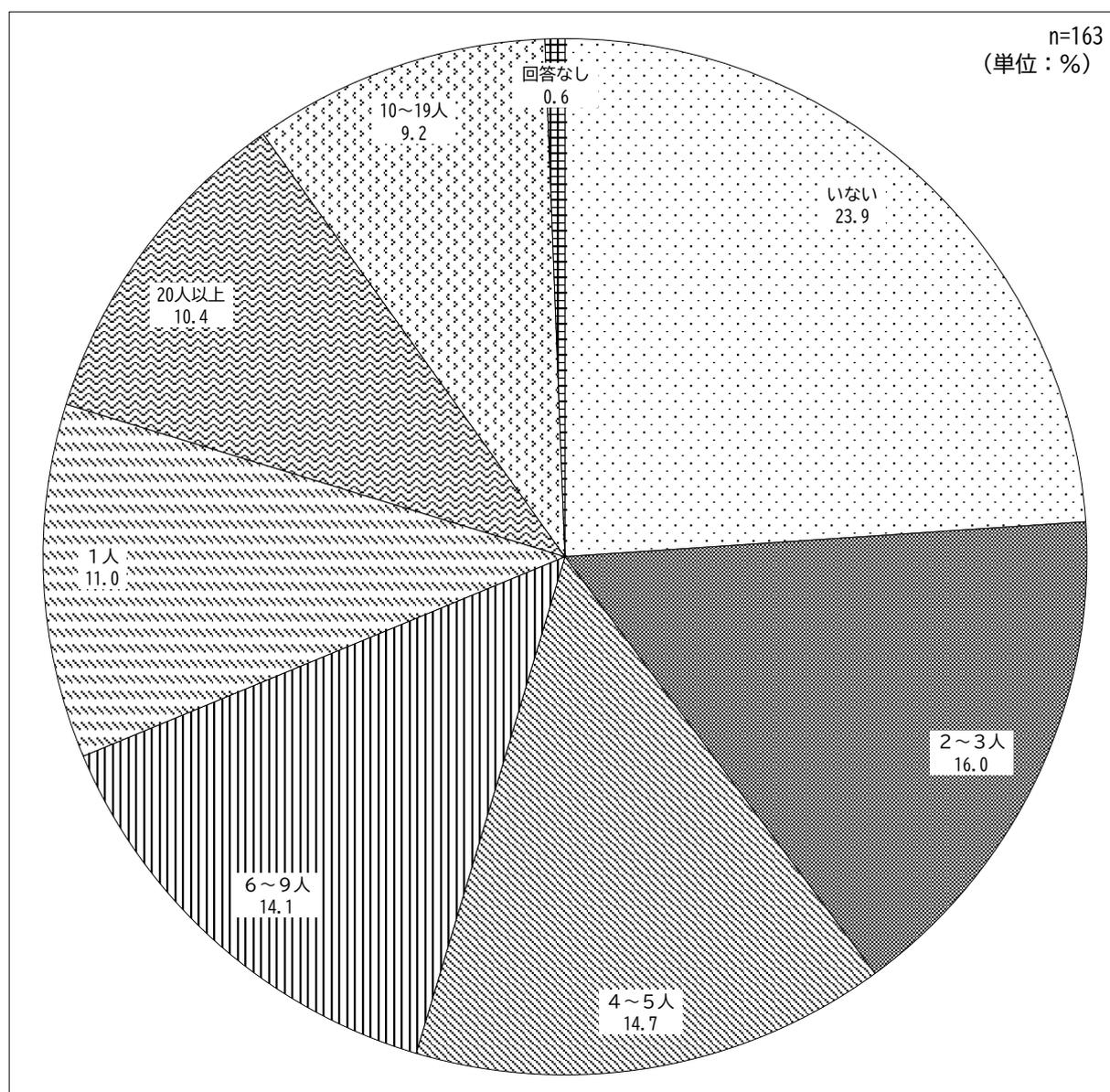
(1) -1 常勤スタッフの人数

【Aの団体】

問12 常勤スタッフの人数を教えてください。

※本調査では勤務時間がおおむね週30時間以上の場合とします。

- ▶ 常勤スタッフの人数については、「いない」が23.9%と最も多く、次いで「2～3人」が16.0%、「4～5人」が14.7%、「6～9人」が14.1%となっている。



【法人格別 常勤スタッフの人数】

(上段：件 下段：%)

	全体	いない	1人	2 ～ 3人	4 ～ 5人	6 ～ 9人	10 ～ 19人	20人以上	回答なし	
全体	163 100.0	39 23.9	18 11.0	26 16.0	24 14.7	23 14.1	15 9.2	17 10.4	1 0.6	
法人格	認定NPO法人	14 100.0	- -	- -	3 21.4	3 21.4	4 28.6	3 21.4	1 7.1	- -
	特定非営利活動法人(NPO法人)	90 100.0	30 33.3	10 11.1	15 16.7	11 12.2	8 8.9	7 7.8	9 10.0	- -
	一般社団法人	11 100.0	1 9.1	4 36.4	2 18.2	1 9.1	3 27.3	- -	- -	- -
	公益社団法人	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -
	公益財団法人	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	社会福祉法人	8 100.0	- -	1 12.5	- -	2 25.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	- -
	学校法人	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	任意団体	17 100.0	7 41.2	2 11.8	3 17.6	3 17.6	1 5.9	- -	- -	1 5.9
	その他	19 100.0	- -	- -	3 15.8	4 21.1	5 26.3	2 10.5	5 26.3	- -
	分からない	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -

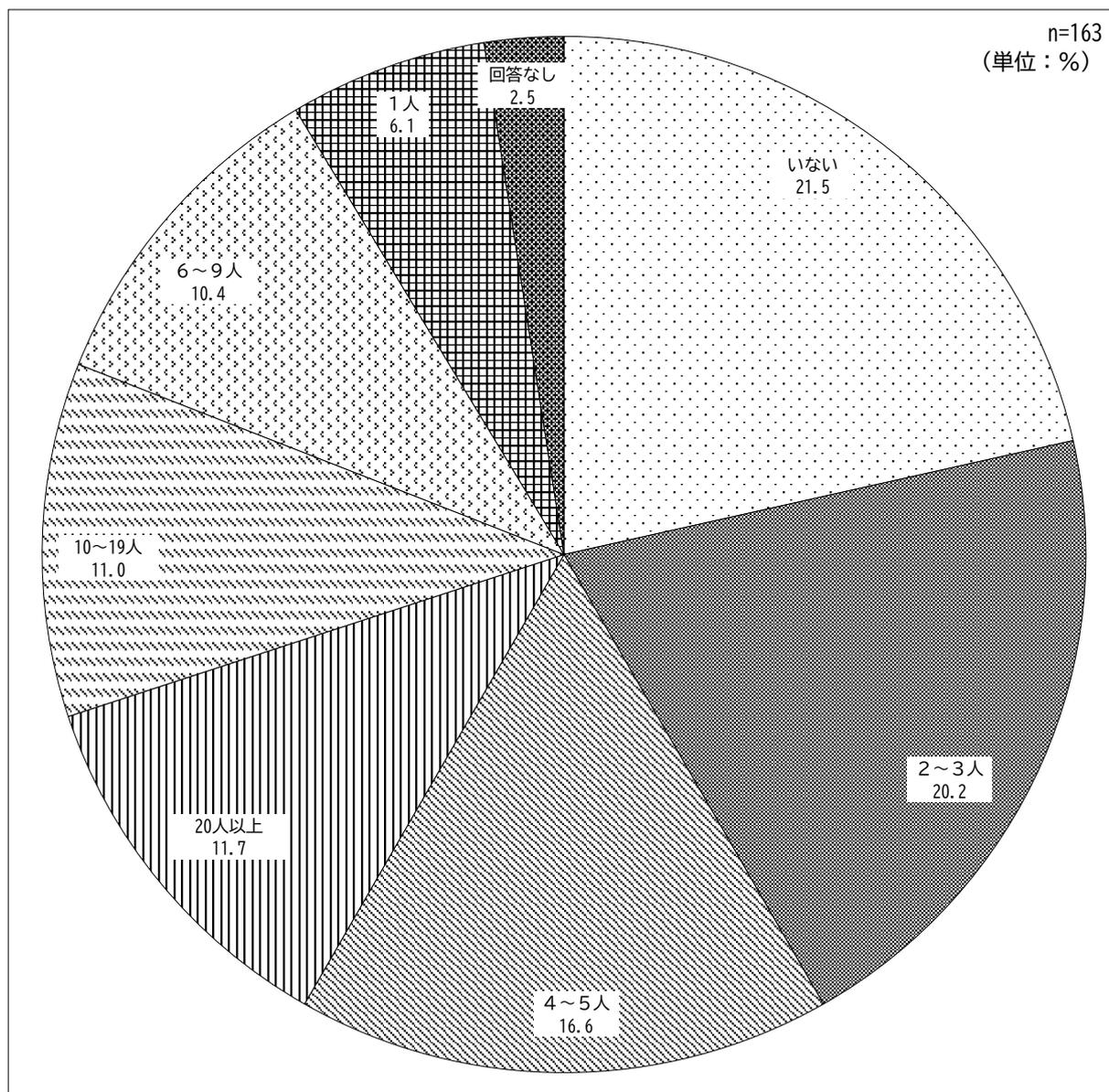
(1) -2 非常勤スタッフの人数

【Aの団体】

問13 非常勤スタッフの人数を教えてください。

※本調査では勤務時間が週30時間に満たない場合とします。

- ▶ 非常勤スタッフの人数については、「いない」が21.5%と最も多く、次いで「2～3人」が20.2%、「4～5人」が16.6%となっている。



【法人格別 非常勤スタッフの人数】

(上段：件 下段：%)

	全体	いない	1人	2 ～ 3人	4 ～ 5人	6 ～ 9人	10 ～ 19人	20人以上	回答なし	
全体	163 100.0	35 21.5	10 6.1	33 20.2	27 16.6	17 10.4	18 11.0	19 11.7	4 2.5	
法人格	認定NPO法人	14 100.0	3 21.4	1 7.1	1 7.1	5 35.7	1 7.1	1 7.1	2 14.3	- -
	特定非営利活動法人(NPO法人)	90 100.0	14 15.6	5 5.6	24 26.7	14 15.6	7 7.8	12 13.3	12 13.3	2 2.2
	一般社団法人	11 100.0	2 18.2	-	1 9.1	1 9.1	5 45.5	1 9.1	1 9.1	- -
	公益社団法人	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
	公益財団法人	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉法人	8 100.0	2 25.0	2 25.0	2 25.0	-	-	1 12.5	1 12.5	- -
	学校法人	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-
	任意団体	17 100.0	7 41.2	1 5.9	3 17.6	3 17.6	1 5.9	-	-	2 11.8
	その他	19 100.0	5 26.3	1 5.3	2 10.5	4 21.1	2 10.5	2 10.5	3 15.8	-
	分からない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-

【常勤スタッフの人数別 非常勤スタッフの人数】

(上段：件 下段：%)

	全体	いない	1人	2 ～ 3人	4 ～ 5人	6 ～ 9人	10 ～ 19人	20人以上	回答なし	
全体	163 100.0	35 21.5	10 6.1	33 20.2	27 16.6	17 10.4	18 11.0	19 11.7	4 2.5	
常勤 スタッフ の 人数	いない	39 100.0	13 33.3	2 5.1	9 23.1	4 10.3	2 5.1	5 12.8	3 7.7	1 2.6
	1人	18 100.0	5 27.8	2 11.1	3 16.7	-	3 16.7	4 22.2	-	1 5.6
	2～3人	26 100.0	6 23.1	-	9 34.6	6 23.1	1 3.8	3 11.5	-	1 3.8
	4～5人	24 100.0	5 20.8	3 12.5	5 20.8	6 25.0	4 16.7	1 4.2	-	-
	6～9人	23 100.0	4 17.4	2 8.7	4 17.4	5 21.7	5 21.7	2 8.7	1 4.3	-
	10～19人	15 100.0	1 6.7	-	2 13.3	4 26.7	1 6.7	3 20.0	4 26.7	-
	20人以上	17 100.0	1 5.9	1 5.9	1 5.9	2 11.8	1 5.9	-	11 64.7	-
	回答なし	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0

(1) -3 活動人数

【Bの団体】

問32 活動人数を教えてください。

- ▶ 活動人数については、「10～19人」が31.7%と最も多く、次いで「1～5人」が21.7%、「6～9人」が20.0%となっている。

活動人数	件数	(%)
10～19人	19	31.7
1～5人	13	21.7
6～9人	12	20.0
20～49人	10	16.7
100人以上	3	5.0
50～99人	2	3.3
その他	1	1.7

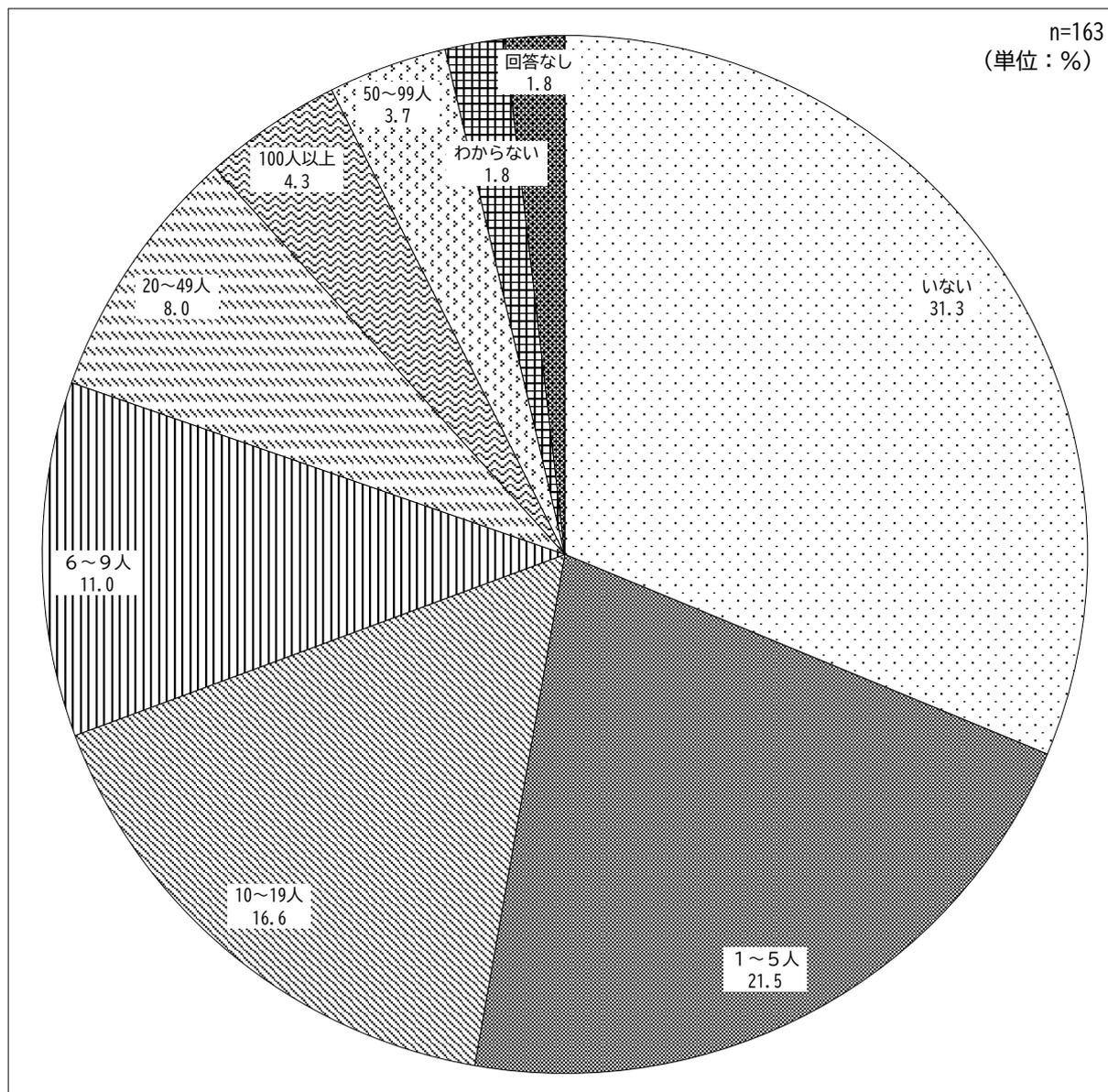
(2) 無償/有償ボランティアの人数

(2) -1 無償ボランティアの人数

【Aの団体】

問14 無償で継続的に事業活動や組織運営にかかわっているボランティアの人数を教えてください。(インターン含む)

- ▶ 無償ボランティアの人数については、「いない」が31.3%と最も多く、次いで「1～5人」が21.5%、「10～19人」が16.6%となっている。



【法人格別 無償ボランティアの人数】

(上段：件 下段：%)

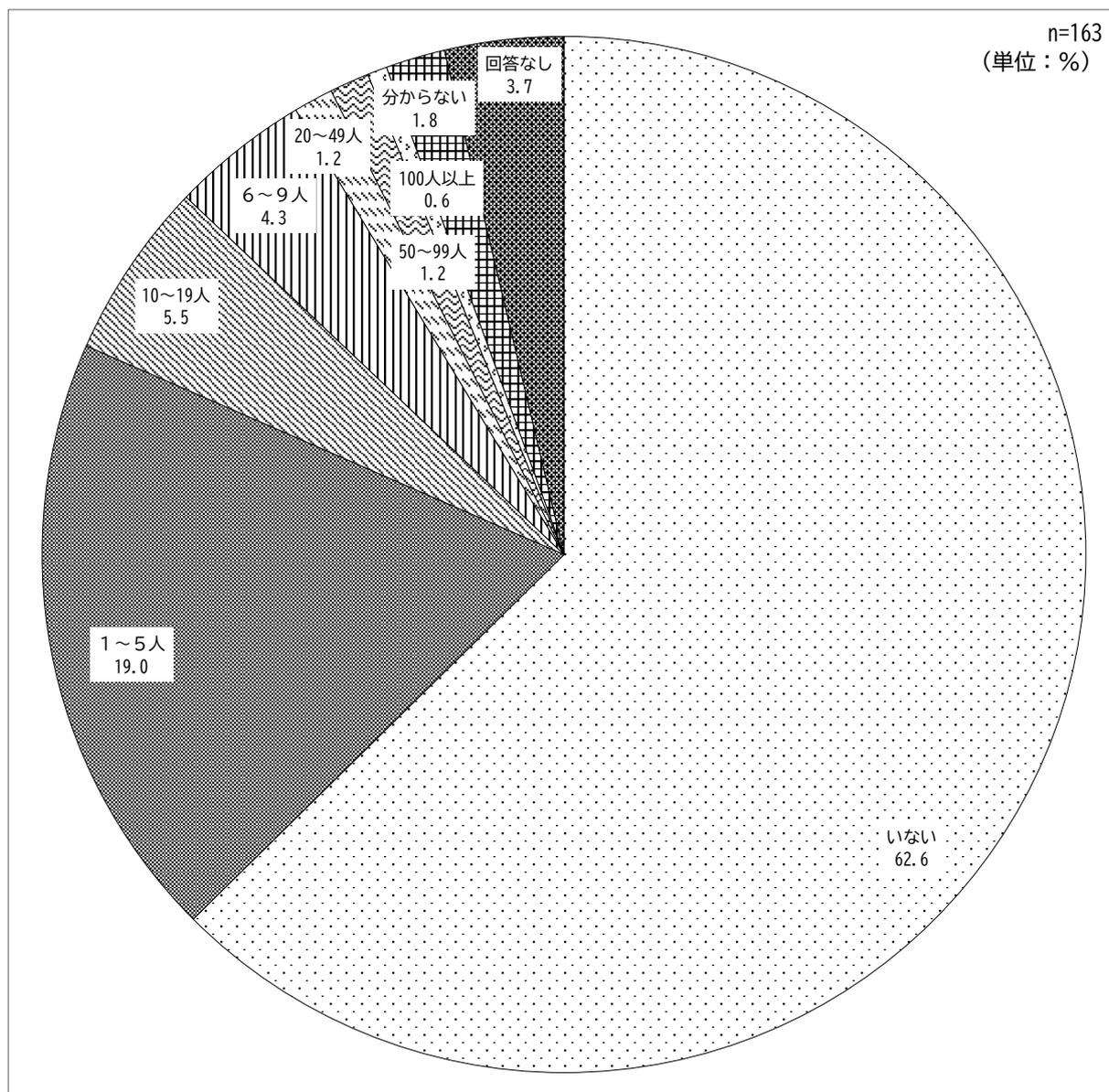
	全体	いない	1 ～ 5 人	6 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 49 人	50 ～ 99 人	100 人以上	分からない	回答なし	
全体	163 100.0	51 31.3	35 21.5	18 11.0	27 16.6	13 8.0	6 3.7	7 4.3	3 1.8	3 1.8	
法人格	認定NPO法人	14 100.0	3 21.4	6 42.9	-	-	-	3 21.4	2 14.3	-	-
	特定非営利活動法人(NPO法人)	90 100.0	23 25.6	20 22.2	11 12.2	19 21.1	9 10.0	2 2.2	2 2.2	2 2.2	2 2.2
	一般社団法人	11 100.0	3 27.3	2 18.2	1 9.1	2 18.2	2 18.2	-	1 9.1	-	-
	公益社団法人	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
	公益財団法人	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-
	社会福祉法人	8 100.0	5 62.5	1 12.5	-	-	1 12.5	-	-	1 12.5	-
	学校法人	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	任意団体	17 100.0	2 11.8	4 23.5	5 29.4	4 23.5	1 5.9	-	-	-	1 5.9
	その他	19 100.0	14 73.7	2 10.5	-	2 10.5	-	-	1 5.3	-	-
	分からない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) -2 有償ボランティアの人数

【Aの団体】

問15 有償で継続的に事業活動や組織運営にかかわっているボランティアの人数を教えてください。(インターン含む)

- ▶ 有償ボランティアの人数については、「いない」が62.6%と最も多く、次いで「1～5人」が19.0%、「10～19人」が5.5%となっている。



【法人格別 有償ボランティアの人数】

(上段：件 下段：%)

	全体	いない	1 ～ 5 人	6 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 49 人	50 ～ 99 人	100 人以上	分からない	回答なし
全体	163 100.0	102 62.6	31 19.0	7 4.3	9 5.5	2 1.2	2 1.2	1 0.6	3 1.8	6 3.7
法人格	認定NPO法人	14 100.0	8 57.1	4 28.6	1 7.1	1 7.1	-	-	-	-
	特定非営利活動法人(NPO法人)	90 100.0	51 56.7	20 22.2	2 2.2	7 7.8	1 1.1	2 2.2	1 1.1	2 2.2
	一般社団法人	11 100.0	7 63.6	1 9.1	2 18.2	-	1 9.1	-	-	-
	公益社団法人	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	公益財団法人	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉法人	8 100.0	6 75.0	-	1 12.5	-	-	-	-	1 12.5
	学校法人	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	任意団体	17 100.0	12 70.6	3 17.6	-	-	-	-	-	2 11.8
	その他	19 100.0	16 84.2	2 10.5	1 5.3	-	-	-	-	-
	分からない	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-

【無償ボランティアの人数別 有償ボランティアの人数】

(上段：件 下段：%)

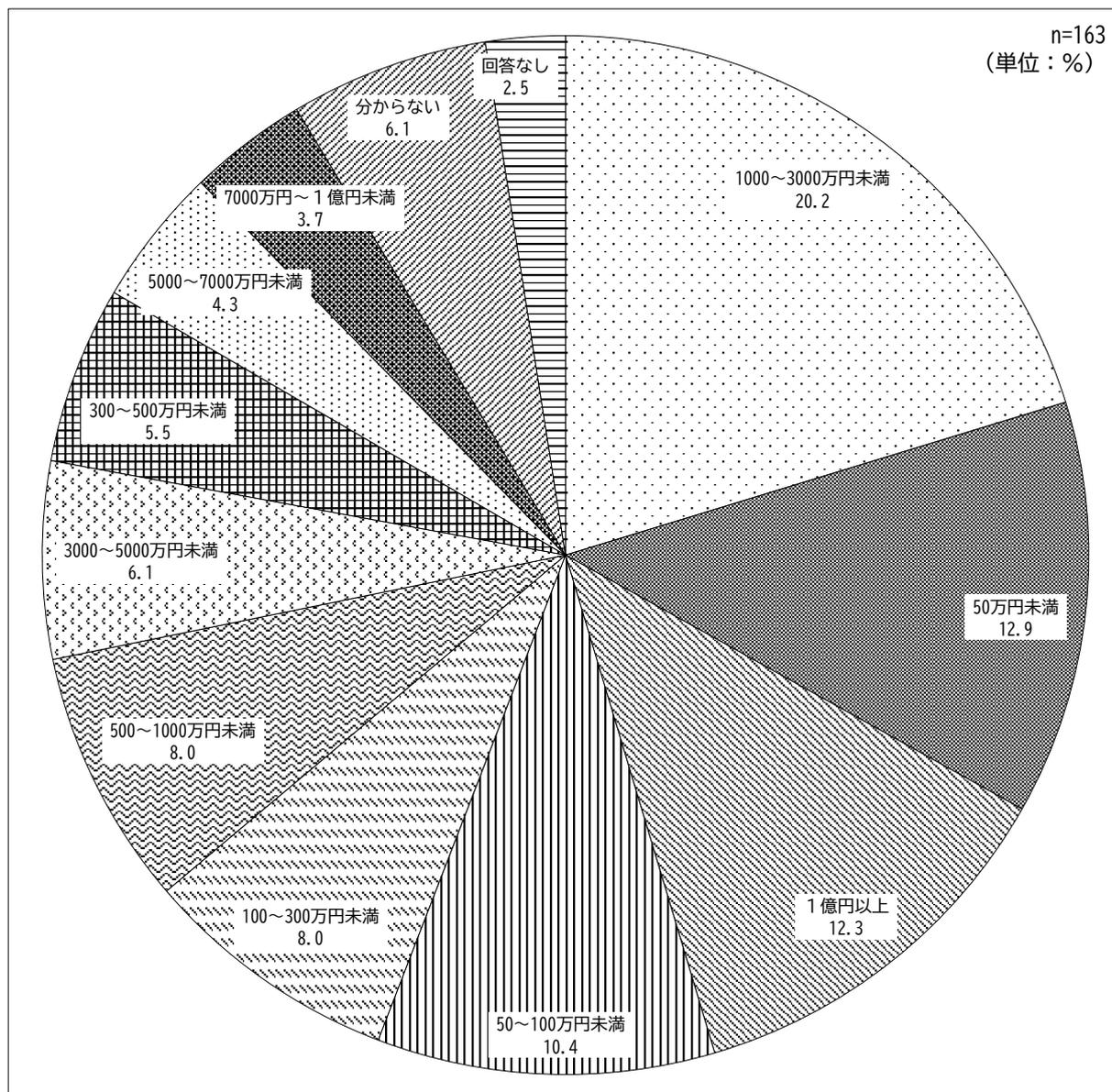
	全体	いない	1 ～ 5 人	6 ～ 9 人	10 ～ 19 人	20 ～ 49 人	50 ～ 99 人	100 人 以上	分からない	回答なし	
全体	163 100.0	102 62.6	31 19.0	7 4.3	9 5.5	2 1.2	2 1.2	1 0.6	3 1.8	6 3.7	
無償 ボラン ティア の 人 数	いない	51 100.0	37 72.5	6 11.8	- -	5 9.8	- -	2 3.9	1 2.0	- -	
	1～5人	35 100.0	17 48.6	13 37.1	3 8.6	- -	- -	- -	- -	2 5.7	
	6～9人	18 100.0	13 72.2	3 16.7	- -	2 11.1	- -	- -	- -	- -	
	10～19人	27 100.0	19 70.4	5 18.5	1 3.7	1 3.7	1 3.7	- -	- -	- -	
	20～49人	13 100.0	7 53.8	2 15.4	2 15.4	1 7.7	1 7.7	- -	- -	- -	
	50～99人	6 100.0	4 66.7	1 16.7	- -	- -	- -	- -	- -	1 16.7	
	100人以上	7 100.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3	- -	- -	- -	- -	- -	
	分からない	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 100.0	- -
	回答なし	3 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 100.0

(3) 事業規模（支出規模）

【Aの団体】

問16 事業規模（単年度当たりの支出規模）を教えてください。

- ▶ 事業規模（支出規模）については、「1000～3000万円未満」が20.2%と最も多く、次いで「50万円未満」が12.9%、「1億円以上」が12.3%となっている。



【法人格別 事業規模（支出規模）】

(上段：件 下段：%)

	全 体	5 0 万 円 未 満	5 0 万 円 未 満 1 0 万	1 0 万 円 未 満 3 0 万	3 0 万 円 未 満 5 0 万	5 0 万 円 未 満 1 0 0 万	1 0 0 万 円 未 満 3 0 0 万	3 0 0 万 円 未 満 5 0 0 万	5 0 0 万 円 未 満 1 0 0 0 万	7 5 0 0 万 円 未 満
全体	163 100.0	21 12.9	17 10.4	13 8.0	9 5.5	13 8.0	33 20.2	10 6.1	7 4.3	
法人格	認定NPO法人	14 100.0	1 7.1	-	-	-	1 7.1	4 28.6	2 14.3	1 7.1
	特定非営利活動法人（NPO法人）	90 100.0	10 11.1	11 12.2	11 12.2	6 6.7	8 8.9	19 21.1	6 6.7	3 3.3
	一般社団法人	11 100.0	-	-	-	1 9.1	3 27.3	4 36.4	-	1 9.1
	公益社団法人	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	公益財団法人	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-
	社会福祉法人	8 100.0	-	1 12.5	-	-	-	1 12.5	-	1 12.5
	学校法人	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	任意団体	17 100.0	7 41.2	5 29.4	2 11.8	1 5.9	1 5.9	-	-	-
	その他	19 100.0	1 5.3	-	-	-	-	5 26.3	2 10.5	1 5.3
	分からない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-

17 億 円 未 満 〇 〇 万 円 〇	1 億 円 以 上	分 か ら な い	回 答 な し
6 3.7	20 12.3	10 6.1	4 2.5
3 21.4	2 14.3	- -	- -
2 2.2	10 11.1	2 2.2	2 2.2
1 9.1	- -	1 9.1	- -
- -	1 100.0	- -	- -
- -	- -	- -	- -
- -	2 25.0	3 37.5	- -
- -	- -	- -	- -
- -	- -	- -	1 5.9
- -	5 26.3	4 21.1	1 5.3
- -	- -	- -	- -

【事業規模（支出規模）別 常勤スタッフの人数】

(上段：件 下段：%)

	全体	いない	1人	2 ～ 3人	4 ～ 5人	6 ～ 9人	10 ～ 19人	20人以上	回答なし
全体	163 100.0	39 23.9	18 11.0	26 16.0	24 14.7	23 14.1	15 9.2	17 10.4	1 0.6
事業規模（支出規模）	50万円未満	21 100.0	14 66.7	1 4.8	3 14.3	2 9.5	1 4.8	-	-
	50～100万円未満	17 100.0	9 52.9	1 5.9	5 29.4	-	2 11.8	-	-
	100～300万円未満	13 100.0	6 46.2	2 15.4	1 7.7	2 15.4	2 15.4	-	-
	300～500万円未満	9 100.0	3 33.3	6 66.7	-	-	-	-	-
	500～1000万円未満	13 100.0	4 30.8	4 30.8	5 38.5	-	-	-	-
	1000～3000万円未満	33 100.0	2 6.1	3 9.1	10 30.3	12 36.4	5 15.2	-	1 3.0
	3000～5000万円未満	10 100.0	-	-	-	4 40.0	3 30.0	3 30.0	-
	5000～7000万円未満	7 100.0	-	-	-	1 14.3	5 71.4	1 14.3	-
	7000万円～1億円未満	6 100.0	-	-	-	-	2 33.3	3 50.0	1 16.7
	1億円以上	20 100.0	-	-	-	-	-	6 30.0	14 70.0
	分からない	10 100.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0
	回答なし	4 100.0	-	-	-	-	2 50.0	1 25.0	-

【事業規模（支出規模）別 非常勤スタッフの人数】

(上段：件 下段：%)

	全体	いない	1人	2 ～ 3人	4 ～ 5人	6 ～ 9人	10 ～ 19人	20人以上	回答なし
全体	163 100.0	35 21.5	10 6.1	33 20.2	27 16.6	17 10.4	18 11.0	19 11.7	4 2.5
事業規模（支出規模）	50万円未満	21 100.0	12 57.1	1 4.8	4 19.0	1 4.8	2 9.5	1 4.8	- -
	50～100万円未満	17 100.0	5 29.4	-	7 41.2	2 11.8	-	2 11.8	- 5.9
	100～300万円未満	13 100.0	2 15.4	-	4 30.8	2 15.4	2 15.4	2 7.7	1 -
	300～500万円未満	9 100.0	3 33.3	1 11.1	-	1 11.1	-	3 33.3	- 11.1
	500～1000万円未満	13 100.0	5 38.5	-	3 23.1	1 7.7	1 7.7	-	2 15.4
	1000～3000万円未満	33 100.0	4 12.1	4 12.1	6 18.2	10 30.3	5 15.2	4 12.1	- -
	3000～5000万円未満	10 100.0	1 10.0	-	5 50.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	- -
	5000～7000万円未満	7 100.0	1 14.3	1 14.3	-	2 28.6	2 28.6	1 14.3	- -
	7000万円～1億円未満	6 100.0	-	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	3 50.0
	1億円以上	20 100.0	-	1 5.0	-	4 20.0	1 5.0	2 10.0	12 60.0
	分からない	10 100.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0	1 10.0	-	2 20.0	- -
	回答なし	4 100.0	-	-	-	-	2 50.0	-	1 25.0

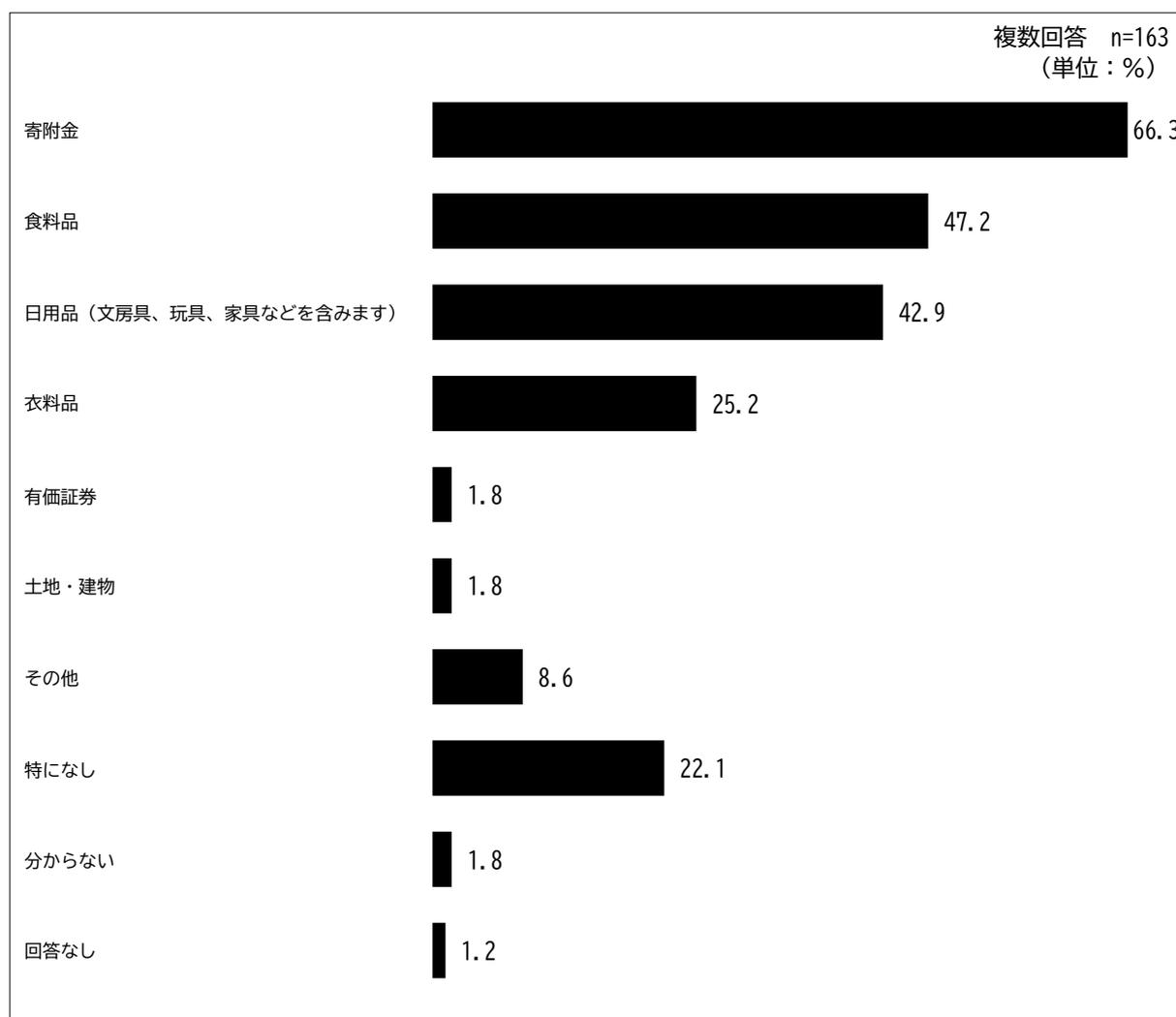
(4) ご支援いただいた寄附の種類・件数

(4) -1 ご支援いただいた寄附の種類

【Aの団体】

問17 これまでにどのような種類のご寄附をいただきましたか？

- ▶ 支援団体がこれまでに受けた寄附の種類については、「寄附金」が66.3%と最も多く、次いで「食料品」が47.2%、「日用品（文房具、玩具、家具などを含みます）」が42.9%となっている。
- ▶ 「その他」の内容としては、車両、ヘアドネーション、家賃の減額、イベント会場費用の負担、などが挙げられている。



【法人格別 ご支援いただいた寄附の種類】

(複数回答 上段：件 下段：%)

	全体	寄附金	食料品	衣料品	す 具、日用品 などを含み ます(玩具、文具、家具)	有価証券	土地・建物	その他
全体	163 100.0	108 66.3	77 47.2	41 25.2	70 42.9	3 1.8	3 1.8	14 8.6
法人格	認定NPO法人	14 100.0	13 92.9	10 71.4	3 21.4	7 50.0	-	2 14.3
	特定非営利活動法人(NPO法人)	90 100.0	66 73.3	45 50.0	29 32.2	43 47.8	2 2.2	7 7.8
	一般社団法人	11 100.0	9 81.8	7 63.6	2 18.2	5 45.5	-	2 18.2
	公益社団法人	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	1 100.0	-
	公益財団法人	1 100.0	-	-	-	-	-	1 100.0
	社会福祉法人	8 100.0	5 62.5	3 37.5	1 12.5	2 25.0	-	1 12.5
	学校法人	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	任意団体	17 100.0	12 70.6	11 64.7	2 11.8	9 52.9	-	1 5.9
	その他	19 100.0	2 10.5	1 5.3	4 21.1	3 15.8	-	1 5.3
	分からない	1 100.0	-	-	-	-	-	-

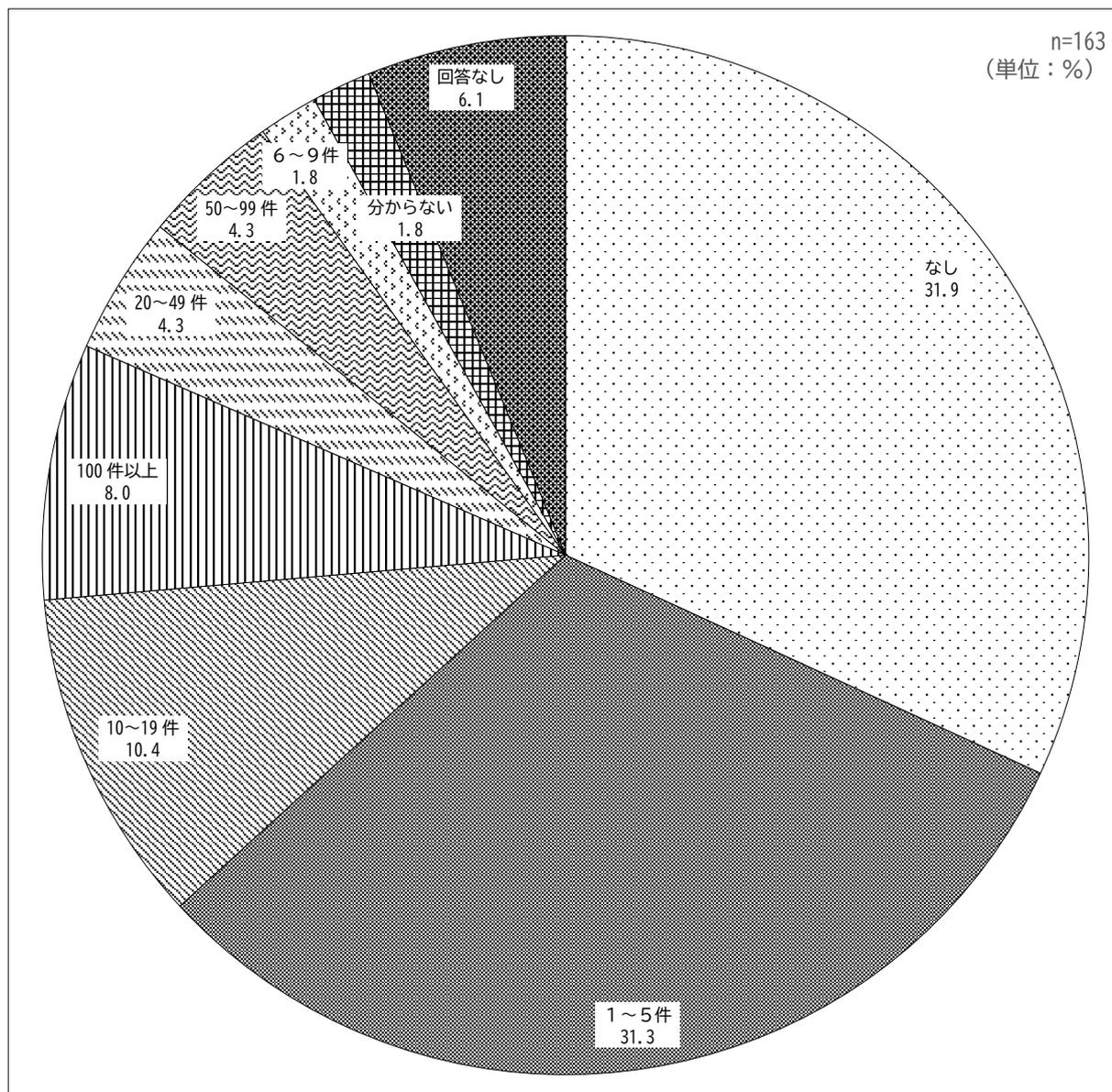
特 になし	分 から ない	回 答 なし
36 22.1	3 1.8	2 1.2
1 7.1	- -	- -
16 17.8	- -	1 1.1
- -	1 9.1	- -
- -	- -	- -
- -	- -	- -
2 25.0	1 12.5	- -
1 100.0	- -	- -
4 23.5	- -	1 5.9
11 57.9	1 5.3	- -
1 100.0	- -	- -

(4) -2 ご支援いただいた寄附の件数

【Aの団体】

問18 昨年度、寄附に応じてくださった方・企業・団体の件数を教えてください。

- ▶ 昨年度、ご支援いただいた寄附の件数については、「なし」が31.9%と最も多く、次いで「1～5件」が31.3%、「10～19件」が10.4%となっている。



【法人格別 ご支援いただいた寄附の件数】

(上段：件 下段：%)

	全 体	な し	1 ～ 5 件	6 ～ 9 件	1 0 ～ 1 9 件	2 0 ～ 4 9 件	5 0 ～ 9 9 件	1 0 0 件 以 上	分 か ら な い	回 答 な し
全体	163 100.0	52 31.9	51 31.3	3 1.8	17 10.4	7 4.3	7 4.3	13 8.0	3 1.8	10 6.1
法人格	認定NPO法人	14 100.0	1 7.1	5 35.7	-	2 14.3	-	1 7.1	5 35.7	-
	特定非営利活動法人(NPO法人)	90 100.0	26 28.9	27 30.0	2 2.2	10 11.1	5 5.6	4 4.4	7 7.8	1 1.1
	一般社団法人	11 100.0	3 27.3	5 45.5	-	3 27.3	-	-	-	-
	公益社団法人	1 100.0	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-
	公益財団法人	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉法人	8 100.0	2 25.0	3 37.5	-	-	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5
	学校法人	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	任意団体	17 100.0	5 29.4	6 35.3	1 5.9	2 11.8	1 5.9	-	-	-
	その他	19 100.0	12 63.2	5 26.3	-	-	-	1 5.3	-	1 5.3
	分からない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-

【事業規模（支出規模）別 ご支援いただいた寄附の件数】

(上段：件 下段：%)

	全体	なし	1 ～ 5 件	6 ～ 9 件	10 ～ 19 件	20 ～ 49 件	50 ～ 99 件	100 件 以上	分 か ら な い	回 答 な し
全体	163 100.0	52 31.9	51 31.3	3 1.8	17 10.4	7 4.3	7 4.3	13 8.0	3 1.8	10 6.1
事業規模（支出規模）	50万円未満	21 100.0	13 61.9	4 19.0	-	3 14.3	-	-	-	1 4.8
	50～100万円未満	17 100.0	4 23.5	7 41.2	2 11.8	2 11.8	1 5.9	-	-	1 5.9
	100～300万円未満	13 100.0	5 38.5	8 61.5	-	-	-	-	-	-
	300～500万円未満	9 100.0	3 33.3	3 33.3	-	2 22.2	-	1 11.1	-	-
	500～1000万円未満	13 100.0	2 15.4	3 23.1	-	2 15.4	2 15.4	-	2 15.4	2 15.4
	1000～3000万円未満	33 100.0	10 30.3	10 30.3	-	4 12.1	1 3.0	2 6.1	6 18.2	-
	3000～5000万円未満	10 100.0	3 30.0	3 30.0	-	1 10.0	-	1 10.0	-	2 20.0
	5000～7000万円未満	7 100.0	1 14.3	4 57.1	-	-	1 14.3	-	1 14.3	-
	7000万円～1億円未満	6 100.0	2 33.3	1 16.7	-	1 16.7	-	-	2 33.3	-
	1億円以上	20 100.0	5 25.0	5 25.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	3 15.0	1 5.0	1 5.0
分からない	10 100.0	4 40.0	2 20.0	-	-	-	-	1 10.0	3 30.0	
回答なし	4 100.0	-	1 25.0	-	-	-	-	-	3 75.0	

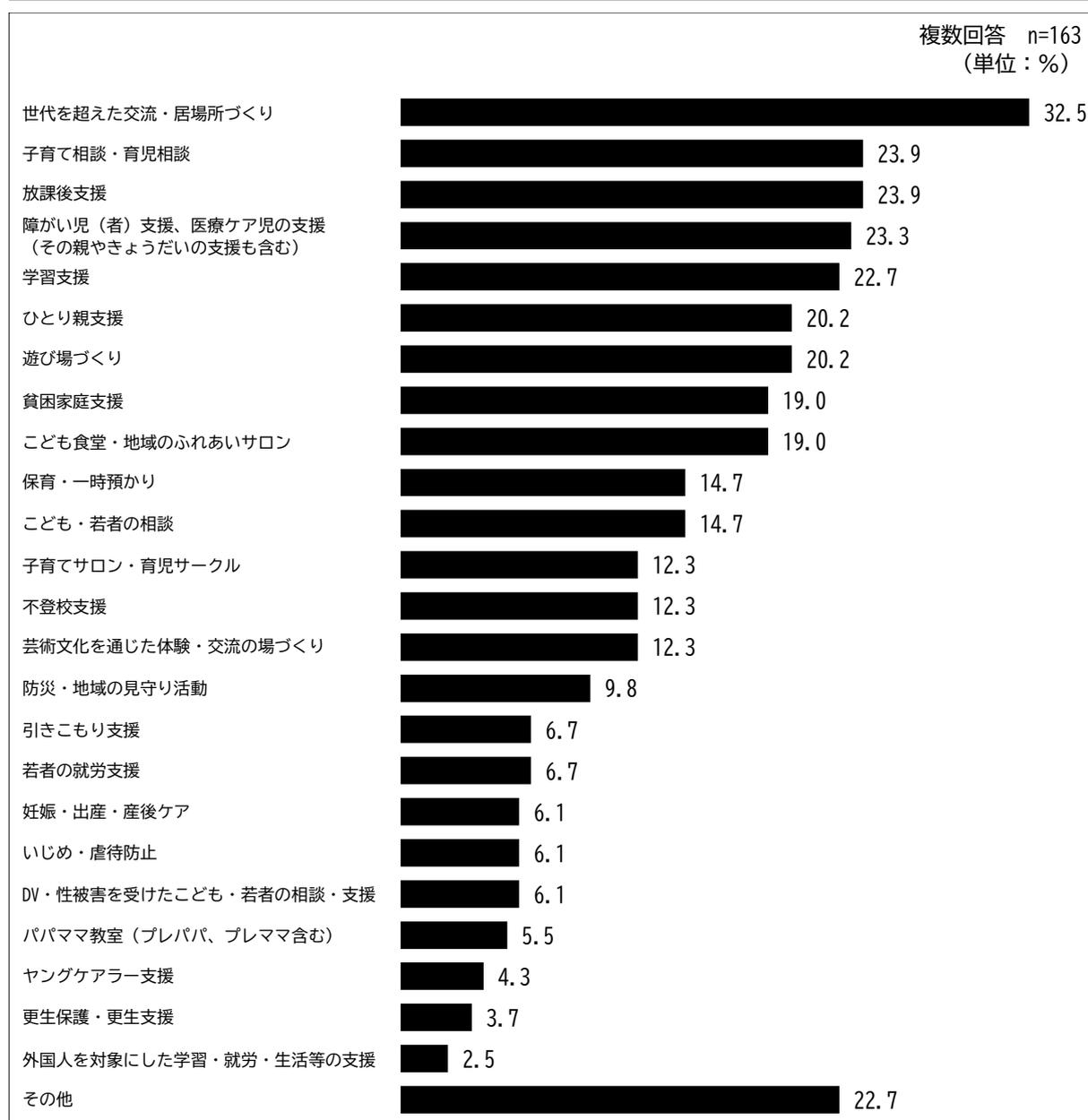
(5) 活動分野（当てはまるもの全て/主たる活動分野）

(5) -1 活動分野（当てはまるもの全て）

【Aの団体】

問19 貴団体の活動は次のどれに近いですか？

- ▶ 活動分野（当てはまるもの全て）については、「世代を超えた交流・居場所づくり」が32.5%と最も多く、次いで「子育て相談・育児相談」及び「放課後支援」が23.9%、「障がい児（者）支援、医療ケア児の支援（その親やきょうだいの支援も含む）」が23.3%となっている。
- ▶ 「その他」の内容として、スポーツ活動、里親支援、若者の主体的活動の支援、性的マイノリティの若者支援、などが挙げられている。



【法人格別 活動分野（当てはまるもの全て）】

(複数回答 上段：件数 下段：%)

	全体	パパママ教室（プレママ含む）	妊娠・出産・産後ケア	子育てサロン・育児サークル	子育て相談・育児相談	保育・一時預かり	貧困家庭支援	ひとり親支援	放課後支援	
全体	163 100.0	9 5.5	10 6.1	20 12.3	39 23.9	24 14.7	31 19.0	33 20.2	39 23.9	
法人格	認定NPO法人	14 100.0	- -	- -	- -	4 28.6	3 21.4	4 28.6	3 21.4	3 21.4
	特定非営利活動法人（NPO法人）	90 100.0	5 5.6	3 3.3	8 8.9	15 16.7	10 11.1	14 15.6	17 18.9	16 17.8
	一般社団法人	11 100.0	1 9.1	3 27.3	2 18.2	3 27.3	2 18.2	4 36.4	3 27.3	3 27.3
	公益社団法人	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	1 100.0
	公益財団法人	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	社会福祉法人	8 100.0	- -	- -	- -	2 25.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0
	学校法人	1 100.0	- -	- -	1 100.0	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -
	任意団体	17 100.0	2 11.8	1 5.9	3 17.6	6 35.3	2 11.8	5 29.4	6 35.3	2 11.8
	その他	19 100.0	- -	3 15.8	5 26.3	7 36.8	5 26.3	2 10.5	2 10.5	12 63.2
	分からない	1 100.0	1 100.0	- -	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -

遊び場づくり	子ども食堂・地域のふれあいサロン	学習支援	不登校支援	ヤングケアラー支援	引きこもり支援	若者の就労支援	いじめ・虐待防止	子ども・若者の相談	医療ケア児（者）の支援、 （その親やきょうだい の支援も含む）	障がい児（者）の支援、 （その親やきょうだい の支援も含む）	DV・性被害を受けた 子ども・若者の相談・ 支援
33 20.2	31 19.0	37 22.7	20 12.3	7 4.3	11 6.7	11 6.7	10 6.1	24 14.7	38 23.3	10 6.1	
1 7.1	1 7.1	4 28.6	3 21.4	- -	2 14.3	3 21.4	2 14.3	6 42.9	6 42.9	1 7.1	
18 20.0	16 17.8	17 18.9	10 11.1	5 5.6	6 6.7	3 3.3	4 4.4	12 13.3	14 15.6	7 7.8	
2 18.2	3 27.3	5 45.5	1 9.1	1 9.1	2 18.2	1 9.1	2 18.2	1 9.1	4 36.4	2 18.2	
- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
1 12.5	- -	1 12.5	2 25.0	1 12.5	- -	1 12.5	- -	1 12.5	7 87.5	- -	
1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	
7 41.2	7 41.2	4 23.5	2 11.8	- -	- -	1 5.9	2 11.8	3 17.6	- -	- -	
3 15.8	4 21.1	5 26.3	2 10.5	- -	1 5.3	2 10.5	- -	1 5.3	6 31.6	- -	
- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	

(次頁に続く)

援 習 外 ・ 国 人 ・ 就 労 ・ 生 活 等 の 支 学	動 防 災 ・ 地 域 の 見 守 り 活	場 世 所 代 づ を く 超 り え た 交 流 ・ 居	更 生 保 護 ・ 更 生 支 援	験 芸 ・ 術 交 文 流 化 を 通 じ た 体	そ の 他
4 2.5	16 9.8	53 32.5	6 3.7	20 12.3	37 22.7
- -	2 14.3	4 28.6	2 14.3	1 7.1	4 28.6
1 1.1	10 11.1	30 33.3	3 3.3	12 13.3	27 30.0
2 18.2	2 18.2	4 36.4	- -	1 9.1	2 18.2
- -	- -	- -	- -	- -	- -
- -	- -	1 100.0	- -	- -	1 100.0
1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -
- -	- -	- -	- -	- -	- -
- -	1 5.9	7 41.2	- -	3 17.6	3 17.6
- -	1 5.3	7 36.8	1 5.3	3 15.8	- -
- -	- -	- -	- -	- -	- -

(5) -2 主たる活動分野

【Aの団体】

問20 前問で選んでいたいただいた選択肢のうち、貴団体が最も重要視している活動はどれですか？

- ▶ 主たる活動分野については、「世代を超えた交流・居場所づくり」及び「障がい児（者）支援、医療ケア児の支援（その親やきょうだいの支援も含む）」が13.5%と最も多く、次いで「放課後支援」が11.0%、「こども食堂・地域のふれあいサロン」が8.6%となっている。

(n=163)

主たる活動分野	件数	(%)
世代を超えた交流・居場所づくり	22	13.5
障がい児（者）支援、医療ケア児の支援（その親やきょうだいの支援も含む）	22	13.5
放課後支援	18	11.0
こども食堂・地域のふれあいサロン	14	8.6
保育・一時預かり	9	5.5
芸術文化を通じた体験・交流の場づくり	7	4.3
ひとり親支援	6	3.7
学習支援	6	3.7
子育てサロン・育児サークル	5	3.1
遊び場づくり	5	3.1
貧困家庭支援	4	2.5
パパママ教室（プレパパ、プレママ含む）	2	1.2
子育て相談・育児相談	2	1.2
不登校支援	2	1.2
若者の就労支援	2	1.2
DV・性被害を受けたこども・若者の相談・支援	2	1.2
妊娠・出産・産後ケア	1	0.6
こども・若者の相談	1	0.6
防災・地域の見守り活動	1	0.6
更生保護・更生支援	1	0.6
その他	22	13.5
分からない	4	2.5
回答なし	5	3.1

【法人格別 主たる活動分野】

(上段：件数 下段：%)

	全体	パパママ教室(プレママ含む)	妊娠・出産・産後ケア	子育てサロン・育児サークル	子育て相談・育児相談	保育・一時預かり	貧困家庭支援	ひとり親支援	放課後支援
全体	163 100.0	2 1.2	1 0.6	5 3.1	2 1.2	9 5.5	4 2.5	6 3.7	18 11.0
法人格	認定NPO法人	14 100.0	- -	- -	- -	- -	1 7.1	- -	1 7.1
	特定非営利活動法人(NPO法人)	90 100.0	1 1.1	1 1.1	2 2.2	- -	6 6.7	1 1.1	2 2.2
	一般社団法人	11 100.0	- -	- -	- -	1 9.1	- -	- -	1 9.1
	公益社団法人	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -
	公益財団法人	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	社会福祉法人	8 100.0	- -	- -	- -	- -	1 12.5	- -	- -
	学校法人	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	任意団体	17 100.0	1 5.9	- -	2 11.8	1 5.9	- -	1 5.9	2 11.8
	その他	19 100.0	- -	- -	- -	- -	1 5.3	- -	1 5.3
	分からない	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -

遊び場づくり	子ども食堂・地域のふれあいサロン	学習支援	不登校支援	若者の就労支援	子ども・若者の相談	障がい児(者)の支援、医療ケア児の支援、(その親やきょうだいの支援も含む)	DV・性被害を受けた子ども・若者の相談・支援	防災・地域の見守り活動	世代を超えた交流・居場所づくり
5 3.1	14 8.6	6 3.7	2 1.2	2 1.2	1 0.6	22 13.5	2 1.2	1 0.6	22 13.5
-	-	2 14.3	-	1 7.1	-	4 28.6	-	-	1 7.1
2 2.2	8 8.9	4 4.4	2 2.2	-	1 1.1	7 7.8	2 2.2	1 1.1	14 15.6
-	-	-	-	-	-	1 9.1	-	-	1 9.1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
-	-	-	-	-	-	6 75.0	-	-	-
1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 11.8	5 29.4	-	-	-	-	-	-	-	2 11.8
-	1 5.3	-	-	1 5.3	-	4 21.1	-	-	3 15.8
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次頁に続く)

更生保護・更生支援	芸術文化を通じた体験・交流の場づくり	その他	分からない	回答なし
1 0.6	7 4.3	22 13.5	4 2.5	5 3.1
-	-	2 14.3	-	1 7.1
1 1.1	4 4.4	17 18.9	2 2.2	3 3.3
-	1 9.1	3 27.3	1 9.1	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	1 12.5	-
-	-	-	-	-
-	1 5.9	-	-	-
-	1 5.3	-	-	1 5.3
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

【事業規模（支出規模）別 主たる活動分野】

(上段：件数 下段：%)

	全体	パパママ教室（プレママ含む）	妊娠・出産・産後ケア	子育てサロン・育児サークル	子育て相談・育児相談	保育・一時預かり	貧困家庭支援	ひとり親支援	放課後支援
全体	163 100.0	2 1.2	1 0.6	5 3.1	2 1.2	9 5.5	4 2.5	6 3.7	18 11.0
事業規模（支出規模）	50万円未満	21 100.0	1 4.8	-	3 14.3	-	-	-	-
	50～100万円未満	17 100.0	1 5.9	-	1 5.9	-	1 5.9	2 11.8	-
	100～300万円未満	13 100.0	-	-	-	-	-	1 7.7	1 7.7
	300～500万円未満	9 100.0	-	-	-	-	1 11.1	-	-
	500～1000万円未満	13 100.0	-	-	1 7.7	-	-	1 7.7	1 7.7
	1000～3000万円未満	33 100.0	-	1 3.0	-	-	1 3.0	-	3 9.1
	3000～5000万円未満	10 100.0	-	-	-	-	3 30.0	-	2 20.0
	5000～7000万円未満	7 100.0	-	-	-	-	1 14.3	-	1 14.3
	7000万円～1億円未満	6 100.0	-	-	-	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7
	1億円以上	20 100.0	-	-	-	-	2 10.0	1 5.0	3 15.0
	分からない	10 100.0	-	-	-	-	-	2 20.0	4 40.0
回答なし	4 100.0	-	-	-	1 25.0	1 25.0	-	2 50.0	

遊び場づくり	子ども食堂・地域のふれあいサロン	学習支援	不登校支援	若者の就労支援	子ども・若者の相談	障がい児(者)の支援、医療ケア児の支援、(その親やきょうだいの支援も含む)	DV・性被害を受けた子ども・若者の相談・支援	防災・地域の見守り活動	世代を超えた交流・居場所づくり
5 3.1	14 8.6	6 3.7	2 1.2	2 1.2	1 0.6	22 13.5	2 1.2	1 0.6	22 13.5
2 9.5	3 14.3	2 9.5	-	-	-	-	-	-	3 14.3
1 5.9	2 11.8	-	1 5.9	-	-	1 5.9	-	-	3 17.6
-	2 15.4	1 7.7	-	-	-	-	-	-	5 38.5
-	1 11.1	1 11.1	-	-	-	-	-	-	3 33.3
1 7.7	3 23.1	-	-	-	-	1 7.7	-	-	1 7.7
-	1 3.0	1 3.0	1 3.0	1 3.0	-	8 24.2	2 6.1	1 3.0	5 15.2
-	-	1 10.0	-	-	1 10.0	3 30.0	-	-	-
-	-	-	-	-	-	2 28.6	-	-	-
-	-	-	-	1 16.7	-	1 16.7	-	-	-
1 5.0	1 5.0	-	-	-	-	3 15.0	-	-	2 10.0
-	1 10.0	-	-	-	-	3 30.0	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(次頁に続く)

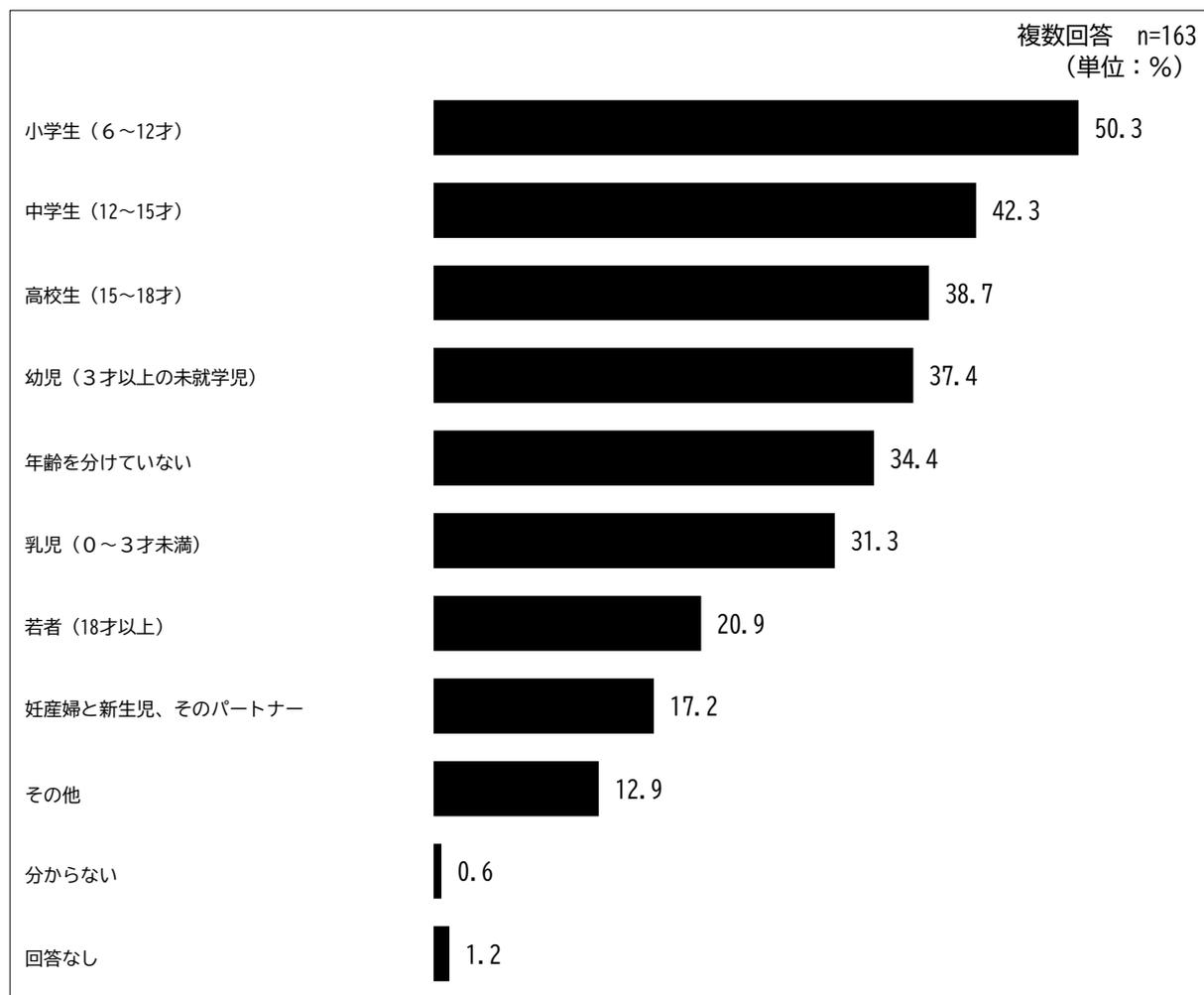
更生保護・更生支援	芸術文化を通じた体験・交流の場づくり	その他	分からない	回答なし
1 0.6	7 4.3	22 13.5	4 2.5	5 3.1
-	2	4	-	1
-	9.5	19.0	-	4.8
-	1	3	-	-
-	5.9	17.6	-	-
-	1	2	-	-
-	7.7	15.4	-	-
-	1	2	-	-
-	11.1	22.2	-	-
1 7.7	-	1 7.7	1 7.7	1 7.7
-	-	7	-	-
-	-	21.2	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	1 14.3	1 14.3	-	1 14.3
-	-	1 16.7	-	-
-	1 5.0	1 5.0	3 15.0	2 10.0
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

(6) 活動の対象

【Aの団体】

問22 貴団体の活動はどのような方々を対象にされていますか？

- ▶ 活動の対象とする世代については、「小学生（6～12才）」が50.3%と最も多く、次いで「中学生（12～15才）」が42.3%、「高校生（15～18才）」が38.7%となっている。
- ▶ 「その他」の内容として、保護者・ひとり親、高齢者、などが挙げられている。



【法人格別 活動の対象】

(上段：件数 下段：%)

	全体	妊産婦と新生児、その パートナー	乳児（0～3才未満）	幼児（3才以上の未就学児）	小学生（6～12才）	中学生（12～15才）	高校生（15～18才）	若者（18才以上）	年齢を分けていない	
全体	163 100.0	29 17.8	52 31.9	62 38.0	82 50.3	70 42.9	64 39.3	35 21.5	56 34.4	
法人格	認定NPO法人	14 100.0	1 7.1	6 42.9	6 42.9	7 50.0	10 71.4	12 85.7	5 28.6	4 28.6
	特定非営利活動法人（NPO法人）	90 100.0	14 15.6	23 25.6	25 27.8	36 40.0	32 35.6	29 32.2	19 21.1	36 40.0
	一般社団法人	11 100.0	2 18.2	4 36.4	4 36.4	5 45.5	4 36.4	4 36.4	3 27.3	5 45.5
	公益社団法人	1 100.0	-	-	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-
	公益財団法人	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-
	社会福祉法人	8 100.0	-	1 12.5	2 25.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	2 25.0	3 37.5
	学校法人	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
	任意団体	17 100.0	4 23.5	7 41.2	10 58.8	13 76.5	7 41.2	4 23.5	2 11.8	4 23.5
	その他	19 100.0	5 26.3	8 42.1	12 63.2	15 78.9	13 68.4	12 63.2	4 21.1	4 21.1
	分からない	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-

その他	分からない	回答なし
21 12.9	1 0.6	2 1.2
2 14.3	- -	- -
12 13.3	1 1.1	1 1.1
1 9.1	- -	- -
- -	- -	- -
1 100.0	- -	- -
1 12.5	- -	- -
- -	- -	- -
3 17.6	- -	- -
1 5.3	- -	1 5.3
- -	- -	- -

【主たる活動分野別 活動の対象】

(上段：件数 下段：%)

	全体	ナ ー イ 、 妊 産 婦 の と 新 生 ト	未 乳 児 (0 、 3 才)	の 幼 児 (3 才 以 上)	2 小 学 生 (6 、 1)	1 中 学 生 (1 2 、)	1 高 校 生 (1 5 、)	上 若 者 (1 8 才 以 上)
全体	163 100.0	29 17.8	52 31.9	62 38.0	82 50.3	70 42.9	64 39.3	35 21.5
主 た る 活 動 分 野	パパママ教室（ブレパパ、ブレママ含む）	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0
	妊娠・出産・産後ケア	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0
	子育てサロン・育児サークル	5 100.0	3 60.0	4 80.0	3 60.0	2 40.0	- -	- -
	子育て相談・育児相談	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0
	保育・一時預かり	9 100.0	2 22.2	9 100.0	6 66.7	3 33.3	1 11.1	1 11.1
	貧困家庭支援	4 100.0	- -	1 25.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0
	ひとり親支援	6 100.0	- -	1 16.7	2 33.3	3 50.0	3 50.0	2 33.3
	放課後支援	18 100.0	6 33.3	7 38.9	10 55.6	16 88.9	16 88.9	15 83.3
	遊び場づくり	5 100.0	4 80.0	4 80.0	5 100.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0
	子ども食堂・地域のふれあいサロン	14 100.0	2 14.3	4 28.6	5 35.7	9 64.3	7 50.0	5 35.7
	学習支援	6 100.0	- -	- -	1 16.7	5 83.3	6 100.0	5 83.3
	不登校支援	2 100.0	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -
	若者の就労支援	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0
	子ども・若者の相談	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	1 100.0
	障がい児（者）支援、医療ケア児の支援 （その親やきょうだいの支援も含む）	22 100.0	2 9.1	8 36.4	11 50.0	13 59.1	11 50.0	10 45.5
	DV・性被害を受けた子ども・若者の相談・支援	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0
	防災・地域の見守り活動	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	世代を超えた交流・居場所づくり	22 100.0	2 9.1	3 13.6	8 36.4	10 45.5	8 36.4	7 31.8
	更生保護・更生支援	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	芸術文化を通じた体験・交流の場づくり	7 100.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	4 57.1	3 42.9	2 28.6
その他	22 100.0	3 13.6	3 13.6	2 9.1	4 18.2	3 13.6	5 22.7	
分からない	4 100.0	- -	3 75.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	
回答なし	5 100.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	

ない 年齢を 分けて い	そ の 他	分 か ら な い
56 34.4	21 12.9	1 0.6
-	2 100.0	-
-	-	-
-	-	1 20.0
-	1 50.0	-
1 11.1	1 11.1	-
2 50.0	1 25.0	-
3 50.0	-	-
3 16.7	2 11.1	-
-	-	-
5 35.7	4 28.6	-
-	-	-
1 50.0	1 50.0	-
-	-	-
-	-	-
10 45.5	1 4.5	-
1 50.0	-	-
1 100.0	-	-
10 45.5	5 22.7	-
1 100.0	-	-
4 57.1	-	-
12 54.5	2 9.1	-
1 25.0	-	-
1 20.0	1 20.0	-

(7) 具体的な活動内容 (自由回答)

【Aの団体】

問21 貴団体の活動について具体的な内容を教えてください。

【Bの団体】

問31 貴団体はどのような活動に取り組まれていますか？

※原文のまま掲載

父親支援、働き方改革支援
にんしんSOS仙台
子育てについて学び交流できる子育て支援教室
子育て支援
子育て支援センター内での子育てひろばの運営、ファミリー・サポート・センター運営
学童保育（放課後児童健全育成事業）での支援者支援
児童、高齢、障害の3分野で活動している。
保育園の運営・放課後児童クラブの運営等
小規模保育事業
小規模保育園の運営
小規模保育事業、一時預かり事業
産休明け児から就学前児までの保育
小規模保育
月1度の配食、フードパントリー
学習や文化・スポーツ、体験活動等で利用できるスタディクーポンを提供
フードパントリー
月に1回のこども食堂開催と月に1回の食糧支援
仙台市と名取市で子ども食堂と名取市委託事業
フードバンク・フードパントリー活動
弁当屋の傍ら、持ち帰りの子ども食堂を実施
放課後等デイサービス 児童発達
障害児の学校後や休日の支援
学習支援
障害児計画相談
障害のあるお子さんたちを学校終了後または休日に預かって療育している。
児童館、放課後児童クラブ業務全般
障害をもった児童の放課後支援とその家族支援
児童館業務
児童館・放課後子ども教室・防災教育・相談
児童館運営、他機関との連携事業、人材育成事業、一時預かり等
児童館・放課後児童クラブの指定管理
児童館・児童クラブ運営

放課後子供教室を運営しています
学校の放課後、小学生を預かり屋外で一緒に遊ぶ
放課後の子どもの居場所作り等
大学の地域貢献事業
「子どもの遊び・生活・学習支援」、「女性の自立と子ども支援」、「保護者の就労・生活支援」など他にもさまざまな活動を行っている。
毎週土曜日無料バスケットボール教室、毎月数回こども食堂開催
児童館、小規模保育所の運営、冒険遊び場など
親子のふれあいなど遊び場づくりの企画と運営
子育てひろば運営、子育て支援
放課後児童クラブと子供食堂及び学習支援をメインに活動
子ども食堂への寄付を繋げたり、国際交流協会の活動をサポート
こども食堂（食堂＋あそび場＋学習支援＋フードパントリー）
「笑い愛カンパニーパンちょんピン」のミッションは【笑い愛のめぐり】です。自分を楽しませ、自分を『笑顔』にする。どんな自分も抱きしめて『愛』する。それを自分の中にめぐらせ、そして家族、親子、夫婦、パートナー、大切な人たちにめぐらせ、そのめぐりを広げていくことが、私たちの使命です。私たちは笑い愛パフォーマー夫婦デュオ「おのきん&エリー」として活動しています。夫婦共に保育士で、3児のパパママ。結婚21周年！夫婦デュオ結成3周年！公演多数（児童館・保育園・地域イベント等）その経験を生かし、笑い愛の子育てや家族づくり、世代間交流や地域の繋がりづくりをしています。子どもと楽しくあそべる方法や夫婦、親子、家族が笑顔になる「笑い愛」の時間をプレゼント！
地域ボランティア活動
高齢者福祉
月1回のこども食堂の開催、年1回のバス遠足（農家へブルーベリー狩り）、お手紙プロジェクト
毎週金曜日に子ども食堂を開催。会食・お弁当・フードパントリー・居場所の提供（カフェ）
こどもの居場所作り
訪問看護ステーションの運営とこども食堂の開催
子ども食堂と弁当配布
高齢者介護施設運営
宮城県のこども食堂団体の取りまとめと立ち上げ等の相談窓口業務
こども食堂の運営、ひとり親家庭等への食糧支援
野外での自然体験教育
英語教育
児童養護施設の子どもの寄り添い学習支援
障がい者福祉サービス
障がい者就労支援

不登校の高校生を含む児童生徒の学習支援、高校中退者、引きこもり等の進学及び就職支援支援。
（※団体本部は東京にて2007年に設立、活動中。本アンケートは東北チームの内容にて回答。） 弊会では東日本大震災の発生以降、仙台市に事務所を構え、被災地域での学習支援を継続してきました。「すべての子どもが夢や希望を持てる社会へ」という理念のもと、いじめ、不登校、高校中退の要因ともなる子どもの貧困解決のため、困窮家庭の中高生に向けた無料学習会、居場所の提供、キャリア教育、経済教育等を仙台市にて実施しています。また、甚大な津波被害を受けた南三陸町では、学校外教育や情報不足の環境に不安を感じている子育て世帯に向け、学習支援事業を継続しています。南三陸町の委託事業として、南三陸高校内の公営塾「志翔学舎」の運営も行っています。
無料のフリースクール運営とLINE、電話相談
個別面談、コミュニケーション等セミナーの実施、企業講和などの参加により自信をつけて、就労に結びつける支援を行っています。
障害福祉サービス事業所「スイッチ・センダイ」「スイッチ・イシノマキ」ユースサポートカレッジ（困難を抱えた思春期・青年期の就学・就労支援）「仙台NOTE」「石巻NOTE」
児童発達支援 めくもりすぺいす虹っ子、発達支援事業プリズム、保護者等支援事業（相談・おしゃべりサロン、学び合い、情報発信）
被災三県の幼保施設に無償でお伺いし、オリジナルヒーロー「破牙神ライザー龍」の交通安全教室等の開催。全国の18歳以下の髪の毛の問題で悩む子どもたちへ、無償で医療用フルオーダーメイドの人毛ウィッグをプレゼントする活動。
発達障害のある児童生徒の放課後活動の支援と造形活動支援
児童発達支援. 放課後等デイサービス
「ふれあいあそび」を通して産前産後の女性と子どもたちのケアを行う。児童虐待・産後うつ等の早期発見、相談を行う
児童発達支援、放課後等デイサービス
児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援
障害者支援
保育・療育
保育事業、障害児・者向け事業、高齢者向け介護事業、営業コンサル事業、飲食事業
しょうがいのある兄弟姉妹がいる「きょうだい」支援
知的障がいのある人達に日常的にスポーツトレーニングの場と、社会参加の機会を提供している
放課後等デイサービス事業を行っている
医療ケア児者の相談支援
障害者相談支援事業の実施
発達障害のある未就学から高校までの児童への発達支援
子育てママの育児に寄り添う活動
児童発達支援事業所、放課後等デイサービス

<p>アートを通じてすべての人が幸せに生きることのできる社会の実現をめざして、1994（平成6）年に誕生した。主な活動として、Empowerment可能性を広げる、Createつくりだす、Network州つなぐ、つながる、Access 参加する、Advocacy 支援する、これら5つの活動の視点を軸に、障害のある人の芸術文化活動にかかわる相談支援、人材育成・啓発事業、エイブルアート・カンパニー（著作権マネジメント事業）、創作活動の機会の提供（スタジオ事業）、作家の発掘や作品の発表機会の提供（ギャラリー/アワード事業）、鑑賞支援事業（美術と手話プロジェクト/アクセスアート事業）などがある。</p>
<p>主にろう重複障害者を中心とした作業所運営とろう重複障害者への理解啓発活動</p>
<p>相談対応、障害者福祉サービス利用計画作成・アセスメント、サービス利用・関係機関との連絡調整等</p>
<p>視覚障碍児・者支援を中心に多様な活動を実施している</p>
<p>主に乳幼児家庭の支援を中心として、中高生の居場所事業を実施しています。指定管理施設、法人独自事業、助成金と幅広く子育て支援に関わる支援を展開しています。</p>
<p>自立援助ホームの運営と困難を抱えた若年女性のシェアハウス運営</p>
<p>暴力被害を受けた女性の相談支援</p>
<p>ひとり親等の相談支援事業（就労支援含む）、子どもと親御さんの見守り支援事業、子ども（小学生・中高生）のサードプレイス事業、緊急食料支援事業</p>
<p>まちづくり支援</p>
<p>孤育てを防ぎ、こどもを真ん中に共育ち共育てを理念に掲げ誰もが安心して過ごせる居場所づくりをしている。</p>
<p>高齢者・被災者サロン活動・復興ニュース発行</p>
<p>レクリエーション</p>
<p>子育て中の母親への傾聴活動</p>
<p>イベントや障害の有無にとらわれない活動</p>
<p>スポーツを通しての居場所づくり、差別のない街づくり、活性化</p>
<p>多様な人々の「つながり」から「役割」を持つ事で社会課題解決につなげる</p>
<p>社会福祉事業</p>
<p>①若者コミュニティ運営事業 ②若者活躍の機会づくり事業 ③地域活性化（まちづくり）事業</p>
<p>環境景観と生態系の持続可能な心の棲み処</p>
<p>高齢者、被災者の孤立・孤独化を未然防止、居場所づくり</p>
<p>スポーツ活動</p>
<p>テニス（スポーツの振興）を通して、地域間世代間交流</p>
<p>100km徒歩の旅という事業を通して、子供たちの生きる力の醸成をテーマとした活動、夏休みに自分たちの生活圏を4泊5日をかけて100kmを歩きぬく。それをお世話する学生スタッフの研修や育成</p>
<p>主として仙台市及び仙台広域市町村圏の行政運営の児童館や放課後児童クラブへの世代間交流イベントの企画提供と実施。</p>

創設者である八戸出身の羽仁もと子の思想「我々の小さな家庭は、簡素でありたい、そして社会という大きな家庭では豊かでありたい」を願い、そのためには小さな家庭を清く愛に満ちたものにするを大事に考えています。そのためにはどうしたらよいかを生活の面、子どもとの関り、経済のことを羽仁もと子の著作集を読み合って考え、子どもをよく知るための話し合いや集まり、生活の基礎講習などの働きかけをしています。
「誰もが地域で普通に」暮らし続けることができる地域社会の実現のため、高齢者及び障害者、子どもなどが自立した生活を営むことのできる必要な支援を実施する団体及びそれらの団体のネットワーク組織を支援。宅老所やユニットケアの制度化運動、地域の支えあいの拠点及び緊急一時支援施設（国見・千代田のより処ひなたぼっこ）の運営、被災地支援、地域を基盤においたシンポジウムや専門職向け研修の開催や出版のほか、生活困窮者自立支援全国大会事務局など福祉関係の中間支援団体として活動。
郷土史や文化など、地域の特色を知り世代交流を深める活動
児童の健全育成、子育て支援活動
現在、こどもたち自らが企画・運営する活動を主においている。
農園での世代間交流
犯罪者や非行少年に対する就労支援
歌や音楽を通じた子育てサークル支援、歌あそび公演
月に2日程度、一番町にある事業所を開放し、アート活動をしたり、ただ過ごしたりできる場を3年前から「Aiオープンスタジオ」として運営しています。また、一番町アーケードや長町駅前広場、太白区文化センターなどで、芸術文化を通じた体験・交流の場を年に数回、主催事業や共催事業として行っています。さらに、ふうどばんく東北AGAINと連携し、学習支援やプレーパークの運営にスタッフを派遣しています。また、仙台、気仙沼、石巻のフリースクールや居場所にスタッフを派遣したり、NPOと連携して公立小学校にアートな場を作る活動をしています。
2才から6年生までを対象とした芸術・表現活動
当団体は、前身が経済産業省の管轄の任意団体（TALK）であり、日本の食卓文化を次世代に継承する、伝統工芸品の保護を始めとする地域に根付いた活動を本部は東京、全国7支部で展開しています。東北北海道支部は、仙台を拠点に毎年秋から冬に電力ビルでのテーブル展。食育の一つ「卓育」を教育機関、他子育て支援機関にて、イベントや講座を通して啓蒙。躰、マナー、コミュニケーションなど、食卓文化を通し、家庭における食卓が、人間形成に大変重要なものと共感して頂いております。プロのコーディネーター集団でしたので、個々も活動をしておりますが、支部だからこそ関わる事の出来る公的機会に対して、アクションをおこしておりました。
生活困窮世帯の子ども学習生活支援、不登校ひきこもり支援、訪問支援、子ども若者総合相談センター、フードバンク、こども食堂、こども第三の居場所、ヤングケアラー支援事業、保育所、児童館放課後児童クラブ等
テニス教室への講師派遣
映画資料の調査、学習

地域福祉活動支援の推進、ボランティア活動振興・福祉学習の推進、日常生活自立支援、生活福祉資金の貸付、高齢者・障害者施設の運営、福祉総合相談、介護保険事業の運営、福祉人材の育成、福祉団体の活動支援を行っている。そのなかで、子どもの居場所づくり支援として子ども食堂運営団体を対象とする助成や認証を行っている。
民家を改造した小規模な施設で介護と保育を協同で行っている
ベビーシッターの普及 支援が必要な家庭に気軽に利用してもらえる工夫
生育段階毎に身近な社会課題を見出し自らが継続的に取り組める活動
スポーツ活動
性教育、高齢者向け健康講話、体操など
若者が挑戦できる環境を増やすため、仙台地域では地域企業やNPO等でのインターン実施、起業支援、そして表彰制度（仙台若者SDGsアワード）の運営。東北エリア全体に若者を送り出すことも支援している。
虐待や非行等何らかの理由により帰る場所のない少年や親と一緒に暮らせない少年等を受入れ、家庭的な雰囲気のもとで自立更生に向けた支援を行う少年の家運営事業を中心に、様々な問題を抱える少年や保護者等の声に耳を傾け、青少年を取り巻く現状について地域に情報発信し、すべての少年の更生と健全育成に寄与することを目的とし活動しております。
悩み相談、子ども対象は学習支援と子ども食堂、居場所
主に産科施設や小児科で母乳育児支援を中心とした、育児支援を行っている支援者の支援。育児支援を行っている他団体と連携し、特に宮城県～東北の母乳育児支援を中心とした育児支援を行っています。
バレーボールクラブの運営
2024年現在に公的中间支援がない地域で、民間非営利団体として市民活動の促進や、市民・行政・企業などのセクターを超えた市民協働社会を実現するための中间支援活動を行っている。
村内に里親が居住する家族の家を建設し、里親に入居頂き、里親を支援する事業
放置竹林整備と竹の活用
山元町の里山・深山（しんざん/287㍿）頂上に当法人が建立した深山鎮魂の維持と登山道の維持改善
総合型地域スポーツクラブ
里親支援
スポーツ推進
気仙沼で中高生の探究活動のサポート、檜葉町で小学生の放課後遊び場づくり
児童相談所に保護された子どもをお預かりして一緒に暮らす
ゴミ拾い、家庭教育、被災者支援
禁煙や受動喫煙防止についての啓発のためフォーラムを開催
高校生百貨店
医療・福祉

・小規模保育園の運営（2園）・保育園内でのこども食堂・医療的ケア児家庭の訪問（居宅訪問型児童発達支援、居宅介護、居宅訪問型保育）・こども子育てに関するソーシャルアクション、政策提言
ラインダンスの普及、サークルを展開しながら出張出前講座、ボランティア活動、イベント出演PR
運動教室やスポーツイベントの開催
直接的には高齢者の活動だが、その家族を支援
子ども対象書道教室
NICUに入院したことのあるお子さんとそのご家族の触れ合いの場、早産児・リトルベビーハンドブックの啓発活動
森林所有者・施業者・製材業者・建築業関係者・消費者その他すべての家づくりにかかわる人々が力を合わせ、山の資源である木を活用して家づくりを行うことを通じて森林環境を整備する事業を行い、森を育み後世まで伝えて行ける環境づくりと、健康な住まい、その職人技の次世代への継承のための活動
訪問整理収納サービス・資格講座・イベントセミナー・ワークショップなど
産後サロンとして助産師、保育士、管理栄養士が子育て中のパパママとお子さんに産後の身体作りのエクササイズを親子で体操をし、保育士が発達に合わせた遊び、栄養士が離乳食を通しての食育を楽しくお話しし、美味しいお茶を飲んで採れたて野菜をお供にしながらピアな関係でおしゃべりする活動です。
親子の居場所作り、子ども食堂、フードパントリー
無農薬・無化学肥料での栽培限定の家庭菜園用農園の運営
子ども食堂
子育て中の父母の支援 ペアレントプログラムの実施
子ども食堂
乳幼児を抱える若い世代家族から独居の高齢者迄対象に参加費無料での各種行事や食事の提供を行っています。
年2回の子育てコンサートを中心に、デジタル絵本などを制作中です
こども食堂、学習支援、地域の高齢者の活躍場所（餅つきの時のボランティアなど）と異年齢交流。
主に未就園の子どもとその親が、「自主育児サークル」に繋がることで、地域で仲間で子育てをする体験を通して、前向きな、その人らしい子育てへと変わっていける実体験をもとに、自主育児サークルの保全・継承のための活動を太白区役所家庭健康課と協同し、行っている。
月1回第二日曜日 福室市民センターで食事提供している。大人、子どもどなたでもOK
自主育児サークルとして、月2～3回、0～未就園の子どもと親が集まり、遊びを通して一緒に活動している
子育て世代のママの息抜きの場を作る。
定期的なサークルで親子体操 ママ向けリフレッシュできる講座開催 足育の普及活動

親子で一緒に育児を楽しめるような活動（手遊び歌、絵本の読み聞かせ、体操、季節ごとの歌や制作、遠足、お誕生会、クリスマス会等）
サークル活動を通して親子の居場所を作る
心臓病を持つ子の親が集まり、仲間作り
手遊び、絵本の読み聞かせの他、製作活動、遠足、おかいものごっこ、運動会、季節のイベントに因んだもの（ハロウィンやクリスマス）等、保育園等で経験するようなこと
児童館を活動場所として、児童クラブの小学生、乳幼児との遊び。子育て中のひとの支援。
主にリトミック、コーチング講座、アロマクリーム作り
未就園児とその保護者を対象とした親子で交流する場の提供です。
育児サークル、子育てサークル
食を通じた居場所作り（地域のふれあい食堂）
子育て中の親子を中心にヨガとか手芸 絵本読み聞かせ 野菜や花など 子育ての悩みなどはなしあっています。
子育ての合間に子どもゆったりと心地よい音楽が聴きたいな。そんなお母さんとお子さんを対象に、童謡や日本歌曲を気持ち良いアレンジで体を動かしながら歌い、手遊びやリトミックの要素も取り入れながら演奏します。
学習サポート、食育、発達活動など
子どもの居場所
子育て中ママやこどもの居場所づくり 手しごとを通して仲間づくり
孤食の解消と地域コミュニティの活性化のための子ども食堂
育児サークル。児童館で集まったり季節ごとのイベントをコミュニティセンターで行っています。
児童センターの行事の手伝い
プレーパーク。0歳から100歳まで、障害の有無を問わず、誰もが自由に過ごせる居場所づくりを地域の方と共に行っています。
川平地域の乳幼児の親子を対象に「かわだいラッコ」と称して交流活動を行っている。
転勤や移住で仙台に来た子育て中のママの居場所になればという思いを込めて、転勤ママ達が企画・運営している育児サークルです。
子育てサロンの運営
月1回市民センターでの子育てサロン開催
児童センターと協力して主に子育て中のお母さんの支援と、児童センターイベントの補助
児童センターのお手伝い
地域の小学生の見守りと児童館との共催でいろいろな行事を行っている
児童センターの行事のお手伝いが主で 児童センターと協力して 仙台市からの助成金を使って企画したりして そのお手伝いをしている
団体主催の演劇公演、市民向け演劇ワークショップの開催
こども食堂
発達障害、グレーゾーンの子を持つ親への相談

妊婦さんの思い出づくり（マタニティペイント）、親子向けアートイベントの開催（工作や絵画制作など）
地域食堂の運営
子ども食堂、食料支援、食育イベント
0～3才のお子さんがある子育て中の親子で集まり、季節の遊びや情報交換を行っています。
みてみてこの本おもしろいよ
自然保護活動
仙台市を中心に乳幼児から出来るスキンタッチという、はりきゅうをベースとした健康増進法をパパさん、ママさんに教室を開いてスキンタッチを学んでいただき各家庭で実施して貰う。またはりきゅうの広報普及の一助になればと考えている
親子で手遊びや歌を歌い親子のコミュニケーションを楽しみ異年齢の親子で集まり育児を一緒に楽しんでいく。
子育て支援活動団体として、子供たちに音楽の楽しさを届ける活動をしています。
18歳までの人からの電話・チャットでの相談受付、社会的養護のものと子ども・若者の学習支援やアフターケアとしての生活援助等
・週1回自宅を開放し文庫活動・月3回程度児童館にて本の紹介、わらべうた ・年1度5日間位東日本大震災の体験をお話しさせて頂いてます。（小学校で）

(8) 今後取り組みたい活動内容 (自由回答)

【Aの団体】

問23 今後取り組んでみたい活動について具体的な内容を教えてください。

【Bの団体】

問35 今後、どんな活動に取り組みたいです か？ 具体的な内容を教えてください。

※原文のまま掲載 (斜体部分は財団補記)

不登校、PTA関係の支援、講演も行っていきたい
校内居場所カフェ
ふれあいサロンの定期的開催。各地区への訪問
男性の家事・育児スキル向上に関する取り組みなど
困難を抱えた子どもと親御さんそれぞれの自立までの包括的支援
若者の社会参加の支援など貧困の連鎖をなくすための活動
不登校の方の居場所づくり
地域との交流
食育
ゆりかごから墓場まで
お年寄りと子どもとが一緒に行う活動。クッキングや制作活動など
地域とともに子育てができるように取り組んでいきたい
ヤングケアラー 障害者雇用
地域の方々と子どもたちとの社会貢献活動
家庭教育普及及び地域連携支援
社会福祉協議会等の事業の受託
児童館の指定管理をひきつづき
子ども食堂など
子ども食堂
これまでに関わった方々との継続した関わり。内容は年代に応じて。
野外活動、フリースクール、こども食堂
小学生低学年を対象にアナログゲーム体験
世代を超えた交流
相談業務
世代や国籍をこえた交流居場所づくり サポート
学習支援の充実
学習支援
乳幼児やその親のケア
障害児の保育。地域に開かれたカフェの併設。
子どもの居場所づくりと食堂でのご飯の提供
地域共生社会活動
高校卒業後の若者支援

英語のイベント
施設終了者のシェアハウス・カフェ設立とヤングケアラー支援
若者の居場所作り
キャリア教育・ワークシヨップ
子どもたちの体験の幅を広げられる活動、相談活動
関係機関と連携した、仙台市若年者就労支援の成功事例を、仙台モデルとして構築し、東北他地域に活かしていきたい。
若年者就労支援、引きこもり支援、居場所（オンライン、オフライン）、メンタルヘルス教育ツール開発、刑務所少年院等出所者支援
子ども・若者の自死予防の強化と虐待防止の推進
父親の集まる会を定期開催していきたい。
子育て支援・子ども食堂
子ども食堂
保育・療育の力をあげていきたい
業種に捉われず、地域の方の笑顔に寄与する活動
・同じ境遇にある「きょうだい」どおしの交流の場、ピアサポート ・親子参加型イベント、親御さん向け交流・学習会 ・パートナー（ボランティア）勉強会 ・しょうがい者への理解を深める啓発活動 ほか
障害のある人、ない人が共に活動する機会を増やしていきたい。
親の支援
家庭の養育力低下をフォローできる親向け講座や、子どもの権利、子どもアドボカシーなど権利や子どもの生活周りの課題解決などについての情報交換
相談支援
作業所運営と親亡き後の生活施設づくり
就労支援
2024年の新規事業目標は以下の2つです。1. 災害時避難施設「にげみず」づくり2. 視覚障碍児・者の多機能型施設「ふうせんかずら」づくり
子育て支援団体の繋がりを増やす
一時保育事業、休日保育事業、ホームスタート
三世代交流
子どもたちへの傾聴の普及により、いじめ防止につなげたい
ライフステージに沿った居場所の創出
イベントや、プロチームを作り街の活性化、夢や希望を与えていきたい
学校に行かない子どもの居場所づくり
現状の活動を継続し、住み良い環境や胸像出来る自然豊かな地域
子どもにとって大事な幼児期のお子さんとお母さん、お父さんと交流の場を設けて生活の楽しさや関わり方などを語り合いたいと思っています。
児童福祉法など、福祉制度の狭間で支援が届いていない子ども・若者の支援

海外との交流
遊具点検の安全点検、子育てコンサート、人形劇他
DV支援、貧困家庭支援、不登校支援、ひとり親支援
子ども・若者・大人という世代間交流と地域（まち）間交流をミックスした上で、ノーマライゼーション的要素を加えた活動。
親子のみならず高齢者や若者を含めた世代を越えた人々の歌あそび交流の場の創造
一番町の事業所を開放し、月に2日程度行っている「A i オープンスタジオ」で、地域食堂のような取り組みも行い、こどもや外国人、障害者など含めた多様な人が芸術文化で交流する場をさらに多様化させていきたいと考えています。
行政・地域の諸団体と一緒に取り組むイベント・おまつり
仙台市はじめ、教育機関で行われている食育事業は農水産業事業者、食品メーカー、料理研究家などによる食育基本法の三本柱の一つ目の柱である「選食能力…」にしか対応しておらず、二本目の「膳、食卓を整え…」の日本文化継承のあたりが大変おろそかになっている。輪島等、被災した伝統的工芸品はもちろん、東北の職人からも存続の危機が最近特に話題に上がっており、このままでは社会問題となりかねない現状がありました。一汁三菜やおはしの持ち方をはじめとする、しつけは小学校3年生までが、リミットと言われ、子育て世代への啓蒙がカギと言われます。次世代に、物の本質、伝統をオシャレに楽しく分かりやすくお伝え出来るのが我々の得意とするところでありましたが、全国的にテーブルコーディネートの認知度が低い東北では、贅沢な世界と誤解され、当団体レベルの発信では卓育が受け入れられず、子供達にも社会にももたない現状がありました。よって、教育機関の食育事業のカリキュラム等に盛り込んでもらったり、テーブルウェアの催事や行政イベントなどでのステージ、ブース等発信の機会を頂けましたら幸いです。
子ども映画上映会
繁華街での子ども若者を対象とした居場所
災害支援。子ども食堂・学習支援
年齢が65を過ぎたシッターが こども病院等で 保護者に代わり 身の回りのお世話ができるシステムを作っていきたい 大学生を対象に有償ボランティアとして イベント等の集団託児で仕事を発生させて 安定した働き口を提供したい 発達障がいの子どもを抱える保護者に対してのサポート
陥没しているリタイヤ世代を巻き込んだ社会貢献活動
放課後支援
地域課題解決に若者が参画できる環境づくり
地域の若者をリーダー育成と共に、トッププレイヤーの育成。生活困窮者への食事支援。安心安全な居場所、遊び場作り。
新たな活動は行わず、現在の活動を粛々と継続していく。
お茶を教えてください方から、お茶会をかいさいできないかと連絡を頂いている。文化を伝えるためにもどうにか開催できないかなと考えている。
学校や親の会との連携

育児中の方へ、相談など直接支援を行うこと（人手不足でコロナ後再開できていない）
市民活動促進や市民協働社会にむけた政策提言
子育て支援の事業
現状維持が精いっぱい
子育て支援セミナー
幅広い世代の人材育成
仙台市の公園の受動喫煙防止条例を作る
初心者でも出来るラインダンスで健康増進、あらゆる世代との交流の場として活用したい
書道パフォーマンス
早産児・早産に対する偏見や間違った理解や社会をよくする活動およびご家族が安心して過ごせるような取り組み
川崎の木で作る健康にも地球環境にも優しい家づくりを次世代へと繋ぐ
子育て支援センターでの片付け講座、小学生の家庭科出前授業（5年整理整とん）
離乳食からの食の美味しさ、楽しさをパパママお子さんに楽しいパフォーマンスを通して伝える活動
今は乳幼児が参加しているが、小学生も多く参加してもらえるよう開催したい。地域に異年齢集団で関わりができる居場所になりたい。小学生イベントを計画中。
自然農などを学ぶための機会を増やすとともに家族も一体となった活動を進める（食育を意識した「〇〇づくり」などのイベントを増やす。
地域への広がり（支援求めている方々に届いていない）活動の時間の制限があるためゆったり出来る時間の確保 地域の皆が第3の居場所になれる場を目指している
現状を継続していきたい
国の助成金だけで開催しているの、期間が限られる。食とは毎日のこと。1年を通して開催できる助成金の申請方法にして欲しい。現在は申し込みできるものにはなるべく申請してありますが、7～1月と3月の助成金でしか開催出来ていない。企業でも個人でも直接の寄付金があれば開催数が少なくなっても定期的に開催ができるので、繋がりが欲しい。
親のための金融の勉強
今迄12回開催しているが、大変好評なので継続実施していく。活動としては、初回から①学びの時間（ミニ演奏会、講演、講話等）②美味しい時間（手作り食事の提供）③楽しい時間（各種ゲーム、お絵かきなど）と3部構成で行っている。
学校や施設などで、子どもたちや子育て世代のための無料のコンサート公演を行っていかうと企画しております
太白区の自主育児サークルの体験会を今年度も企画している。
親子、とくに障がいがあるお子さんの親子も安心して通える場の提供
他サークルとの交流
自然の中で遊ぶ キャンプ
講師の方をお呼びして、ベビーマッサージやパン作り、お菓子作りなどに取り組みたい。
リトミック。音楽に触れながら、親子で楽しむ。

活動を始めてから10年たって会員との関係や活動が定着して来たと感じている。新しい活動よりもこのままの活動を長く続けていきたいと思っている。
これまで通りを維持していきたい
今は現在の活動を継続することが優先
地域での子育てのサポート 学校開門前の児童のさぼーと
より多くのお母さんとお子さんに心地よい時間を届けて行きたい。
現状継続
現在の活動を長く継続し地域に根づかせたい
子育て中ママや子どもたちがものづくりを通して、楽しい時間を過ごし、友達づくりのきっかけとなる活動。居場所づくり
上記を継続 ※上記では「育児サークル。児童館で集まったり季節ごとのイベントをコミュニティセンターで行っています。」と記載。
今年度、区の公園課担当者が変わり、制約が増え、活動しにくくなりましたが、要請に応じつつ様子を見ながら継続し、考えていきたいと思っています。
子育て世代の相談、幼児安全の方法などのセミナー
現在の活動でいいと思う 加茂中学生(科学部)に紙ひこうきの作り方(よく飛ばとか)を教えてください 紙ひこうき飛ばしのようなものをやりたい
市民センターでイベントや幼稚園などの未就園児クラスのイベントをより増やしていきたい
現在の活動を継続と児童館の行事の協力
転勤族ママと移住者で運営しているサークルの為、毎年代表も替わる予定ですし、異動の関係で出入りもあるので、サークル全体の人数もその年によって様々な状態です。今現在はSNSを利用しておりませんので、今後は活用していくことも検討していければと思っています。SNSを活用できれば、メンバー募集案内や活動報告等載せることができると思いますが、そのSNSの運用方法も担当者が毎年替わる可能性もある為、なかなか踏み切れずにいるのが現状です。
これまで通りの活動
イベント協力
東京事務局は、「ミュージアム・アクセス・センター設立事業」で通称「みんなでミュージアム」。3年目(令和5年度)から、国の補助・助成金がなくなったあとの自走を意識した思考および提案力を問い、活動してきたが、この視点は今年度も重要である。また、港区に事務所を移し一年がたつが、組織戦略上、アトリ工事業の基盤強化(港区助成金への申請)、地域の大学との連携(ボランティア)、港区行政への政策提言(劇場・音楽堂、ミュージアム等)に徐々に取り組んでいく。東北事務局は、福祉・文化・教育・経済分野を横断した中間支援組織の活動が加速し、求められる仕事も増加しつつけている。スタッフ体制の強化、外部専門家とのパートナーシップ制度を検討していく必要がある。
地域の小学生が、楽しめる活動(家庭であまりやらなくなった小正月行事など)

子ども向けの演劇ワークショップ
このまま、継続した活動
今の活動の認知度を上げ、楽しさをたくさんの人に伝えたい
引き続き発達障害支援
活動の継続
変わらず地道に参加者が無理なくボランティア活動をする
行政と連携して各保育所や市の施設の託児所等で定期的にスキントッチの教室を開いて子育て支援をコンスタントに行えるようにしたい。それと同時にはりきゅうが身近な存在であることが認知されるようになってくれればと思っている。
医ケアの子どもや兄弟家族に支援
仙台市の育児環境の底上げ
誰もが楽しく鑑賞できることのできる舞台「おはなしクラシック～どなたでもコンサート」を定期開催しています。特に子供たちに多く鑑賞してもらいたい思いから、子供は無料の催事としています。また、0歳から鑑賞できる機会設定、泣いたり声を出したりしても大丈夫な雰囲気作り、子供でも飽きにくい内容構成を重視する等の工夫を行い、乳幼児期から気軽にクラシックに親しむ環境作りに注力しています。引き続き、「おはなしクラシック～どなたでもコンサート」を継続開催しつつ、他の子育て支援団体と協働し、ロビーでのマルシェ同時開催や、ワークショップ開催等を通じて、多くの子育て世代が楽しめるイベントを開催してみたいと思っています。
・医療的ケア児の通園支援（看護師の派遣など） ・医療的ケア児の入院中の支援（入院中も児童発達支援に行ける） ・医療的ケア児の在宅訪問の拡充（レスパイト目的） →現在子育て家庭は、理由を問わず保育園の一時預かりや誰でも通園制度が利用できる。一方、医療的ケア児や重度心身障害児は利用のハードルが高い。24時間でケアにあたる医療的ケア児家庭こそ、レスパイト目的での在宅訪問などをしたい。あるいは、看護師を派遣するなど「こども誰でも通園制度」利用の支援をしてみたい。
・青空こども食堂、移動型こども食堂 →今は保育園という場所が特に低年齢児のこども食堂に向いていると感じ、継続しているが、保育園から飛び出してキッチンカーなどで必要な場所へ出向くこともしてみたい。
現在、コロナを経た上、出産後かなり早い段階で保育園また幼稚園に入園する親子が多くなったことから、育児サークルメンバーが激減し、運営が困難になった育児サークルが増えた。そこで、3年前から太白区育児サークル応援隊たい子さんがその様な状況の育児サークルを預り、代理で会の運営を担っていた。今年度は、このとんとんの会のみではあるが、（他のサークルは、自主運営にこぎ着けた）自主運営が出来るようになるために、サークル体験会や他のサークルとの合同イベント等を考えている。
小学校の朝の開門待ちの児童に文庫を開放したい。
不登校生徒などの居場所作り、体験スクール
無理なくママと子どもの息抜きの場作りを継続できたらと思います。

(9) 活動上の課題（当てはまるもの全て/主たる課題）

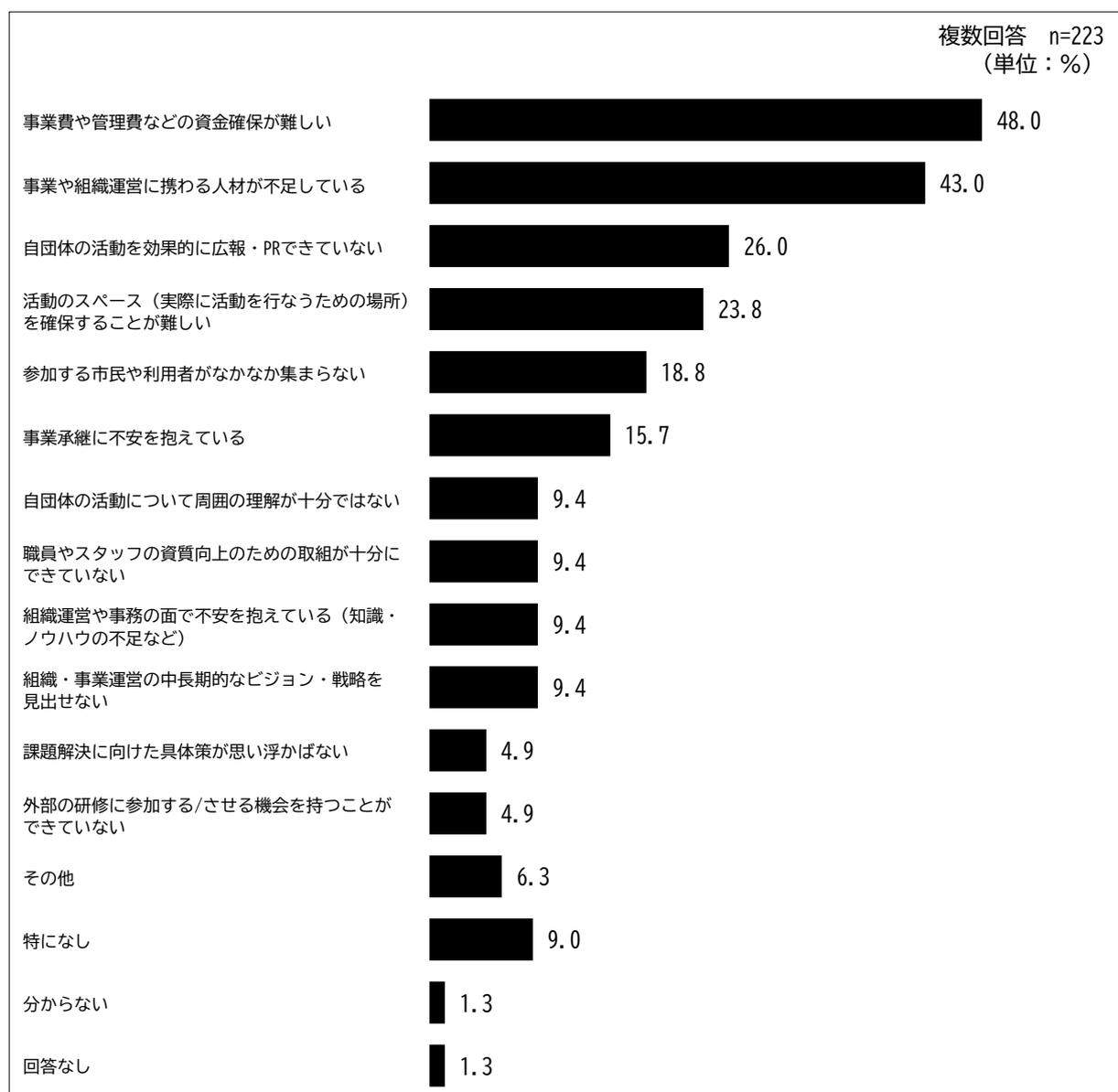
【Aの団体】

問24 活動のうえで抱えている課題はありますか？

【Bの団体】

問33 活動のなかで、抱えている課題やお困りごとはありませんか？

- ▶ 活動上の課題（当てはまるもの全て）について、回答団体全体をみると、「事業費や管理費などの資金確保が難しい」が48.0%と最も多く、次いで「事業や組織運営に携わる人材が不足している」が43.0%、「自団体の活動を効果的に広報・PRできていない」が26.0%となっている。
- ▶ 「その他」の内容として、コロナ禍に伴う活動制限の影響や感染症への不安、行政との連携が難しい、人件費や諸経費の高騰、離職が多い、などが挙げられている。



【法人格別 活動上の課題（当てはまるもの全て）】

（上段：件数 下段：％）

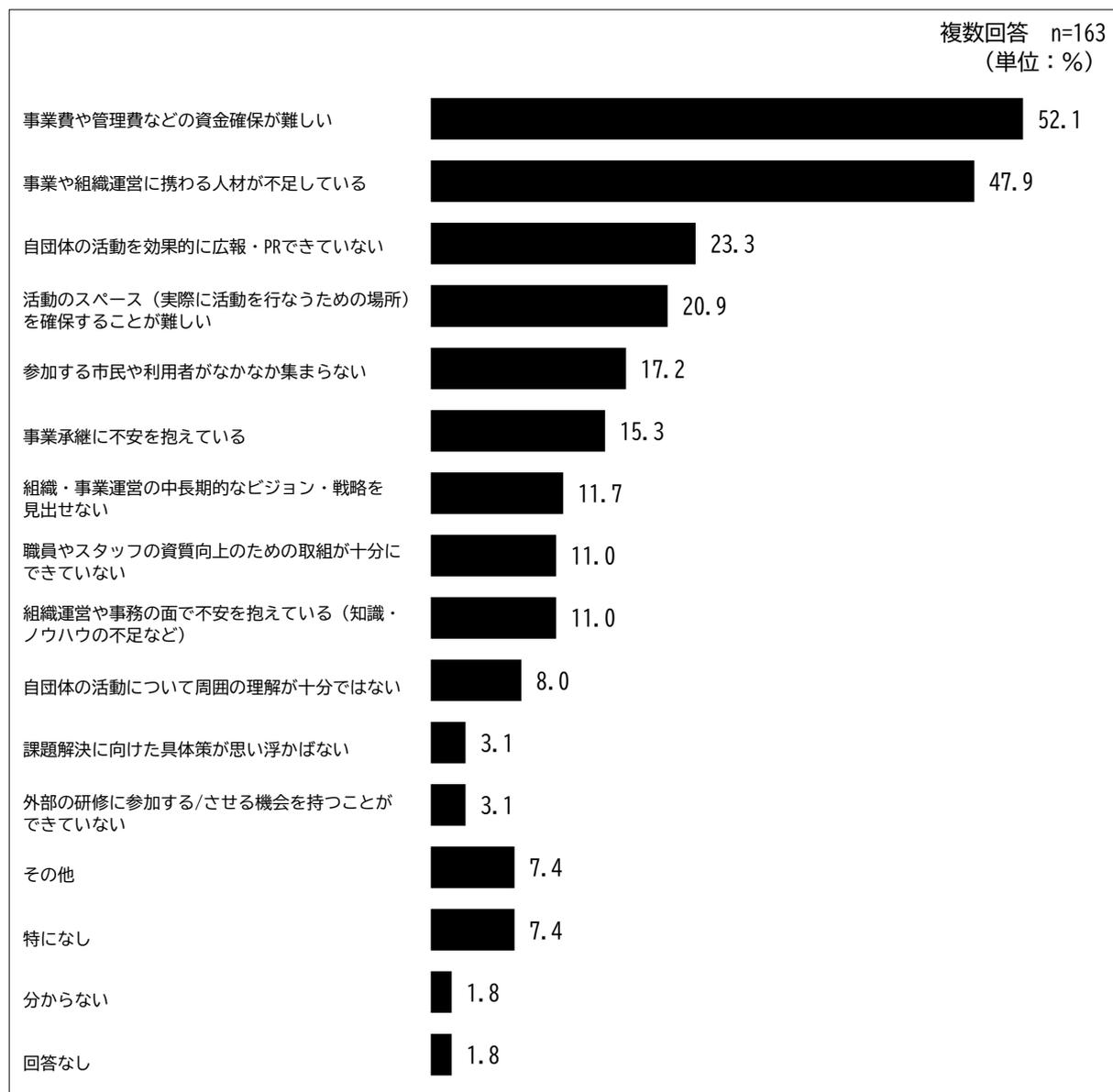
	全体	課題 が思 い決 浮か ばけ ない 具体	事業 人材 が組 織運 営に 携わ	事業 費や 管理 費な どの	活動 の場 所を 確保 する こと	活動 の場 所を 確保 する こと	参加 する 市民 や利 用者	自治 体の 活動 につ いて	自己 報告 の活 動を 効果 的に	職員 のタ スク の取 組が 資質
全体	223 100.0	11 4.9	96 43.0	107 48.0	53 23.8	42 18.8	21 9.4	58 26.0	21 9.4	
法人格	認定NPO法人	14 100.0	1 7.1	7 50.0	8 57.1	2 14.3	2 14.3	2 14.3	2 14.3	3 21.4
	特定非営利活動 法人（NPO法人）	95 100.0	3 3.2	52 54.7	53 55.8	19 20.0	19 20.0	3 3.2	21 22.1	9 9.5
	一般社団法人	11 100.0	- -	4 36.4	7 63.6	3 27.3	2 18.2	1 9.1	3 27.3	- -
	公益社団法人	1 100.0	- -	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0
	公益財団法人	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -
	社会福祉法人	8 100.0	- -	2 25.0	2 25.0	2 25.0	- -	- -	1 12.5	1 12.5
	学校法人	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -
	任意団体	65 100.0	6 9.2	18 27.7	27 41.5	19 29.2	8 12.3	9 13.8	22 33.8	4 6.2
	その他	25 100.0	1 4.0	9 36.0	8 32.0	8 32.0	7 28.0	3 12.0	6 24.0	3 12.0
	分からない	2 100.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -

と / 外部の研修に参加する機会を持っていない	ど 識不安組織 ・ノウハウの不足な	組織運営や事務の面で	組織・事業運営の中長期的なビジョン・戦略を見出せない	事業承継に不安を抱えている	その他	特になし	分からない	回答なし
11 4.9	21 9.4	21 9.4	21 9.4	35 15.7	14 6.3	20 9.0	3 1.3	3 1.3
-	2 14.3	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1	1 7.1	-	-
3 3.2	11 11.6	11 11.6	11 11.6	19 20.0	5 5.3	6 6.3	1 1.1	2 2.1
1 9.1	2 18.2	3 27.3	1 9.1	3 27.3	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1 12.5	-	1 12.5	-	2 25.0	2 25.0	-	-
-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
6 9.2	4 6.2	4 6.2	4 6.2	11 16.9	4 6.2	6 9.2	-	1 1.5
1 4.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	1 4.0	5 20.0	-	-
-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-

【Aの団体】

問24 活動のうえで抱えている課題はありますか？

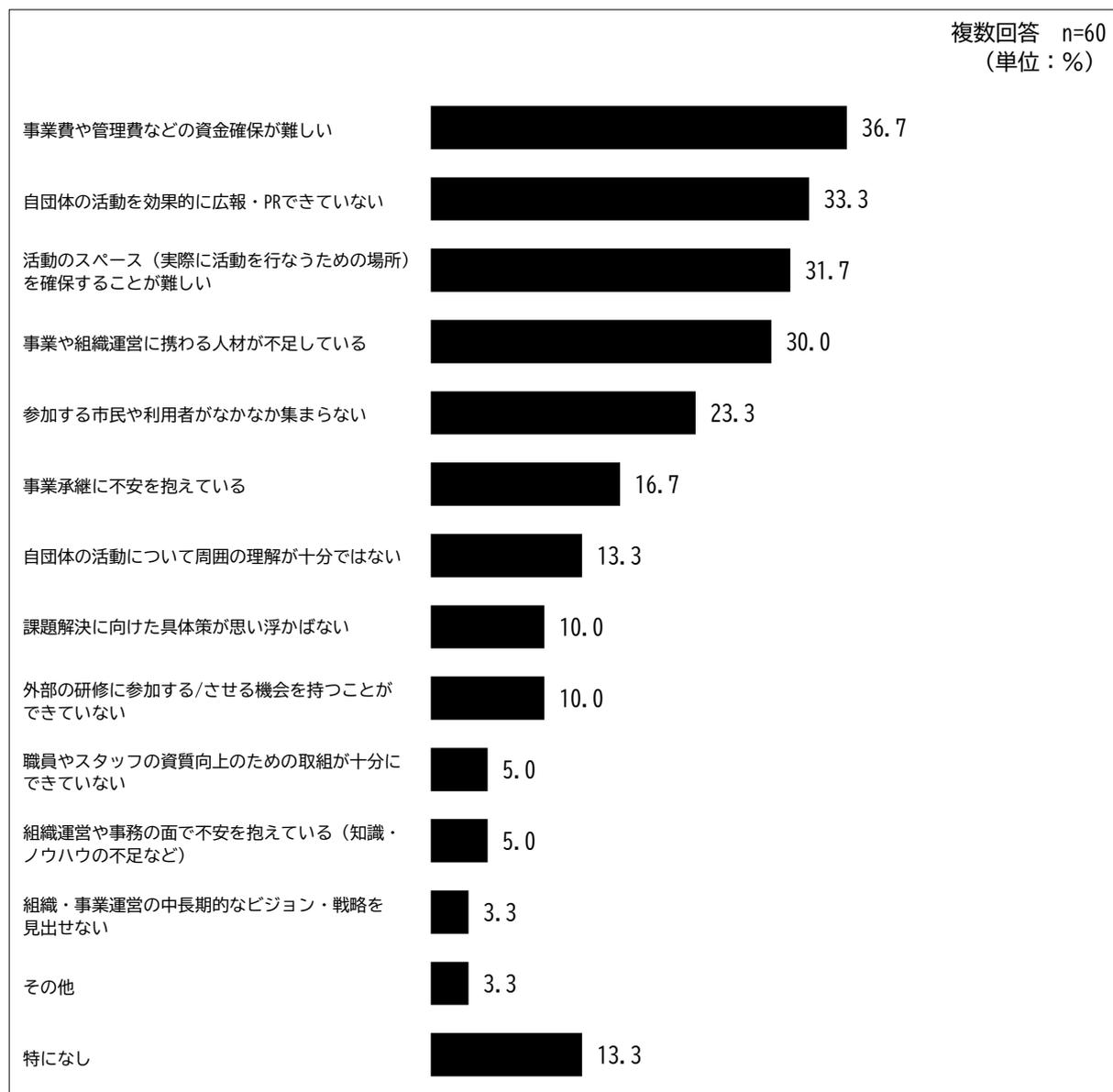
- ▶ 活動上の課題（当てはまるもの全て）について、Aの団体を見ると、「事業費や管理費などの資金確保が難しい」が52.1%と最も多く、次いで「事業や組織運営に携わる人材が不足している」が47.9%、「自団体の活動を効果的に広報・PRできていない」が23.3%となっている。



【Bの団体】

問33 活動のなかで、抱えている課題やお困りごとはありますか？

- ▶ 活動上の課題（当てはまるもの全て）について、Bの団体を見ると、「事業費や管理費などの資金確保が難しい」が36.7%と最も多く、次いで「自団体の活動を効果的に広報・PRできていない」が33.3%、「活動のスペース（実際に活動を行うための場所）を確保することが難しい」が31.7%となっている。



(9) -2 主たる課題

【Aの団体】

問25 前問で選んでいただいた選択肢のうち、最も大きな課題はどれですか？

【Bの団体】

問34 前問で選んでいただいた選択肢のうち、最も大きな課題やお困りごとはどれですか？

- ▶ 主たる課題について、回答団体全体を見ると、「事業費や管理費などの資金確保が難しい」が29.6%と最も多く、次いで「事業や組織運営に携わる人材が不足している」が17.5%となっている。

(n=223)

主たる課題	(%)
事業費や管理費などの資金確保が難しい	29.6
事業や組織運営に携わる人材が不足している	17.5
活動のスペース（実際に活動を行なうための場所）を確保することが難しい	8.1
参加する市民や利用者がなかなか集まらない	6.7
自団体の活動を効果的に広報・PRできていない	5.4
事業承継に不安を抱えている	4.0
組織・事業運営の中長期的なビジョン・戦略を見出せない	2.7
自団体の活動について周囲の理解が十分ではない	2.2
職員やスタッフの資質向上のための取組が十分にできていない	1.8
課題解決に向けた具体策が思い浮かばない	1.3
組織運営や事務の面で不安を抱えている（知識・ノウハウの不足など）	1.3
その他	4.0
特になし	4.0
分からない	0.9
回答なし	10.3

【法人格別 主たる課題】

(上段：件数 下段：%)

	全 体	課 題 が 思 い 浮 か ば な い 具 体	事 業 人 材 が 組 織 運 営 に 携 わ る	資 金 確 保 が 難 し い の	事 業 費 や 管 理 費 な ど の	場 所 活 動 を 確 保 す る こ と の	活 動 の ス ペ ー ス へ 実 際 に	参 加 す る 市 民 や 利 用 者 が な か な か 集 ま ら な い	周 辺 団 体 の 理 解 が 十 分 で は な い	自 ら 報 告 し た 活 動 の 実 績	分 向 に 上 の や ま た め の タ ツ の 取 組 が 十
全体	223 100.0	3 1.3	39 17.5	66 29.6	18 8.1	15 6.7	5 2.2	12 5.4	4 1.8		
法人 格	認定NPO法人	14 100.0	- -	5 35.7	6 42.9	- -	- -	- -	- -		
	特定非営利活動 法人 (NPO法人)	95 100.0	1 1.1	21 22.1	31 32.6	5 5.3	4 4.2	1 1.1	4 4.2	2 2.1	
	一般社団法人	11 100.0	- -	- -	7 63.6	2 18.2	- -	- -	- -	- -	
	公益社団法人	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	公益財団法人	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	
	社会福祉法人	8 100.0	- -	1 12.5	- -	2 25.0	- -	- -	- -	1 12.5	
	学校法人	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
	任意団体	65 100.0	1 1.5	7 10.8	20 30.8	7 10.8	4 6.2	3 4.6	6 9.2	- -	
	その他	25 100.0	1 4.0	3 12.0	2 8.0	2 8.0	4 16.0	1 4.0	2 8.0	1 4.0	
	分からない	2 100.0	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -	- -	

ど)	識不安組織 ・不安を 抱えウ ハウの 不足へ な知	組織運 営や事 務の面 で	を期 的ビジ ョン・ 戦略 を見 出せ ない	組織・ 事業 運 営の 中 長	て事 業承 継に 不安 を抱 え	そ の 他	特 に な し	分 か ら な い	回 答 な し
	3 1.3	6 2.7	9 4.0	9 4.0	9 4.0	2 0.9	23 10.3		
	-	1 7.1	1 7.1	-	1 7.1	-	-	-	-
	2 2.1	3 3.2	5 5.3	3 3.2	3 3.2	-	10 10.5		
	-	-	-	2 18.2	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	1 12.5	2 25.0	1 12.5		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	1 1.5	1 1.5	3 4.6	4 6.2	1 1.5	-	7 10.8		
	-	1 4.0	-	-	3 12.0	-	5 20.0		
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【Aの団体】

問25 前問で選んでいた選択肢のうち、最も大きな課題はどれですか？

- ▶ 主たる課題について、Aの団体を見ると、「事業費や管理費などの資金確保が難しい」が33.1%と最も多く、次いで「事業や組織運営に携わる人材が不足している」が20.2%となっている。

(n=163)

主たる課題	(%)
事業費や管理費などの資金確保が難しい	33.1
事業や組織運営に携わる人材が不足している	20.2
活動のスペース（実際に活動を行なうための場所）を確保することが難しい	6.1
参加する市民や利用者がなかなか集まらない	4.3
自団体の活動を効果的に広報・PRできていない	3.7
組織・事業運営の中長期的なビジョン・戦略を見出せない	3.1
事業承継に不安を抱えている	3.1
職員やスタッフの資質向上のための取組が十分にできていない	2.5
組織運営や事務の面で不安を抱えている（知識・ノウハウの不足など）	1.8
課題解決に向けた具体策が思い浮かばない	1.2
自団体の活動について周囲の理解が十分ではない	1.2
その他	4.3
特になし	4.3
分からない	1.2
回答なし	9.8

【Bの団体】

問34 前問で選んでいただいた選択肢のうち、最も大きな課題やお困りごとは何ですか？

- ▶ 主たる課題について、Bの団体を見ると、「事業費や管理費などの資金確保が難しい」が20.0%と最も多く、次いで「活動のスペース（実際に活動を行うための場所）を確保することが難しい」「参加する市民や利用者がなかなか集まらない」が13.3%となっている。

(n=60)

主たる課題	(%)
事業費や管理費などの資金確保が難しい	20.0
活動のスペース（実際に活動を行なうための場所）を確保することが難しい	13.3
参加する市民や利用者がなかなか集まらない	13.3
事業や組織運営に携わる人材が不足している	10.0
自団体の活動を効果的に広報・PRできていない	10.0
事業承継に不安を抱えている	6.7
自団体の活動について周囲の理解が十分ではない	5.0
課題解決に向けた具体策が思い浮かばない	1.7
組織・事業運営の中長期的なビジョン・戦略を見出せない	1.7
その他	3.3
特になし	3.3
回答なし	11.7

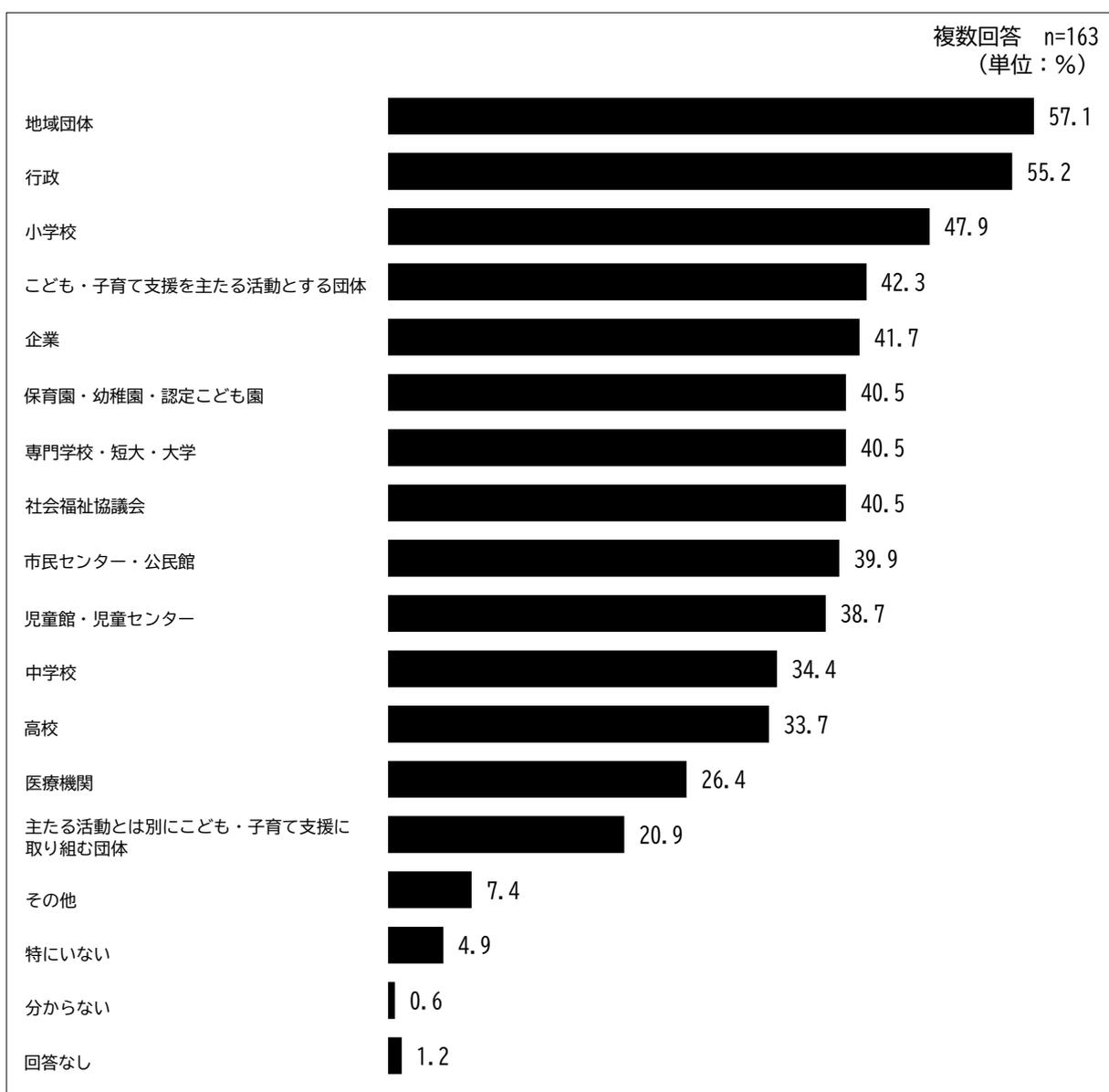
2. 連携・協働について

(1) これまでに連携の実績があった関係機関等

【Aの団体】

問26 これまでに連携して企画・事業に取り組んだことのある団体・関係機関を教えてください。

- ▶ これまでに連携の実績があった関係機関等については、「地域団体」が57.1%と最も多く、次いで「行政」が55.2%、「小学校」が47.9%となっている。
- ▶ 回答のあった163団体のうち、「特になし」、「分からない」及び「回答なし」を除いた、9割以上を占める152団体がいずれかの関係機関等との連携の実績を有している。
- ▶ 「その他」の内容として、弁護士、大学教授、スクールソーシャルワーカー、少年院、ケアサービス事業者、などが挙げられている。



【法人格別 これまでに連携の実績があった関係機関等】

(上段：件数 下段：%)

	全 体	こ ど も 園 ・ 保 育 園 ・ 幼 稚 園 ・ 認 定	小 学 校	中 学 校	高 校	専 門 学 校 ・ 短 大 ・ 大 学	児 童 館 ・ 児 童 セ ン タ ー	市 民 セ ン タ ー ・ 公 民 館	地 域 団 体	
全体	163 100.0	66 40.5	78 47.9	56 34.4	55 33.7	66 40.5	63 38.7	65 39.9	93 57.1	
法 人 格	認定NPO法人	14 100.0	6 42.9	6 42.9	9 64.3	5 35.7	7 50.0	4 28.6	9 64.3	
	特定非営利活動 法人 (NPO法人)	90 100.0	37 41.1	44 48.9	30 33.3	34 37.8	34 37.8	28 31.1	52 57.8	
	一般社団法人	11 100.0	4 36.4	4 36.4	5 45.5	6 54.5	7 63.6	3 27.3	7 63.6	
	公益社団法人	1 100.0	- -	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	
	公益財団法人	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	1 100.0	
	社会福祉法人	8 100.0	3 37.5	4 50.0	2 25.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5
	学校法人	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	
	任意団体	17 100.0	7 41.2	8 47.1	1 5.9	2 11.8	5 29.4	12 70.6	13 76.5	12 70.6
	その他	19 100.0	8 42.1	10 52.6	8 42.1	6 31.6	9 47.4	7 36.8	4 21.1	9 47.4
	分からない	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	1 100.0	- -	- -

主たる活動とする団体を	子ども・子育て支援に取	主たる活動とは別に取	り組む団体	社会福祉協議会	医療機関	企業	行政	その他	特にな	分らない	回答なし
69 42.3	34 20.9	66 40.5	43 26.4	68 41.7	90 55.2	12 7.4	8 4.9	1 0.6	2 1.2		
9 64.3	2 14.3	7 50.0	8 57.1	7 50.0	8 57.1	1 7.1	-	-	-	-	-
36 40.0	15 16.7	35 38.9	22 24.4	36 40.0	51 56.7	10 11.1	4 4.4	-	1 1.1		
4 36.4	4 36.4	4 36.4	3 27.3	8 72.7	10 90.9	-	-	-	-	-	-
1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 12.5	2 25.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5	4 50.0	-	1 12.5	-	-	-	-
1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8 47.1	5 29.4	9 52.9	2 11.8	7 41.2	8 47.1	-	-	-	-	-	-
8 42.1	5 26.3	7 36.8	5 26.3	8 42.1	8 42.1	1 5.3	3 15.8	1 5.3	1 5.3		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【主たる活動分野別 これまでに連携の実績があった関係機関等】

(上段：件数 下段：%)

	全体	園 園 保 ・ 育 園 ・ 認 定 ・ こ 幼 ・ 稚 稚 も	小 学 学 校	中 学 学 校	高 校	大 専 ・ 門 ・ 大 学 ・ 短 大	ン 児 ・ 童 ・ 館 ・ 館 ・ 児 ・ 童 セ	公 市 民 民 館 セ ン ター ・	
全体	163 100.0	66 40.5	78 47.9	56 34.4	55 33.7	66 40.5	63 38.7	65 39.9	
主 た る 活 動 分 野	パパママ教室（ブレパパ、プレママ含む）	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	1 50.0	1 50.0	1 50.0
	妊娠・出産・産後ケア	1 100.0	- -	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -
	子育てサロン・育児サークル	5 100.0	2 40.0	- -	- -	- -	1 20.0	3 60.0	2 40.0
	子育て相談・育児相談	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0
	保育・一時預かり	9 100.0	7 77.8	5 55.6	1 11.1	- -	1 11.1	3 33.3	- -
	貧困家庭支援	4 100.0	1 25.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	3 75.0	3 75.0
	ひとり親支援	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	2 33.3	3 50.0	2 33.3
	放課後支援	18 100.0	8 44.4	13 72.2	10 55.6	9 50.0	9 50.0	9 50.0	10 55.6
	遊び場づくり	5 100.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	4 80.0	4 80.0
	こども食堂・地域のふれあいサロン	14 100.0	4 28.6	3 21.4	- -	1 7.1	3 21.4	3 21.4	6 42.9
	学習支援	6 100.0	3 50.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	4 66.7	2 33.3	1 16.7
	不登校支援	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	1 50.0
	若者の就労支援	2 100.0	- -	- -	1 50.0	2 100.0	2 100.0	- -	1 50.0
	こども・若者の相談	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	障がい児（者）支援、医療ケア児の支援 （その親やきょうだいの支援も含む）	22 100.0	9 40.9	11 50.0	9 40.9	5 22.7	6 27.3	6 27.3	4 18.2
	DV・性被害を受けた子ども・若者の相談・支援	2 100.0	- -	- -	1 50.0	2 100.0	2 100.0	- -	- -
	防災・地域の見守り活動	1 100.0	- -	1 100.0	- -	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -
	世代を超えた交流・居場所づくり	22 100.0	11 50.0	10 45.5	8 36.4	11 50.0	9 40.9	10 45.5	9 40.9
	更生保護・更生支援	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	芸術文化を通じた体験・交流の場づくり	7 100.0	2 28.6	3 42.9	2 28.6	2 28.6	4 57.1	2 28.6	4 57.1
	その他	22 100.0	7 31.8	12 54.5	10 45.5	12 54.5	10 45.5	5 22.7	11 50.0
	分からない	4 100.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0	3 75.0	3 75.0	3 75.0
	回答なし	5 100.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	- -	2 40.0	3 60.0	1 20.0

地域 団体	支 援 と す る 団 体	こ ど も ・ 子 育 て	組 む 団 体	育 に 支 援 に 取 り 子	別 に こ ど も ・ 活 動 と は	主 たる 活 動 と は	社 会 福 祉 協 議 会	医 療 機 関	企 業	行 政	そ の 他	特 に い な い	分 か ら な い	回 答 な し
93	69	34	66	43	68	90	12	8	1	2				
57.1	42.3	20.9	40.5	26.4	41.7	55.2	7.4	4.9	0.6	1.2				
2	1	1	1	-	2	2	-	-	-	-				
100.0	50.0	50.0	50.0	-	100.0	100.0	-	-	-	-				
1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-				
100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-				
3	2	-	1	-	-	1	-	1	-	-				
60.0	40.0	-	20.0	-	-	20.0	-	20.0	-	-				
2	2	2	2	1	1	2	-	-	-	-				
100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	-	-	-	-				
2	1	1	1	1	2	2	-	-	-	-				
22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	22.2	-	-	-	-				
4	3	3	4	-	4	3	-	-	-	-				
100.0	75.0	75.0	100.0	-	100.0	75.0	-	-	-	-				
3	1	1	4	1	4	5	1	1	-	-				
50.0	16.7	16.7	66.7	16.7	66.7	83.3	16.7	16.7	-	-				
10	10	3	8	3	7	11	1	1	1	-				
55.6	55.6	16.7	44.4	16.7	38.9	61.1	5.6	5.6	5.6	-				
4	4	2	3	2	2	1	-	-	-	-				
80.0	80.0	40.0	60.0	40.0	40.0	20.0	-	-	-	-				
7	4	2	6	1	6	5	1	1	-	1				
50.0	28.6	14.3	42.9	7.1	42.9	35.7	7.1	7.1	-	7.1				
2	3	1	2	2	3	3	-	-	-	-				
33.3	50.0	16.7	33.3	33.3	50.0	50.0	-	-	-	-				
1	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-				
50.0	-	-	-	50.0	50.0	100.0	-	-	-	-				
2	1	-	2	2	2	2	-	-	-	-				
100.0	50.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-				
1	1	-	1	1	1	1	1	-	-	-				
100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-				
10	6	4	6	9	3	11	3	2	-	-				
45.5	27.3	18.2	27.3	40.9	13.6	50.0	13.6	9.1	-	-				
1	1	-	-	1	-	2	-	-	-	-				
50.0	50.0	-	-	50.0	-	100.0	-	-	-	-				
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
14	9	4	9	5	9	12	2	-	-	-				
63.6	40.9	18.2	40.9	22.7	40.9	54.5	9.1	-	-	-				
-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-				
-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-				
4	4	1	2	1	3	3	-	1	-	-				
57.1	57.1	14.3	28.6	14.3	42.9	42.9	-	14.3	-	-				
14	9	6	7	7	13	14	3	1	-	-				
63.6	40.9	27.3	31.8	31.8	59.1	63.6	13.6	4.5	-	-				
3	2	1	4	2	2	4	-	-	-	-				
75.0	50.0	25.0	100.0	50.0	50.0	100.0	-	-	-	-				
3	4	1	3	2	2	2	-	-	-	1				
60.0	80.0	20.0	60.0	40.0	40.0	40.0	-	-	-	20.0				

(2) 今後の連携を希望する関係機関等

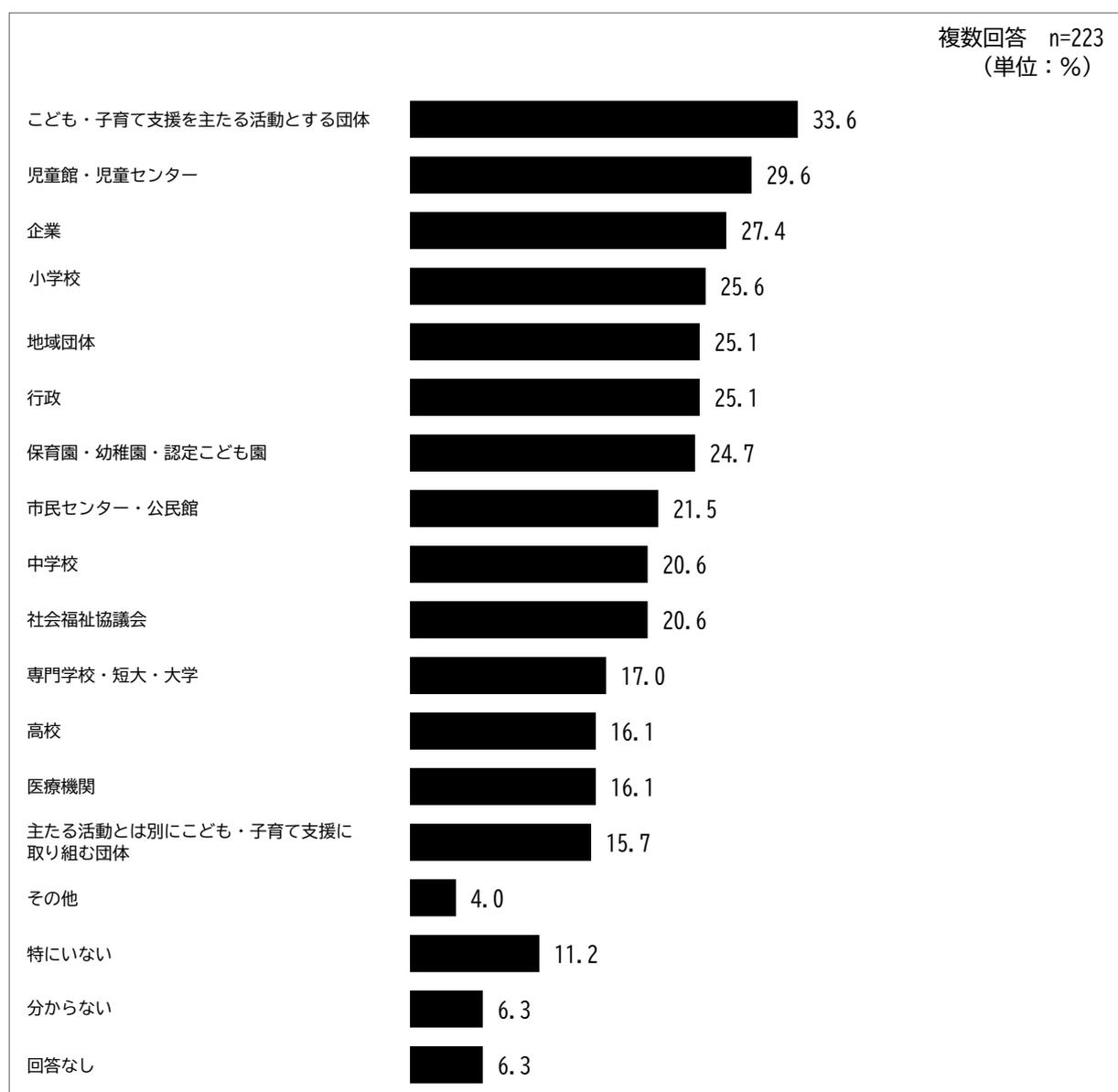
【Aの団体】

問27 今後一緒に企画・事業に取り組みたい、ほかの団体・関係機関はありますか？

【Bの団体】

問36 今後一緒に企画・事業に取り組みたい、ほかの団体・関係機関はありますか？

- ▶ 今後の連携を希望する関係機関等について、回答団体全体を見ると、「こども・子育て支援を主たる活動とする団体」が33.6%と最も多く、次いで「児童館・児童センター」が29.6%、「企業」が27.4%となっている。
- ▶ 「その他」の内容として、商工会や青年会議所などの経済団体、日本赤十字社、などが挙げられている。



【法人格別 今後の連携を希望する関係機関等】

(上段：件数 下段：%)

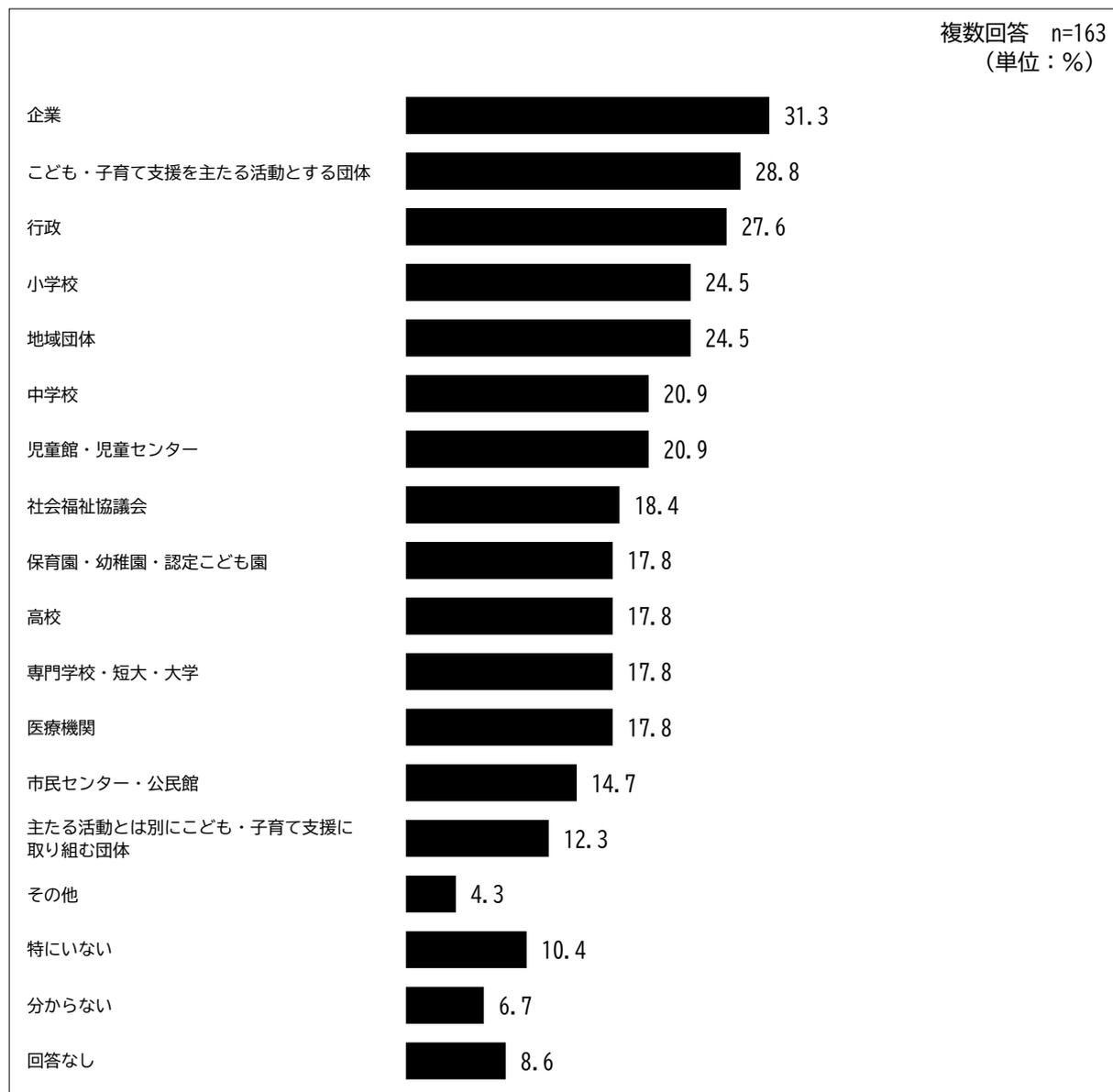
	全体	こども園・保育園・幼稚園・認定	小学校	中学校	高校	専門学校・短大・大学	児童館・児童センター	市民センター・公民館	地域団体	
全体	223 100.0	55 24.7	57 25.6	46 20.6	36 16.1	38 17.0	66 29.6	48 21.5	56 25.1	
法人格	認定NPO法人	14 100.0	1 7.1	3 21.4	3 21.4	3 21.4	2 14.3	3 21.4	1 7.1	1 7.1
	特定非営利活動法人(NPO法人)	95 100.0	16 16.8	24 25.3	21 22.1	17 17.9	17 17.9	16 16.8	12 12.6	30 31.6
	一般社団法人	11 100.0	2 18.2	4 36.4	3 27.3	2 18.2	1 9.1	3 27.3	1 9.1	1 9.1
	公益社団法人	1 100.0	- -							
	公益財団法人	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	1 100.0	1 100.0
	社会福祉法人	8 100.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	- -	- -	2 25.0	1 12.5	- -
	学校法人	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	1 100.0	1 100.0
	任意団体	65 100.0	23 35.4	13 20.0	11 16.9	8 12.3	12 18.5	30 46.2	20 30.8	14 21.5
	その他	25 100.0	9 36.0	9 36.0	7 28.0	5 20.0	5 20.0	9 36.0	10 40.0	7 28.0
	分からない	2 100.0	2 100.0	1 50.0	- -	- -	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0

主たる活動とする団体	子ども・子育て支援に取組む団体	主たる活動とは別に取組む団体	社会福祉協議会	医療機関	企業	行政	その他	特になし	分からない	回答なし
75 33.6	35 15.7	46 20.6	36 16.1	61 27.4	56 25.1	9 4.0	25 11.2	14 6.3	14 6.3	
3 21.4	- -	3 21.4	2 14.3	4 28.6	5 35.7	3 21.4	- -	1 7.1	1 7.1	
26 27.4	15 15.8	15 15.8	17 17.9	31 32.6	29 30.5	3 3.2	10 10.5	4 4.2	8 8.4	
3 27.3	1 9.1	2 18.2	2 18.2	4 36.4	1 9.1	- -	1 9.1	2 18.2	1 9.1	
- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -	
1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
2 25.0	- -	1 12.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0	- -	1 12.5	3 37.5	1 12.5	
1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
26 40.0	14 21.5	16 24.6	7 10.8	12 18.5	12 18.5	2 3.1	8 12.3	3 4.6	3 4.6	
11 44.0	5 20.0	9 36.0	7 28.0	9 36.0	7 28.0	1 4.0	5 20.0	- -	- -	
2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	

【Aの団体】

問27 今後一緒に企画・事業に取り組みたい、ほかの団体・関係機関はありますか？

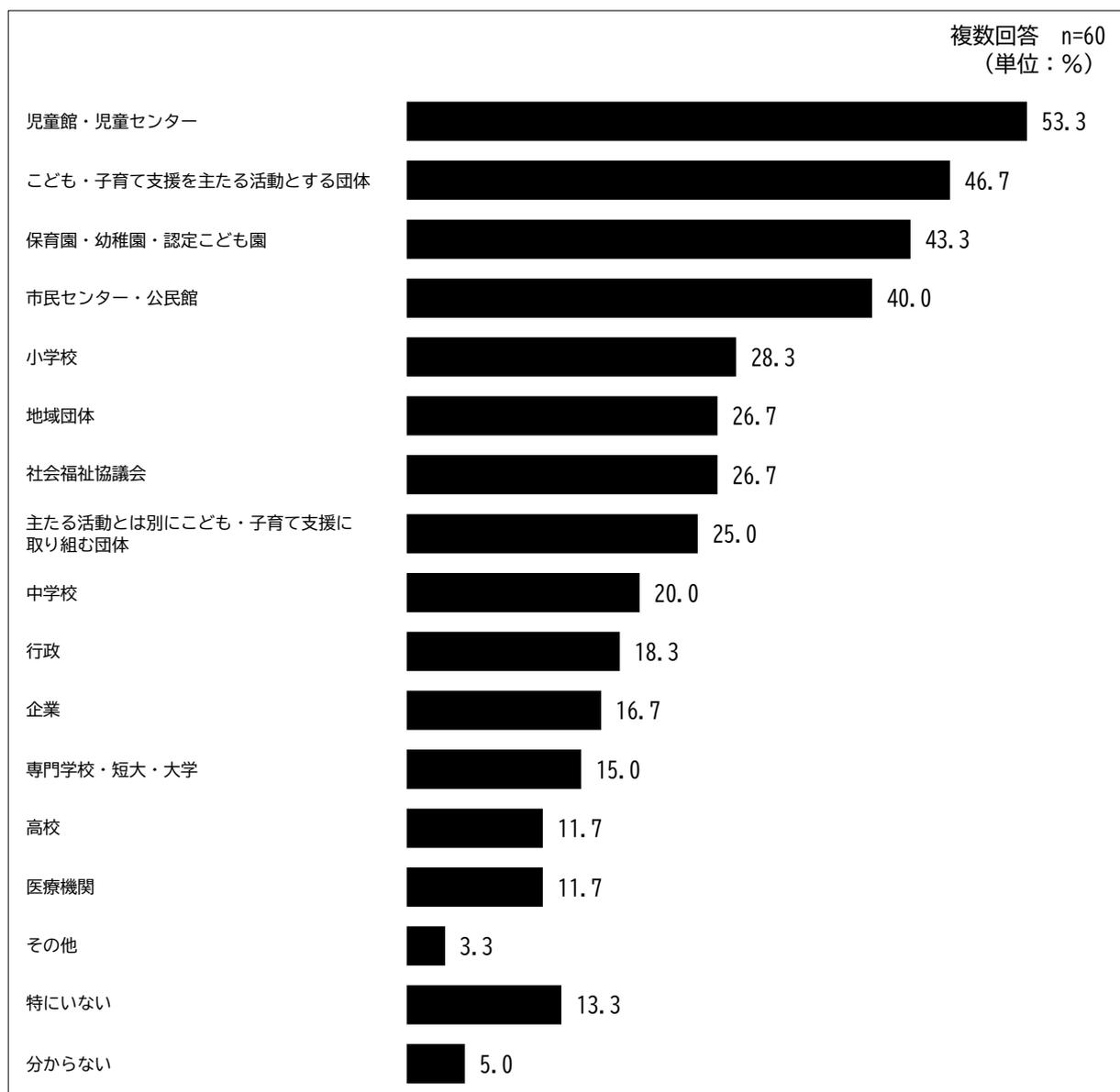
- ▶ 今後の連携を希望する関係機関等について、Aの団体をみると、「企業」が31.3%と最も多く、次いで「子ども・子育て支援を主たる活動とする団体」が28.8%、「行政」が27.6%となっている。



【Bの団体】

問36 今後一緒に企画・事業に取り組みたい、ほかの団体・関係機関はありますか？

- ▶ 今後の連携を希望する関係機関等について、Bの団体をみると、「児童館・児童センター」が53.3%と最も多く、次いで「こども・子育て支援を主たる活動とする団体」が46.7%、「保育園・幼稚園・認定こども園」が43.3%となっている。



(3) 今後、連携を通じて取り組みたい活動内容（自由回答）

【Aの団体】

問28 どのような企画・事業を、一緒に取り組んでみたいですか？具体的な内容を教えてください。

※原文のまま掲載（斜体部分は財団補記）

大人への性教育
施設利用者のニーズに沿った子育て支援教室の開催、場の借用
異年齢の子ども達も一緒に遊べる事業等
妊産婦から子育て支援、パパの育休など
地域での絆作り、母と子の居場所作り
卒園した子どもが小学校で生き生きと学び生活できるための研究や実践交流
こども食堂、プレーパーク等の居場所作りで行政ともっと連携したい
志を同じくし、さらに連携・協働が広がるような研修事業
ひとり親家庭支援
不登校の方の居場所作り
支援職員の育成など
地域のお祭りに企画から参加したり、児童館でのイベントに参加したりしてみたい。
障害者の雇用を積極的におこなっているところ
地域性がいかせるもの
家庭教育の普及及び地域連携支援
地域のお祭り こどものまち
野外体験
子どもたちの生きる力に繋がること。
子どもたちがたのしく遊べるあそび場（ワークショップ等）
子育て支援
地域の居場所づくり
食に関する企画事業を行ってみたい。
世代別交流
引きこもり対策
企画事業計画を実装する団体や個人の創出し、伴走支援する取り組み
お祭りなど地域の方々とのイベント開催
子ども食堂
子ども食堂事業の一部を他団体と一緒に取り組む
母親学級や父親学級、不登校児童・生徒のケア
地域共生社会の構築
子どもの包括的な支援
社会へ出た後の若者の居場所づくり
野外活動

行政や企業を活動団体の橋渡しをお願いしたい！行政や企業はお金があるけど、手法が不足がち。現場で親子と触れ合って活動している私たちは、手法があるが、活動を継続していくための資金不足（会場費、交通費、活動にかかる経費、また講師謝礼の出せない親子サークルなどには無償で提供している）継続して提供して行きたいので、資金の支援を含め、行政や企業との橋渡しをお願いします。
事務所の確保、シェアハウスの協働 学徒仙台こどもセンターの設立
情報交換会
こども食堂の会場が市民センターなので、連携して子どもを中心としたイベントを行いたい。
キャリア教育・ワークショップ
不登校の子どもたちの職場体験等、体験の幅が広がる企画
若年者就労の活性化につながる企画や事業を開発したいと思います。
若者の職場体験や採用の機会の拡大や、障害者雇用、CSR活動など
1. 就労が難しい子ども・若者への支援（虐待などで愛着障害の結果、発達障害のような傾向はあるが、検査をしても数値に表れず、療育手帳を持つなどの福祉的支援が受けられない場合の特別な支援制度など）
2. 親に頼れない子ども・若者への金銭的な支援（初任給やアルバイト代で奨学金を返済している場合、一時的な体や精神の病気で働けない場合など）
連携会議
障害者も、健常人と、変わらない社会を目指す
子ども食堂
子育て支援
保育園&幼稚園&児童発達支援事業所の合同研修会や情報交換会／障害児童を取り巻く行政や支援機関、保護者等での合同研修会や情報交換会、行政への施策提言の場
企画検討会議などへの参画、広報・PRなど
障がいのある人が一生に活動するパートナーの確保。イベントを共にする団体。
児童への対応について共通理解を持ちながら共有し、抱えている問題を解決できるように取り組みたい
ろう高齢者施設も必要と思っています。
去年は無声映画にピアノとギターの音楽をつけた上映会をクリスマスにしました。今年もなかなか子ども達が体験できない演奏等に触れされたいです。
事業ごとに個別協議しながら進める
DV、性暴力、親からの虐待などの被害者のための相談支援活動
検討中
保育園の開設
三世代交流のイベント：〇〇〇〇大会など
レクリエーション
傾聴の普及啓発のための講座開催、講師派遣等

マルシェの共同企画、地域イベントを大々的に
プロ選手を召集してのイベントや大会
出産前のプレママプレパパ対象、または産後すぐからふれあい遊びの方法を伝える。ベブーマッサージが全親子が体験できる方法の構築
PFS/SIB、ESG投資
パパママ世代+こどもが参加できる交流系のイベント
①児童については、ダンスに憧れはあるがやった事がない子を対象に放課後や長期休暇に講座。小学校での体育授業、PTA企画講座 ②企業であれば、例えば子育てママ対象に託児付きでダンス、食品系の企業とコラボして離乳食やミルクサンプル配布など行う
ECO-DRR活動を実施しているが、植栽や土壌整備に関する協力支援
三世代交流
その地域での子育てを推進する上での工夫やアイデアがまだまだ必要と感じているので、その地域の企業、大学、各種団体との連絡協議会的な場を財団主体で設けていただき、話し合いを実施してみたい。また、子育て支援を実践するための資金調達やマンパワーの確保という観点から、現在子育て支援に助成していただいている企業、団体（生協、保険会社、金融機関等）からもご参加いただき、改めてその中身を検討いただくと共に支援の要件枠を柔軟に活用出来るバックアップ体制を整えてもらう等、その地域社会全体での支援体制の構築を模索していければと考えている。
30代～90代と年代の違う会員がおり、子どもの遊びや生活の基礎（例えば料理における包丁の研ぎ方や切り方、出汁の取り方、靴下の洗いや服の管理、物の整理や整頓など）を幅広く子ども達と一緒に取り組めると考えています。18歳までに一人で生活できることを身につけるということを友の会では目標としていました。また最近はやっしゅレスが進み、子ども達にお金の大切さを伝えたいと思い、児童館でも集まりをもってもらっていますが、現金が使えないということでその点リアルさがなく、悩んでいるところです。そのような生活を考える取り組みをまずはお子さん向けに行うことで、お母さん、お父さんにもいい影響があるかと思っています。
相談可能な居場所の開設 地域活動の担い手養成 18歳を過ぎた後の相談やシェルターの開設 切れ目のない支援（ライフステージが移る際の引継ぎや情報共有）
スポーツを楽しんで継続する仕組みづくり
現在の事業を継続するのが優先課題
前記に同じ。 ※前期では「親子のみならず高齢者や若者を含めた世代を越えた人々の歌あそび交流の場の創造」と記載。
芸術文化を通じた交流の場づくりをさまざまな団体、人とやっていきたいです。イベント的な大きい事業をするというイメージよりも、継続的にスタッフを派遣してそうした場をさまざまな場で作っていきたくと思っています。
子育てイベント
今は観る機会の無い、名作の上映

今はベビーシッターの普及と脆弱な団体の基盤を改善が必要だと考えています 力をつけて課題に取り組んでいきたいです 10年かかる感じはあります
食卓の上には、文化、産業、経済、コミュニケーション、沢山の人の暮らしに関わる学びの要素が溢れております。我々は、日本と海外の食卓にまつわる、文化、歴史の知識を持ち合わせており、人と人を繋ぐおもてなしのプロ集団でありました。よって、伝統的工芸品をはじめとする産業の啓蒙、販促による保護。地域の食文化をより魅力的に見せる力。日本文化の啓蒙保護など、「卓育」「文化」「おもてなし」「食」「人」をキーワードに、行政、教育、観光関係、商業施設、食にまつわる企業様とのタイアップなど、講座、ワークショップ、ステージなどのソフト面、ディスプレイ、コーディネーターハード面問わず、地域支援、PR、販促、と様々な切り口から、賑わいに貢献出来る事と、考えます。そうした活動を通し、次第にテーブルコーディネーター文化が東北に根付いて行きましたら何よりの喜びです。
検討中
学校と企業を結びつける中間支援として企画・実践することで子どものキャリア形成をする事業
スポーツ庁が推奨する「地域スポーツコミッション」の推進
女性の健康支援
地域課題の発見と解決策の設計、試行的実行を地域と学校、行政等と連携して行いたい
少年たちの円滑な自立のためのハード・ソフト面でのケアが必要であり、そのケアについては行政が協力すべきと考えるから。
学習支援
貧困等世帯の母子支援。学校内での朝食提供。こども病院に付き添い入院しているご家族への食事の提供。
学習会の企画・運営や、活動内容についてSNSなどで発信すること。
大学とはNP0や市民社会に関するデータやエビデンスの積み立てを、行政・企業とは市民活動や市民協働のなんたるかの共通認識に取り組んでいきたい。
子育て支援、里親の制度PR、里親支援
放置竹林の解消と竹チップを活用した生ゴミ処理
地域各世代や困窮家庭との繋がりがたや、支援の確保など。地域との連携もまだまだ不足しております。
深山鎮魂の鐘における子どもの立志式・大声大会・鎮魂の鐘吊天井部の吊飾りづくりなど 例えば、小中高校生の保育園の社会科見学（インターン）、保育園でのプレパパボランティア受入れでの子育て参画意識醸成。医療的ケア児支援に関しては行政との連携がもっと必要だと感じる。
気仙沼市内全域の地域福祉にかかる全体把握と課題の共有
公園の受動喫煙防止条例を作りたい 禁煙治療をさらに普及させたい
社会貢献事業
英語教育

3. 広報について

(1) 広報・情報発信の手段

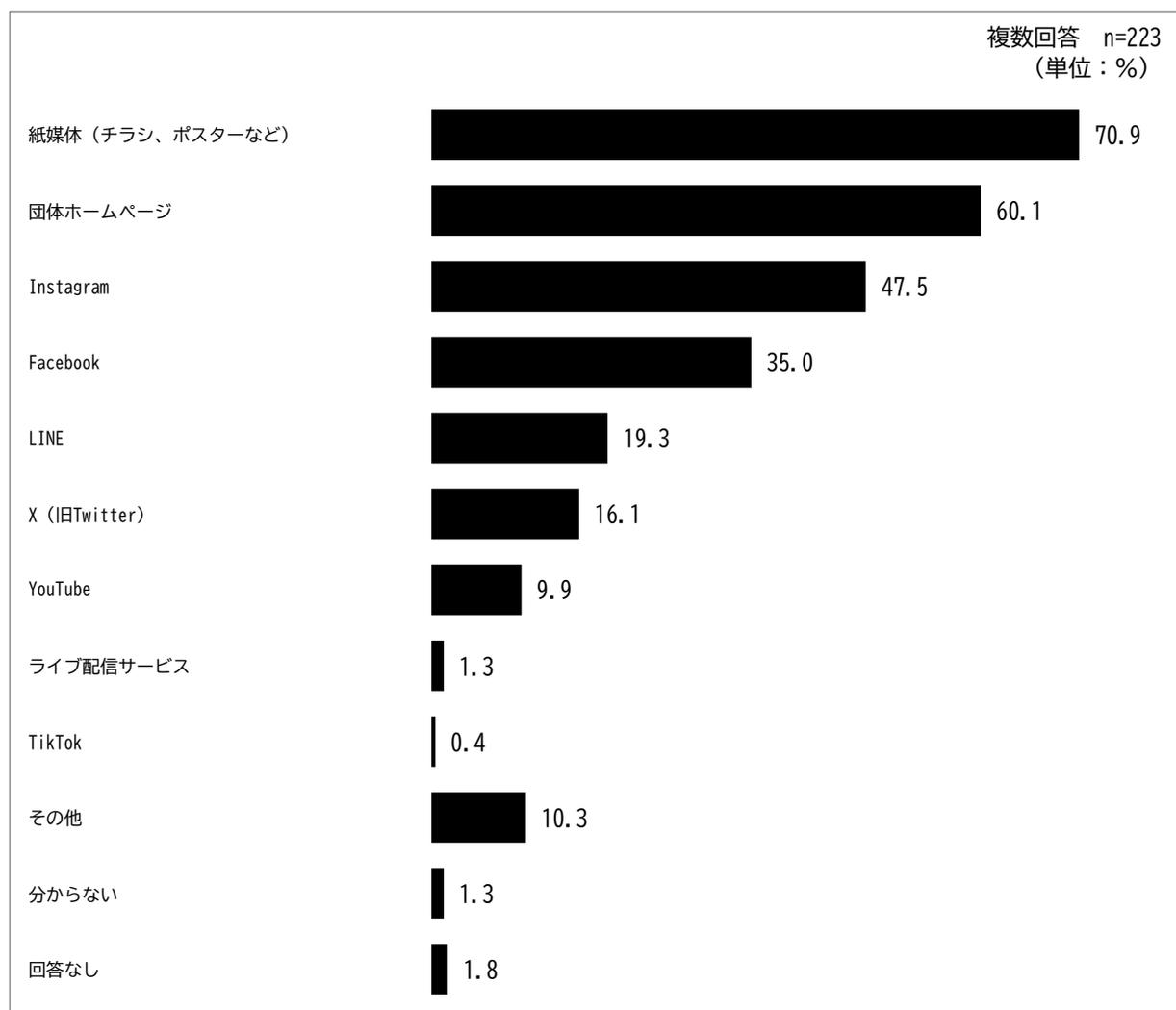
【Aの団体】

問29 広報や情報発信をする上で何を利用していますか？

【Bの団体】

問37 活動をお知らせする際、何を利用していますか？

- ▶ 広報・情報発信の手段について、回答団体全体をみると、「紙媒体（チラシ、ポスターなど）」が70.9%と最も多く、次いで「団体ホームページ」が60.1%、「Instagram」が47.5%となっている。
- ▶ 「その他」の内容として、ブログ、メール配信、Peatix、WAMNET、イベント・交流会への参加、メディアへの出演、個人情報保護の観点からPRは考えていない、などが挙げられている。



【法人格別 広報・情報発信の手段】

(上段：件数 下段：%)

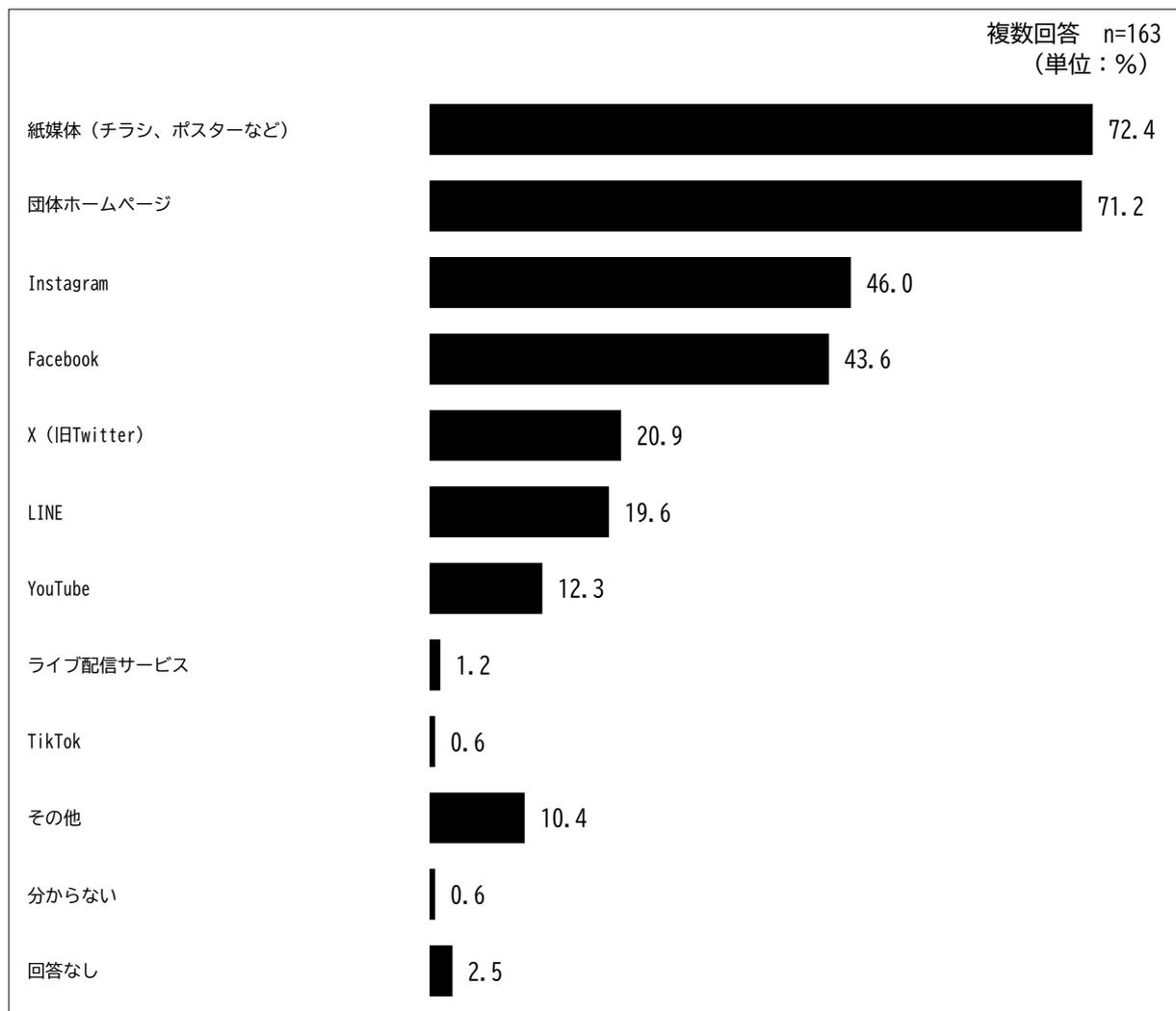
	全体	紙媒体 （チラシ、ポス ターなど）	団体 ホームペ ージ	L I N E	T w i t t e r （旧）	F a c e b o o k	I n s t a g r a m	T i k T o k	Y o u T u b e	ライ ブ 配 信 サ ー ビ ス
全体	223 100.0	158 70.9	134 60.1	43 19.3	36 16.1	78 35.0	106 47.5	1 0.4	22 9.9	3 1.3
法人格	認定NPO法人	14 100.0	13 92.9	13 92.9	2 14.3	5 35.7	10 71.4	6 42.9	- 21.4	3 7.1
	特定非営利活動 法人（NPO法人）	95 100.0	66 69.5	68 71.6	19 20.0	15 15.8	41 43.2	37 38.9	1 1.1	9 9.5
	一般社団法人	11 100.0	5 45.5	9 81.8	2 18.2	3 27.3	7 63.6	8 72.7	- 18.2	2 9.1
	公益社団法人	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	1 100.0
	公益財団法人	1 100.0	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -
	社会福祉法人	8 100.0	6 75.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	4 50.0	- 25.0	2 -
	学校法人	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -
	任意団体	65 100.0	49 75.4	17 26.2	12 18.5	3 4.6	10 15.4	27 41.5	- 4.6	3 1.5
	その他	25 100.0	15 60.0	17 68.0	6 24.0	7 28.0	8 32.0	20 80.0	- 8.0	2 -
	分からない	2 100.0	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -	2 100.0	- -	- -

その他	分からない	回答なし
23 10.3	3 1.3	4 1.8
4 28.6	- -	- -
11 11.6	1 1.1	1 1.1
2 18.2	- -	- -
- -	- -	- -
5 7.7	2 3.1	3 4.6
1 4.0	- -	- -
- -	- -	- -

【Aの団体】

問29 広報や情報発信をする上で何を利用してありますか？

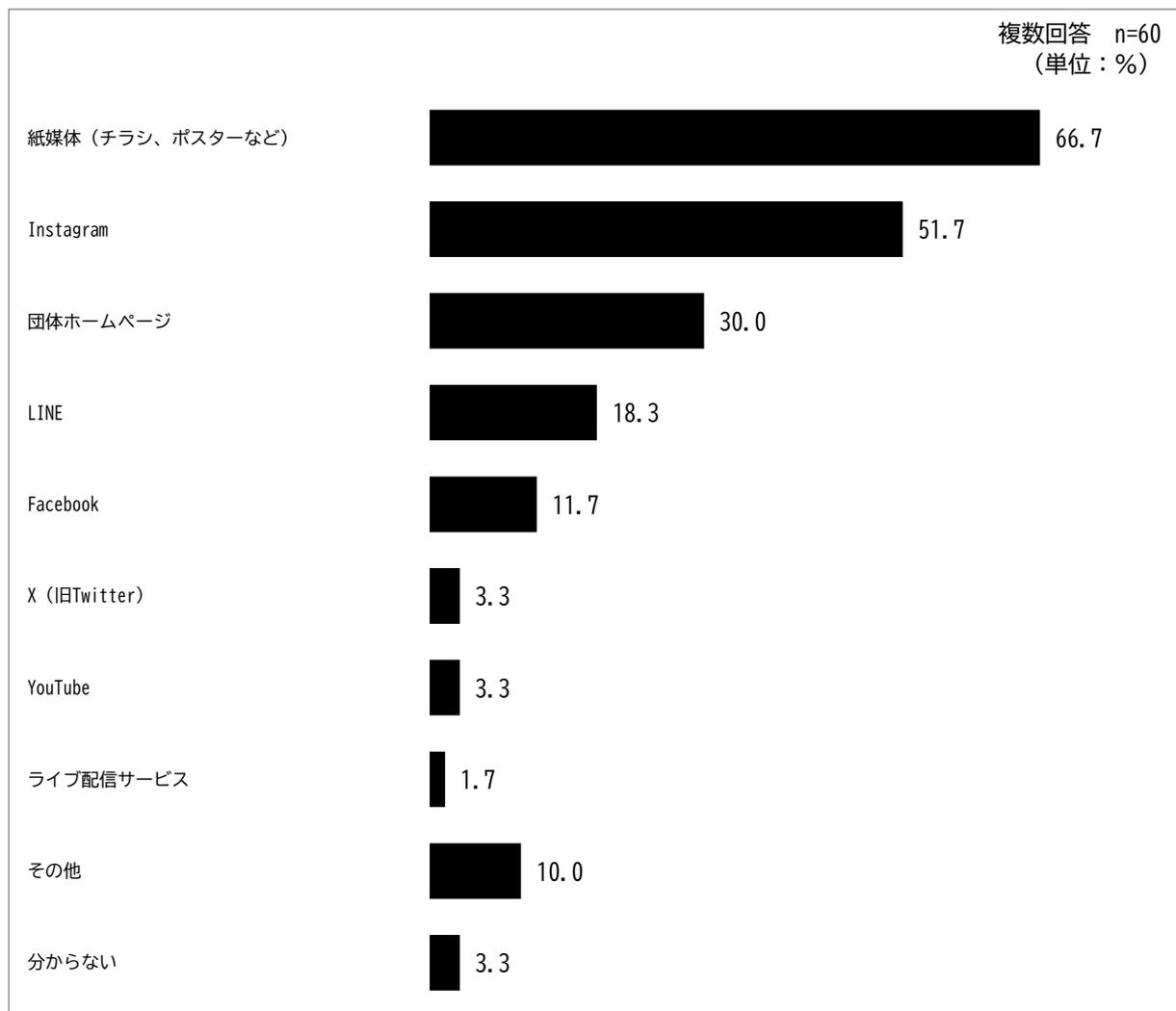
- ▶ 広報・情報発信の手段について、Aの団体を見ると、「紙媒体（チラシ、ポスターなど）」が72.4%と最も多く、次いで「団体ホームページ」が71.2%、「Instagram」が46.0%となっている。



【Bの団体】

問37 活動をお知らせする際、何を利用してありますか？

- ▶ 広報・情報発信の手段について、Bの団体を見ると、「紙媒体（チラシ、ポスターなど）」が66.7%と最も多く、次いで「Instagram」が51.7%、「団体ホームページ」が30.0%となっている。



(2) 紙媒体の掲示方法 (自由回答)

【Aの団体】

問30 (紙媒体を活用されると回答した方は) 配布や掲示のためにどのような方法・場所を利用されますか？

【Bの団体】

問38 (紙媒体を活用されると回答した方は) どのような方法・場所を利用して、配布や掲示をされていますか？

※原文のまま掲載

公的機関
掲示してもらえない
関連施設への配付、郵送
子育て支援センター内、各行政機関、子育てサークル等
ひとまち財団事務所持ち込み、行政持ち込み、骨プロ
市民センター・児童館
ポスティング
玄関でのポスター掲示
コンビニやスーパーなど
地域回覧板や教育委員会との連携で学校への配布
学校(小中高)への配布、市民センターや各種相談機関への配架
児童館、学校
地域の商業施設、小・中学校、児童館、市民センターなど
広報など
多賀城市市民活動サポートセンターなど
店舗・近隣商店等
事業所入口に提示
区窓口で配布している
生協店内や市民センター、児童館など
自館の掲示板や町内会への配布等
福祉関係学校関係に依頼
全校配付、町内会回覧、関連近隣施設にゆうそう
地域の施設等へ配布、児童館前の掲示板への掲示 等
小学校からの配布 町内会に回覧を依頼
グループ法人とメールで共有
様々な場所へもっていく
行政、小学校
郵送
児童館などの福祉施設や地域の施設等
児童館、保育所、学校

小学校へ印刷物の持ち込み
自治会への回覧・配布、掲示板への掲示、小中学校児童・生徒への配布
事業所フェンス等
当団体にて掲示・配布
地区の地域センター・公民館、保育園・幼稚園・学校
児童館。こども園。コンビニ。
利用者への配布
パンフレットを近隣の小中学校などに配布
イベント開催による配布など
学校での配布
在仙大学キャリアセンターの掲示とデジタル募集
チラシ・ポスター
市民センターに置いてもらう
学校や公的施設への配布
関係機関へリーフレットを配布したり、駅ラックや新聞掲載、SNSを利用しています。
関係機関へのチラシの配布。地下鉄ポスターなど
市の骨プロ利用 市民センターなどへの配架依頼 会員への郵送など
児童館やのびすくなど子育て世代の方が利用するところへの配布
機関紙
学校、地域等に配布、事業所前に掲示
利用者様へのおたより、連絡帳の活用
パンフレット
児童館 等
各区障害高齢課やアーチル、自社飲食店等のパンフレット設置コーナー
大学や行政施設で配布
町内にチラシ回覧、掲示板にポスター掲示
児童センターだよりに載せてもらっている
児童館のお便りに載せてもらう
小学校経由のチラシ 町内会のチラシ センターに貼っているチラシ
公共の施設においてもらう。会員に広報紙として配布。
役所福祉課・ボランティアセンター・市民センター
関係者・関係機関へ広報誌郵送している。
会員、保護者宅や各関係機関への郵送、関係機関のメール箱を利用配布
郵送
行政の相談機関の窓口・男女共同参画センター・市民活動センターなど
当団体の施設内・繋がりのある団体さん（児童センター等）
自宅
地域町内会・団体・行政に配布掲示依頼及びポスティング

町内会回覧、掲示板、店舗・公共施設等への掲示・設置、相談支援事業所や福祉関係事業所への送付・関係者への紹介依頼など
直接郵送、持ち込み（ひとまち財団の配架（市民センター・児童館）、骨プロ、せんだいメディアテーク、市民団体など）、行政と連携による学校配布（行政との共催事業のみ）
会員・会友に会報を年3回送付している。400×3=1200部。2024年7月にほーむページをこうしんし、活動を不特定多数の方に発信開始した。
仙台市内中学校でのチラシ配布協力（仙台市教育委員会共催事業）、図書館・公共施設でのチラシ設置
関係団体への配布
公共の場所、地域の公民館など、
商業施設や市民センター、関係団体などへ配布
町内会の協力を得て回覧するなど
各事業所
「復興ニュース」発行 地域町内会より配布
手渡し、郵送、体育館等掲示板など
主にこちらからの訪問活動です。また、市の財団からメール添付にて他の団体や児童館等に配布いただいています。
友の会の建物の前にある掲示板やチラシは市民センターを利用させていただいています。
施設に来所した方への配布、町内会掲示板への掲示、様々な会議などで配布、法人のセミナーなどの案内と共に配布
生涯学習支援センター 市民センター 対象の小中学校
幼稚園や小学校に配布・配置してもらう
広報紙等
市民センター
組織ネットワークを活用して配付。
児童館、市民センター等への直接配布及び骨プロ。
骨プロ
各庭球場に募集ポスターを掲載
関係団体ならびに全戸配布
市民センターなど公共施設
病院や役所への掲示をお願いしているが断られることが多い
近隣の保育園や児童館、県内の住宅展示場、イベント出店時に手渡し
市民センター、社会福祉協議会、大学
広報誌を全戸配布しているほか、市民センターや児童館、大学等へ配布している。
公共施設や地域の店などにおいてもらう
スポーツ情報誌の発行 市内小学生全員配付 市内全戸配布
学校やイベント
公共施設へポスター配布

定期的にボランティア支援団体（サポセン、NPOプラザ）
町内回覧・学校への配布及び掲示、地域の集会所や市民センター、施設などへ配布及び掲示
児童館、保育園、子育て支援施設に掲示依頼。または地元新聞やコミュニティー紙（河北ウィークリーなど）掲載。
年に2回会報誌を発刊しご支援頂いている皆様に郵送。理事長講演会時の際にリーフレットを配布。
会員が所属している施設や、NPOの情報を置いてもらえる施設、イベントの内容で関連しそうな団体へ直接チラシを持ち込んだり送付したりして、掲示や配架して頂いている。
近くの商業施設及び市民センター等
町内の公共施設、町外のNPO支援施設、町内の郵便局やスーパー等（他の企業や団体がチラシを設置しているところを見かけたら、その可否や要件を問い合わせる）
仙台市戦災復興記念館内ひとまち財団、仙台市市民活動サポートセンター、みやぎNPOプラザなどに配布、直接郵送
郵送、市民センター、みやぎNPOプラザ、仙台市市民活動サポートセンター
SNSの情報に届かない方や紙媒体で自分の手元に置いて置きたい方向けに公民館・図書館等公的機関、市民活動サポートセンター等へのチラシ設置
内容に応じた場所への協力依頼、地元新聞の活用
チラシを会員や賛助会員に配布し、医療機関や薬局に掲示してもらう
院内掲示板
近隣児童館やのびすくへの配布、児童発達支援事業所や特別支援学校、こども病院への配布
サロンに来た方に配布したり、知り合いの児童館に貼って頂いたりしています。
地域の児童センター、小学校、コンビニや店、施設など
これまでに興味を持っていただいた方へのダイレクトメール、公共のチラシ設置場所、マスコミへの投げ込みなど
近隣の小学校 児童館 コミュニティセンター 保育園
小児科、のびすく、保健センター
開催場所が自宅兼店舗として駄菓子屋をやっているのので、そこで配布、案内、予約を取っている。小中学校や児童館に配布。近所のお店などに掲示してもらう。
市民センター、児童館、保育園などへの配布
学校、市民センター、文化施設
今は、あえてあまりPRしていません
活動場所の近隣の児童館や、支援センターや、お店、小児科等。また、区役所家庭健康課や、のびすく長町南、市民センター。
地域の保健センター、子育て支援室、児童館、市民センター、対象地区のスーパーの掲示板などに持ち込みで掲示していただいています。
チラシを児童館や小児科などにメンバーが配布している

児童館、スーパーマーケット、のびすく
参加費を明記すると、お店や児童館もNGになることが、多く現実困っている。そのような中でも掲示OKの場所、区役所やのびすく、太白区子育て支援ネットワークの関係施設等に配布・掲示をお願いしている。
共催事業は児童館だよりへ掲載してもらい独自事業はチラシを作り、各町内会に配布して回覧してもらう
町内会の掲示板、児童館、社会福祉協議会、コミュニティセンターへ掲示
家庭健康課、のびすく
こども食堂やバスケット教室参加された方からの広がり、企業などへの訪問、学校への依頼など。
地域の小中学校での全校配布
児童館の児童館だより
開催する学校を通して全児童生徒へ配布
チラシを作成、印刷し地域の小中学校や児童館などへ配付・掲示
区役所の案内に載せて頂いたり、児童館、のびすくに掲示させて頂いています。
小学校、特別支援学校、児童館、のびすく
地域の小児科、町内会の回覧、児童館
私達は、活動場所が主に泉区泉中央にあります「のびすく泉中央」になります。その為、サークルの登録ものびすくに登録させて頂いているので、のびすく泉中央の広場に募集案内のポスターを掲示させて頂いております。
仙台市市民活動サポートセンター等民NPO活動の拠点、市民センター、関係団体、新聞社等児童館、保育園、のびすくに設置してもらっている。児童館などの活動のお手伝いに行った際に直接、お母さんに渡している。
小学校、市民センター
市民センター、産婦人科など
市民センターや児童館、保育所などに直接持って何う
保育園や小学校での配布、町内会掲示板など
地区の回覧板
親子が利用する施設にポスターを貼らせて頂いたり、チラシを置かせていただいています。
エルパーク仙台 活動スペース
のびすく、市民センター、児童館
各公共施設への持ち込み、市民活動サポートセンターの「仙台に情報の背骨を通すプロジェクト」、(公財) 仙台ひと・まち交流財団のメールボックスなど
市や県のホームページ
活動場所である子育てひろば

4. 地域社会全体でこども・子育てを支えるために必要だと思うこと

問39 地域社会全体でこどもの健全な育ちや子育てを支えていくには何が必要だと思いますか。ご自由にご記入ください。

※原文のまま掲載

地域間（縦の繋がり）の交流
大人の意識改革と協力。常に子ども達の目線を意識しながらの言動が大切。
皆が我がことと思うこと
地域でいつでも相談出来る場所があり人がいる事
こども食堂やプレーパークや子どもの居場所等、ふらっとひとりで活ける場所。
各団体をつなぐ役割が必要
ネウボラ
親の知識 周りのこどもへの知識と理解
こども・子育てに関心を向けること、支えがあること
地域との連携
大人のやさしい目と理解
子どもたちを受け入れる保育園や幼稚園などが安定して運営できること
伝え合う・支え合う・認め合うこと
大人組織の連携
地域の方の理解と協力
学校、地域、同業職種との連携
役割分担
子どもたちが安心して過ごせる場所がたくさん必要だと思います。
地域の年代を超えた交流の場
学校等地域との連携
小さな地域のイベント等
人とお金と情熱
SNS等の情報だけでなく、保護者の方々、支援している方々が繋ぎ、情報交換できる場
地域住民の方の見守り
同じ方向を向いた地域のネットワーク
環境設定と人材とお金
大人が健全に生きれること。その姿を子どもたちに見せ伝承してゆくこと。
家庭と学校と地域の連携
特に経済的に困窮している家庭の子どもたちへの支援
点と点を結ぶ包括的な支援と親のサポート
こどもの自由な発想を妨げない
保護者の理解。地域や学校の協力。
活動資金

こども食堂等のこどもの居場所がもっとほしい。
ICTの発展に伴い地域とのつながりが昔に比べて少なくなっているように感じる。難しいですが、他人の子供も一緒に見ていくそんなコミュニティができればよいと感じます。
子どもたちが安心して暮らしているか常に関心を持つこと、気になるときは、どういう状態なのかを調べて、よくなるように声を上げたり、行動をする。
幼児教育・学校教育内容についての研究と交流、個別具体的な家族や子どもについて横断的な情報の共有と支援の体制構築、アーチルや療育機関、保健所など専門機関との日常的な連携
困っている方々の背景や心情に深く思いを馳せ、「自己責任」ではなく、お互いに愛情をもって理解しあえるような土台を醸成すること。
資金
社会全体の意識を変えていくための指標が必要だと思います。子ども、子育てについては様々な問題があり、それを施設側だけで解決できることではありません。アプローチをする側は施設、支援者側であるとは思いますが、受け取る側の意識を変えていくことも大切だと感じます。そのためには私たち一人ひとりが社会、子どもの現状、そして目指すべき地域の姿を誰にでもわかる形でたくさんの方に伝えていってほしいと思います。
開放的な居場所
多くの支援者、外に出られない方をどのように地域の様々な場に参加できるような工夫
子どもと同居している世帯が全体の2割程度といわれている現代社会。何よりも大切なのは多くの大人が「子どもに関心を持つこと」だと思う。無関心でいる限り何も解決しない。関心を持つことで新しい景色が見える。
情報が集まり、発信するセンター機能
地域の方々の理解を促す活動（講演会、小規模な勉強会、一般向けの分かりやすいキャンペーン）と子育て家庭への直接支援（あそび場や居場所の充実。子どもたちの直接的な意見を聞ける場）の両輪が必要だと感じます。
行政の理解と協力体制
様々な体験
保護者のゆとり
地域社会の中で子どもたちが、大人や様々な年齢の友人と交流を実施し、様々なスポーツや生活を通じた体験、社会体験、自然体験を豊富に積み重ねることが大切であると認識します。地域社会における、これらの体験活動は、子供たちが自らの興味・関心や自らの考えに基づいて自主的に行っていくという点で特に大きな意義を持っていますが、安心安全な場所や関連するグループが不足。定期的な場所として市民センターなどを開放して、リーダー育成や地域貢献プログラムを作成し、見守りながら実行させて、褒めて伸ばしていく環境が必要と考えます。
子育ては一人だけで育てるというより、いろいろな人や環境に関わってみんなで育てることが大事だと思います。
周囲のサポート、交流

行政の支援、補助金の充実
1970年代後半から少子化が始まったと言われています。また、格差社会の拡大や昭和時代の社会保障制度の限界や生涯賃金格差の拡大などにより、将来不安を感じる中間世代が多く、結婚や子どもを産み育てようとする 希望のもてる社会又は国づくりが必要です
これということは思い浮かびませんが子育て世代が安心して生活できるようコミュニケーションが取れる日常生活が送れたらと思います。
マンパワー
子どもや子育て世帯の現状の把握と理解を支援団体だけではなく、地域住民全体が共有できるようになること。そして連携できること。
行政の経済的な支援
母親への支援が絶対必要 所得の多い少ないは関係なく、育児ヘルプ必須。食事の確保。食事は無税に。誰でも保育必須。言わなくても当たり前前に優遇されるサービスの提供。世代の違う方の理解。大学まで教育の無償化。
学校教育と遊ぶ場所作り
まずは地域での日常的な挨拶の推進やコミュニティづくりとして子ども食堂を継続していく。
経済支援、預け先の充実など
親の意識改革
繋がり
行政の理解と横の連携会議 政策の補助金だけに限定され、柔軟な発想が乏しい
・地域に密着したお祭り、町内会の行事等を通じた孤立を防ぐ繋がり。 ・学校（社会教育施設含む）と地域のより強固な連携・介入。 ・乳幼児～小学生だけでなく、中学生以降も無料で利用できるサービスの充実化。（保護者が家計や時間に余裕がないため。）
関係機関、支援機関が一つの窓口でわかるシステム、ワンストップサービスの周知が行き渡ること。
子どもはやがて大人になりますが、その成長の過程を一貫して伴走できるような仕組みがあると良いと感じています。特に小学校から中学校、高校、大学、就職という一連の流れの中で、ステップアップするタイミングで様々なリスクがあると捉えています。地域社会の中ではそれぞれの役割によって支援が途切れてしまうことが見受けられます。どのプレイヤーがここからここまでを見る、と言う形ではなく、複数（5, 6団体）の主体が本人の成長やステージに合わせて、入れ替わりながら支える仕組みが必要ではないかと考えています。そのためには全体の座組を考えるケースマネージャーが必要だと考えます。
大人社会の余裕（時間・金銭・気持ち・優しさ・共感・良好な人間関係）
保護者を支える取り組み
PRです。
子育て中の母親の支援。 いじめ対策に傾聴を活用し、教育に盛り込んでいく
理解のある大人
当事者以外への認知拡大、多世代交流の場

発達障害と診断されないグレーな子どもたちの対応が遅れる、もしくは見逃されて、問題が大きくなったりすることが多いと感じている。
学校教育の段階から第3の居場所として芸術文化活動やスポーツ活動など、様々な団体や社会教育施設とつながりがつくることだと思います。そのためにも、在学中のこどもや家族への周知の円滑化や、情報発信の一元化などを進めるなど、つながりをつくるきっかけづくりを進めていく必要があると思います。
市民の理解 若い人たちの力
相談支援事業所の拡充。相談支援員や児発管になる為の研修会の拡充。医療的ケア児を持つ親の働き支援や補助金等の支援。
貧困家庭支援のロードマップ作りが必要
我々の活動範囲の中で言うと、児童相談所が機能不全に陥っていると思います。人員が足りていないことと、一時保護所が少ない。
そこに行けばきちんと話を聞いてくれる人が常駐している場が複数あること
子育てしやすい環境づくり。働きやすい職場。安心して集える場所。相談がしやすい環境。
お父さんお母さん初め、大人が元気になること。特に家族の太陽の存在の「お母さん」が笑顔になる取り組みが必要と考えて活動しています。
情報提供や発信が大切です。
縦割りやサービスごとではなく、「こども」ファーストで交流はもちろんのこと、関わる人が学び合う場所が必要だと思います
目標があり目標に向かって行く事で様々な経験をするし、考えて完全に育って行くので目標や、やりたい事などの提供
短期的成果ではなく、中長期的視点での取り組み
世話焼きな地域住民。活動場所。行政の子供若者局、都市整備局、市民局、健康福祉局、経済局などの縦割り行政でなく、横断的な関わり
地縁縁故などの古い習慣から脱却すること。役職などの長期化、複数化を行政自ら防ぐこと。
その仕組み（組織）とリーダー
色々な立場、ジャンルでコミュニケーションのきっかけになる機会があること。
児童発達支援や保育所等訪問支援の支給量は他自治体と同様の量の支給をしてほしい／お金を掛けてでももっと行政が積極的に福祉サービス情報発信をしてほしい／行政の縦割りをなくし（保育園管轄・幼稚園管轄・障害児児童管轄・学校管轄など）仙台市に住むお子様一人ひとりの健やかな成長のために官民一体で連携していくことが絶対的に必要／仙台市立学校の学校によっては電話対応もまともにできないところもあり、教員である前に社会人としての質が低いので、しっかりとした人材育成が必要なのは！また、学校の外の世界（支援機関などの社会資源等）を知らなさ過ぎてまともなコミュニケーションが図れない
多様な選択肢が選べること
見守り
障害の理解

じぶんの家庭を大切にしながら、こどもや子育て家庭の必要を手助けし、関わることをやめないことが必要だと思います。
周りの大人の理解と優しさ
年代に関係なく子ども達に関われる場が必要と思っています。市内ののびすくは、もっとそういう関りが持てるよう門戸を広げてほしいと思っています。または、子育て支援団体主催の催しができる場所（安価で）があるといいなと強く思っています。
普段からの地域のつながり・地域で気かけあう関係などを若い世代にも継承し、地域活動への担い手になってもらう。地域のおせっかい役の掘り起こし、小学校区ごとでの子育て世代や子供たちの居場所づくり
ストレス・気兼ねなく語れる場。ゆえに、風通しを良くするの世代間交流と地域内交流の場づくり。
親世代の心の余裕（時間や経済的なもの）
学校の枠をこえて地域教育の場を創り上げることだと感じます。
地域への愛着心を涵養するための各種の活動が必要。活動に参加を促すことで、匿名性が解消されるよう工夫すること。
経済的・時間的な余裕、整理収納の知識
根本的には、国や自治体の子育て関連予算の抜本的な大幅増額、親世代の勤務時間の先進国並みの大幅縮小、そのような改革意識を持った議員・首長の育成、輩出。
いわゆる大人がこれまでに教え込まれ、無条件に「正しい」と思い込んで作り上げてきた価値観に基づく社会は立ち行かなくなっています。こども自身が自分らしくいられると思えるあり方を見つけ、それに合わせて社会がどう変わってイけるかを真剣に考えることが必要です。既存の価値からいかに自由でいられるか、新たな価値を加えられるかを追究してきたのが芸術文化です（既存の価値に追従するだけの芸術文化もありますが）。こどもが自らの人生と向き合い、それを肯定していくために、芸術文化がますます必要だと思います。唯一の解答などがない芸術文化が果たせる役割や活かせるすべが無数にあります。
情報が集まり、発信するセンター
子育て親世代への卓育教育（妊娠中から） 子育て支援団体へのバックアップ
大人達の協力や居場所の確保
相互理解ならびに協力
高齢化した地域の子育てへの理解や受け入れ協力。あとお金。
子育て世帯の収入にかかわらず孤立を防ぐこと。子どもが普段どのような家庭環境で育っているのかは、なかなかみえてこないことは、問題だと思う。だけど親が他人に介入されることを拒む気持ちもよくわかる。伝わりにくいかもしれませんが。子どもが清潔な環境で、心も体も健やかにいられること。また、正しい生活習慣を身につけること。当たり前だったはずのことが、出来ていないことが問題の一つだと感じます。親の教育と言ってしまうと、言葉が良くありませんが、生活していく力が、多分大きく欠けているのだと考えています
大人の学び、子供の人権についてアップデート

一人一人がより責任感を持ち、全体感の把握と課題の整理に務め、学び続ける姿勢を大切にすること。学び、対話、協働の意識が低いことが課題だと思います。
「地域社会全体でこどもの健全な育ち・・・」をするという考えは両手をもって賛成です。団体のミッションでもあります。が子ども・子育て支援法等の規定では幼児期への支援を想定されています。学校教育に勤務し定年退職後に児童館の館長を2年経験しました。設立当初は中高生が来館して下の子ども達とも活動を共にしていた痕跡があちらこちらに残っていました。児童館が中高生の社会へ入っていく入り口として機能していたとか考えられます。女性の就労の増加などの社会情勢の変化などによって、子どもを預けざるを得ない家庭の増加により、中高生が入って行く余地は奪われ地域で受け皿をつくってこなかったところに放り出された感があります。建前上は児童福祉法の18歳未満の児童と規定されている児童の定義されているものが、幼児期への支援へと変わってきて、中高生への支援がおざなりになってきている。そこで、中高生へも社会課題に関心をもって多世代の人と関わることができるこども食堂や地域食堂へ積極的に関わられる仕組みづくりが必要と思われまます。
学校、保育園、幼稚園などと地域内の様々な団体との連携協力
「正しさ」だけに依存しないといいなあと。
地域の理解を得るために行政・民間・地域の円滑な連携をはかることが最も重要であり、こどもを育てるためには、その基盤づくりを、その全体で行うべきと考えるから。 ※児童保護の指針としてすでにうたわれていることではあるものの、現在に至るまで机上のものとなっており、それが具現化できていないことを痛切に感じるから。
家庭教育
親子や、子育て中の方、その支援者が気軽に利用できる、適切な支援情報や場所、人手。子どもに対して関心を持つことが必要だと思う。私には関係ないではなく近くにいる大人が地域の子どもに関心を持ち、困っている児童・家庭に対して民生児童員さんを活用しアプローチ、それぞれの関係機関へと繋げていきながら支えていくのが良いと思う。
妊婦、母親、配偶者、その他の同居家族に対し禁煙を啓発し、胎児及び子供の受動喫煙を防ぐ事
保護者も巻き込んだ活動（保護者の理解度や協力が子どもの参加頻度にも関わり、子どもの学外での活動をいかに保護者が聞いて肯定・応援し、子どもも家庭内で活動について話せているか）
子育て中のママ、パパを応援し続ける。
家以外の子どもたちの遊び場確保（フリースペースなど）
偏見や間違った理解を変えていく、行政がそこをまず理解しなければいけない
子供達が思いっきり地球（泥んこ遊びから木登りできる広場から、山野や水辺などなど）と遊べる十分な機会と場
日、祝日も無料で気軽に遊べる地域の施設（児童館）が開館してパパママと子供が自由にのびのびと遊べるような取り組みがあっても良いと思います。
地域の積極的な介入を許容できる社会の確立

子どもの縦割り異年齢居場所作り、スタッフ、ボランティアも世代を超えて繋がり支援が出来たらと思う。
親子が一緒になって活動へ参加できるイベントメニューをたくさん準備して活動する機会を増やしてあげる
行政の連携 各団体との連携 近隣の諸団体と子供たちのために繋がるのが大事
スタッフと参加者が一体となった十分なコミュニケーションのとれる和気藹々とした会の開催に心がける、企画をすること。
必要なもの/(あくまでも理想ですが) 物理的に広い場所です いろんな地区の子どもたちが一緒に遊べる場所があると、子ども同士、親同士のコミュニケーションが生まれます(例/東根ベにっこひろば、かいひん等) 小さいパイの中では、結果的に小さなコミュニティしか生まれないので、意味はありません
解決方法/子どもをメインにした大がかりな定期イベントをうつことだと思っています 現在、8/16に金蛇水神社で妖怪イベントを組んでいますが、そうした共通体験を与えることによって、地区の壁をなくすことができるのではないかと考えております
お母さん、お父さんに時間、金銭的に余裕が持てる生活。大人も野外遊びの経験を積み、子供と楽しめる経験(機会)
私達は、子連れのママ達に出会うと、笑顔をむけて、声をかける活動を密かにしています。ママ達は、周囲にとっても気を遣い生活されています。子どもは、動くし、泣くし、予想つかない行動をするもの。それは当たり前であること、いつでも助けるし、そういう気持ちであることを、出来る人が発信することから始めることが大切だと考えています。
多方面で子育て支援の場所や、機会等が増えた反面、支援を受けた後、その先に親子が自分らしく子育てを行う支援が足りないと感じる。親子が自主的にやりたいことを実現できる場や環境を作る、そのためには支援があくまでも後ろや横で支える・見守るまなざしをもつことが大切だと感じる。
マンパワーは絶対必要。ただ、ボランティアを募れば良いわけではない。有償にする、支援したいときは仕事を気軽に休める、など幅広い年代が集まるとよいと思う。
気軽に悩みを相談できる場所がもっとあればいいなと思います
ゆるーい繋がり みんなで育てるという気持ち
体や手先を使った遊びや、他者との交流、新しい経験や感覚等、その発達段階に合った生活や活動を行って行くこと。また、保護者が安心して子どもにそれらの経験をさせてあげられる環境の整備。
健全な育ちには親の心のゆとりが大切だと思うので、子育て中の人たちを支えて見守るために自由な時間がある大人が地域にたくさんいて、いろいろな催しなどでふれあえると良いと思う。支える側もその時間を楽しめたら最高の関係になると思う。
子育てを応援している団体があることを、知っていただく。
常に気かけ、見守り、普段と違う様子にいち早く気づくこと。
親のリラックスと育児相談
行政と民間との協働事業及び財政支援

<p>支援団体の横のつながり、困っている親子の支援だけに目を向けがちであるが、楽しみたいもっと頑張りたい親子の支援がない。子育てをもっと楽しめる環境づくりこそ、必要である。</p>
<p>①様々な立場の人達が横につながり連携をはかっていくこと。②社会全体の理解と支援③子育て中の親の支援</p>
<p>地域住民全員が地域に住む子どもたちの顔がわかり挨拶や声かけができるようになったらよいとおもいます。まずはお隣からはじめましょう。</p>
<p>行政及び中間支援団体の実態的支援</p>
<p>色々な人と関わり、たくさんの出会いから自分がときめくことを見つけて欲しい。異年齢の方との交流。</p>
<p>その地域でのコミュニティづくりは防災、防犯上でも非常に重要と考えます。その為の仕掛けづくりの一環としての多世代間交流は大変有効であると感じています。交流を通してお互いが顔見知りになり、街の店舗や道路上で挨拶が交わせる関係を構築し、個々のスキルが次世代につながり、地域社会の構築が推進される環境が整えられていく、それこそが地域における安全安心な子育て環境の整備に他ならないと考えます。特に、仙台市の場合、マンションや集合住宅が非常に多い地区もあり、地域単位だけでなくマンションやいくつかの集合住宅単位でのイベントや企画の実施も必要と考えます。一方的な行政区割りのみではない方がいいのではと思いますし、もっともときめ細かな働きかけを実施していくためにも我々のような団体はまだまだ足りていないと思いますし、それらを推進するための活動資金が必要であると感じています。</p>
<p>転勤族が多く家族が遠方の人が多い為、そういった母子が孤立せず気軽に相談したり情報を得られ、サービスを利用出来ると良いと思います。</p>
<p>年代により地域との関わり方が変化してきているので、何をどうすれば良いのか全くわからない。ネットが発達したが活動している者達には追いついていけないこともあり、不安しかない。</p>
<p>子どもが遊びやすく、様々な大人も過ごしやすいよう、仙台市の条例を変えていけると良いと思います。例えば、公園の水を遊びに使用してはいけないことや、開催時に横断幕や看板をフェンスや木に掛けてはいけないこと、木登りをしてはいけないこと、木にロープをかけてはいけないこと、虫等の生き物をとってはいけないこと等、様々なルールがあり、地域の子供達も自由に遊べる環境をつくりにくい現状があります。</p>
<p>特に幼いお子様を子育て中のママ、パパ達が孤立しない環境作りをしていくことが大切かなと考えております。大人同士の会話も大事な息抜きだと思いますし、子供同士の世界も広げてあげられたら、その後の友達作りの基礎ができるのではないかと思います。</p>
<p>子育てをしている人が誰でもいつでも相談出来たり、子どもを頼める環境が出来ると、安心できると感じます。保育園に預けても病気をしたり、親が病気になった時等、お手上げになってしまいます。地域で子育て孫育てを経験した人達が、子育てを手伝える仕組みがあると良いと思います。親が遠方の場合、地域に頼れる大人の存在があると安心だと感じます。私自身が遠方に孫がおり、日々感じています。</p>

「母親だけ」「家庭だけ」「学校だけ」で問題を抱え込まず、関わる大人たちみんなが問題を共有し、知恵を出し合っていけたらよいと思います。個人情報扱いはデリケートな問題ですが、子どもを守る上では個人的なことに踏み込むことも必要な場合があるので「特例」として扱うガイドラインを決められないものでしょうか？困難な状況にいる子どもにとって、親身になってくれる大人がいることが伝わるよう、伝える方法を考えることが必要かと思います。

保護者の力も必要だと思いますが お仕事で忙しいのでご意見だけでもいただきたい がやはり 保護者にも関わっていたきたい 私達 地域はお手伝いはできるので

行政が子育て世代に寄り添う気持ち、行動。子育て支援活動をしている個人に対しての関心、寄り添い。そして子育て世代への繋がりを持たせること。

昔に戻る。30年収入が上がってないのに税金や物価が上がり続けている。親世代の収入が少ないので共働きをしなければ生活苦の現状。生まれてすぐに預けられ、親が子どもとの時間を取れていない。核家族化、地域との関わりの薄さ、若者の借金での婚期の遅れ、情報操作。現状からわかるように国は庶民のことなど考えていません。そこに気が付かないと変わらない。個人個人が手を取り合って協力すれば政治に依存しない。添加物の多さ、農薬の多さ、医療の闇、お金への依存、移民の流入、海外へのばら撒き、日本の土地や水を海外に売る、環境破壊など。すべてがビジネス。学校、教育という名の洗脳教育。本来、子どもは自由であるはずなのに、一律に教育され、勉強という押し付け。個性潰し。庶民がいるから国というものがある。庶民が生活をまわしているという認知の薄さ。生活をするということだけで頭がいっぱいで色々考える、調べることができなくされているので現状が変わらない。子ども食堂がなぜこれだけ増えているのか？原因を深掘りして考えれば理由は明確です。ひとりひとりが少しの自由を持たされて支配されていることに気が付かないと変わらないんです。

しょうがいの有無に関わりなく、誰一人、分け隔たりなく、かけがえのない一人の人間として尊重しあえる社会となるよう、官民が協働して支えていく風土や環境を醸成していくことが大事。我々の活動の背景には、しょうがい者に対する正しい理解が、まだまだ社会全体に根付いていないこと、これは大人の理解不足や無関心さが子どもにも影響を及ぼしていると捉えており、世代を問わず啓発し続ける必要性を感じています。

まずは支援団体の存在をアピールするべきではないか。情報をキャッチできる家庭とそうでない家庭があると思うので地域であれば町内会の回覧板などで子育て支援団体の存在やどういう活動をしているか積極的にアピールする。のびすくにいつてる家庭は知ってるけど、それ以外は知らないという可能性もある。その上でより踏み込めるなら各地域で年1～2回、子育て世帯の為に支援団体を呼んで勉強会やお悩み相談会などを開ければ、子育て世帯と地域がそのイベントを通じて繋がることできる。また参加した人から次回どんな団体や人を呼んでほしいかをアンケートなどでヒアリングし次の開催の参考になれば良いと思う。これは市のみならず区並びに町や村など各所の連携も必要である。故に行政との連携・働きかけができる力を持ち、要請があった時にすぐに対応できる迅速さも必要ではないでしょうか。

情報の共有が、かなり大切だと思います。例えば小学生は放課後は何時までに帰宅することがルールになっているのか、それを地域の人も知る機会があると声掛けや見守りに深みが出るように感じます。
ある程度の子どもの数が必要
大人の笑顔
地域住民みんなの見守り
様々なことで悩む親子がワンストップで繋ぎ先を見つけられる相談機関
私は、フルタイムで仕事をしながら市民活動をしつつ、2児の子を育てている母親です。私が仕事も、市民活動（自分の好きな音楽活動）も、子育てもなんとかこなしているのは、夫の存在が大きいです。夫自慢になります。我が夫はすごいです。たとえ私の命が明日で途絶えようとも、二人の娘をしっかりと育てていってくれると思います。それほど、家事（家庭）も育児も主体的に考えてくれて、夫婦で協力して生活しています。女性の社会進出や躍進に伴い、ずっと家庭の在り方が問われていますが、最近、少しずつですが（特に若い）男性の意識も変わり始めていると感じます。こどもの健全な育ちや子育てを支えていくには、家庭基盤における男性の主体的意識はとても重要だと思います。
《こどもや子育て家庭にとっての「居場所」「頼れる先」がたくさんあること》 例えば、ご近所のコミュニティ、こどもと一緒に通えるお店、児童館や子育て支援センターなど。その中の一つとして、これまでは「保育の必要性認定がある入園児さんだけのもの」だった保育園を地域に開いていくことを実践したいと思い、私達は保育園内でのこども食堂や、こども誰でも通園のもととなった定期一時預かり事業などを実践しています。保育園以外の様々な施設も、子どもたちや子育て家庭に開かれていくと、もっと居場所が増えるように感じます。また、医療的ケア児や重度心身障害児など、在宅や入院の機会が多くなる子さんにとっては、もっと「家や病院まで訪問して支援する」サービスが充実するとよいとも思います。さらに家と園や学校をつなぐ移行期間中の支援についても見落とされているので拡充が望まれます。
《こどもや子育て家庭にとっての「選択肢」がたくさんあること》 …例えば障害があっても当たり前に入園の機会が得られたり、共働きができたり、色々な体験ができる選択肢があること。これらを整えるにあたっては、既存の制度の改定や新設、こども子育て領域への予算を増やすことなども不可欠だと思います。また、民間の協働もますます必要になってくるのではないのでしょうか。（例えば、アーチルさんに発達相談をして障害福祉サービスの支給認定を受ける際、行政委託の児発センターへの紹介しかされず、一方でそのセンターは利用予定者がいっぱいなので順番待ちになっていた、というケースも多く聞きます。）
マンパワー
専門的な知識、技術、経験（医ケアの子どもに関わる）
地域連携

5. 仙台子ども財団に対するご意見

問40 仙台子ども財団について、ご意見があればご記入ください。

※原文のまま掲載（斜体部分は財団補記）

これからの発展に期待しています。
職員の先生方の力は 大きいです 皆さん 一生懸命取り組んでいただいています 応援しています。私で力になれることがあればお手伝いさせてください。
色々調査していただきありがとうございます。
子どもの居場所作りや屋内の遊技場などを作って欲しい。
今後協力できることがあればよろしくお願いします
今後、仙台子ども財団さんの活動を、具体的に知っていきたいと思います。
福祉関係にもご協力をお願い致します。
ご指導よろしくお願い申し上げます。
上記のテーマに関する貴団体の所見を連絡いただきたい。
当会のような団体との連携ができると良いと思います。
家庭教育支援の指導・体制・組織づくりなど
塩竈市も含めてください
特にありません。
とても期待しています。協力いたします。
地域の子どもの未来に向かって前向きに取り組めたら素晴らしいかなと考えます。
いつもありがとうございます。
子供と家庭を分けた支援が必要と思います
引き続きよろしくお願いいたします。
何をしている団体か分からない
活動への資金援助
色々ご協力頂きありがとうございます。
助成金はありますか
こどもの健全な育ちのために、これからも良い企画をお願いしたいです。
ない
特にありません
未来のまちづくりに欠かせない大切なセクションだと認識しております。
素晴らしい取り組みと思います。
色々ご相談させていただきたいです。
塩竈市の子どもたちにもご配慮ください。
あまり知りません
これからも子供達のために頑張ってください
子どもたちが健やかに育つための環境づくり
禁煙推進や受動喫煙防止が子供を育てるうえでいかに大切かを取り上げて欲しい

期待します。協力します。
子どもをまん中にした多方面の取り組みをありがとうございます。私たちも同じ思いで、活動を継続して行きます！これからもよろしく願いいたします！私たちが協力できることがあればぜひ協力したいのでご連絡お待ちしております。
「子育てが楽しいまち」は大人視点。こども側から見れば「育つのが楽しいまち」、それを目指していただきたいです。
設置の目的や活動の意義について賛同しております。これからもご一緒にできることがあれば積極的に活動に参加したいと思います。
一人親家庭、特に母子家庭は仕事を掛け持ちして、家庭経済を支えている。そのため、子が一人で過ごしている。あるいは上の子が下の子の面倒を見ている。このままでよいのでしょうか？
引き続きこども子育てに尽力いただくことやみなさんが実際に見聞きした情報をもとに仙台市政への少子化対策や子育て支援の充実につなげて行ってほしいと思います。
活動が見えない
貴財団は、仙台市だけの活動に特化しているのでしょうか？宮城県全体で子育てを支えて、支援していくことを視野に入れて、他の市町村にも様々なアプローチをしてほしいです。
こどもの屋内施設を作って欲しいという要望が先日出ていましたが、本当に必要だと思います。また地域で包括的に色々なこどもたちを支えるために、こども食堂やプレーパーク、学習支援などまでカバー出来るような複合施設にした方がいいと思います。
特になし
地域との連携と簡単に言っても障害のある子供を受け入れてくれる方々は少なく感じます。差別のない内容の発信をしてほしいです
アンケートの結果を楽しみにしています。
大学生などの若者と一緒にやれることがあれば、ぜひ！
素晴らしい活動を応援しております。
なし
不登校や自死率の高い地域です。中高生以上の居場所づくり、仙台のこどもたち意見を発表できるフォーラムや市長とこどもたちの定期的な意見交換会の実施等こどもたちの声が多く聞くことができる街づくり、そして、こどもたちが街を作って行く実感をえられる活動の展開がきたらと感じています。また、転勤してきた方から仙台は子育てしにくいという言葉がうかがえます（首都圏と財源の違いはあるでしょうが）もっともっとスピードをもってこどもを育てやすい環境づくりが必要と痛感しています。そして、ヤングケアラーや特定妊婦、要保護児童等今仙台市が抱えている課題について現状の発信が必要と強く感じています。こどもたちを支援するには保護者支援からということは多くの支援者が感じているところだと思います。課題だけをあげてしまいましたが、財団の発足は大きなきっかけだと思いますので、この機会を活かして『こどもたちの最善の利益』に向かっていきましょう。
貴団体について知らずにおりました。何か支援などしてくださるのでしょうか？

「子ども」というものに関心を持ってもらうにはインパクトのある情報発信が不可欠。仙台こども財団には子どもに関するたくさんの「へえ」を発信して欲しい。
地域各世代の交流に、こどもたちの安心安全な環境作りに参画してもらえるフローを構築して欲しい、また私たちのような任意団体も行政や企業との交流することが叶えばありがたいです。
アンケートは項目が多すぎる。必要とする内容を絞り込んで実施のこと。この際だからあれもこれもアンケートは結果として回答率を下げるもの。
特になし
①財団のことを余り理解していませんが望むことは、各団体やネットワークの活動実態を把握していただき、予算措置などを講じていただけたいことを望みます。②各分野の活動を横繋ぎしていただき、困難を抱えている方々が安心して暮らせるような施策が講じられることを切望します。
みやぎこども食堂ネットワークと仙台こども財団の連携があればいいのではと感じます。みやぎこども食堂ネットワークの窓口を東北ふうどばんくアサインが担っていて、支援品がある時はメール等で連絡があり、受け取りにしています。また、東北ふうどばんくアサイン様はむすびえの宮城県の窓口にもなっています。今後、仙台こども財団とむすびえの関係性はどんな風になるのだろうか？ということも気になっています。今後とも、どうぞよろしくお願いします。
本来なら行政が取り組む問題。財団といえども力不足が否めない。抜本的な解決策を行政と協力して編み出して欲しい。
宮城こどもホスピタルの実現に協力したいです。財源の確保にご尽力いただきたいと存じます。
実施するためには安定した資金が必要です。食材か購入資金提供情報がいただければありがたいです。
特にございませぬ。
公助と共助の連携に尽力されますよう期待申し上げます。市民社会の熟成と子どもの未来の為。
今回のアンケートの質問内容「地域社会全体でこどもの健全な育ちや子育てを支えていくには何が必要だと思いますか。」については、他団体や地域の皆さまと話し合いながら探っていきたいと感じました。テーマが壮大で、アンケートフォームでの回答が難しかったです。
わたしたちは不登校に悩む親と子の支援をしています。子どもの健全な育成のためには親の、大人の支援が必要かと思えます。どうぞ宜しくお願いいたします。
上記のような切れ目のない支援の実現、そしてその後社会に出てからも若者が活躍できるような地域の基盤を構築いただけることを期待しています。そのためには現在地域でご活躍されている様々な団体が、それぞれの得意分野を活かして連携することが重要だと考えています。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。
特になし

<p>1. 教育委員会などとの連携（子どもに情報を届けるためには学校を通すしかないことが多い。教師にゆとりをもって子どもを見てもらうための支援） 2. アウトリーチの強化のための人材育成 3. 資金援助「委託」ではない、「仙台市の子どものため」の事業をきめ細かく行える複数年の助成金など</p>
<p>これからだと思いますが、仙台市に住むお子様を取り巻くネットワークの構築（行政・保育園・幼稚園・学校・児童発達支援・放課後等デイサービス・相談支援事業所・保護者・その他支援機関）で旗振り役をお願いしたいです。</p>
<p>この分野で活動している人・団体の意見を活用してほしい。ただし、目先を変えるのではなく、安定した信頼できる運営をしてほしいです。</p>
<p>仙台の中心地でイベントをされても、中心から遠い場所の方は参加しません。私事だと思えるような、場所・内容をお願いします。</p>
<p>回答はしましたが、こども・子育てに特化した活動ではないため、回答の選択に当てはまらない項目が多いので、あまり参考にならないかと。</p>
<p>社会課題は連鎖しているものが多いので、広い視点で取り組んだ結果として子どもの課題解決につながるような取り組みを進めていただければと思います。</p>
<p>健康福祉局からの案内で、このアンケートに記入しているが、法人格に株式会社がないのは、どのような理由でしょうか？株式会社が対象でないのであれば、そのように行政に伝えてください。</p>
<p>理想はわかりますが、やっている感だけの既存法人のような感じがする。地べたを這う活動の経験が少ないのでは。</p>
<p>現在、宮城県での「みやぎ子育て支援パスポート事業」や仙台市での「せんだいのびすくサポーター事業」に団体として登録して協賛活動を実施していますが、活動のメリットや助成金等が何もない状況です。例えば、そのサービスを受ける方々のみのメリットだけではなく、協賛企業や団体側でも活動実施単位でその地域の商店街で利用できるポイントを頂けるといった様な相互メリットの方法を構築するために、その地域の行政や地域振興会等との橋渡しをして頂く様な機能を持っていたらと思います。</p>
<p>家庭の問題は社会の問題も関わってくると思いますが、子どもを持つ親御さんがどのように子どもと関わるのが大切か、正しい知識をもってもらいたいと思います。子ども達の将来をどう思い、子ども達が夢のある未来を築けるか、大いに地域や教育現場に呼びかけ、皆で考えていったらよいかを提案して頂きたいと思います。</p>
<p>地域の現場などにも積極的に来て頂き、現状を把握していただくとともに仙台市へのことも関連の施策へ反映して頂きたい。</p>
<p>どんな家庭のお子さんにも楽しんでスポーツを取り組める様にして行きたいので、寄付を考えている企業との繋がりができればいいと思います。補助金はある程度受けていますが、まだまだ資金不足により行動の制限がありもどかしい気持ちでいます。</p>
<p>非常に期待を持って活動を応援しております。ぜひ仙台、日本、そして世界のこどもたち、ひいてはすべての人の幸せのために、当団体ができることをやっていきたいと考えております。</p>

私もそうですが、団体として支部の活動と、個人事業主としての活動との2方面から子育て支援をしておりました。団体は、キャリアがある方々が多いからこそ、子育て世代との直接の関わりはなかなか難しく、集客が大変なのもそこが理由かと思います。よって、個人の方が、自身のコミュニティの中で活動自由度が高く、より子育て支援に繋がっている実感があり、活動エリアも広がっております。団体と言うくくりだけがない意見も、取り上げて行かれる方がよりタイムリーな支援に繋がりがいいのではないかと思います。
仙台市が先駆けて行政と民間の中間的に位置付けで財団を設立した意味は大きいです。予算がつくからと国の施策だけに追随している県内の公共団体へ影響力を及ぼす取り組みをおこなっていただきたいと願うものです。
貴団体の活動についてもっと発信して頂くと、協働などしやすくなるかと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
恐れ多いですが今回の調査にて仙台子ども財団を認知しHPも拝見しました。取り組み内容も今後の自団体の活動計画の模範とさせていただきたいですし、さらなる詳細なヒアリング等が必要であれば喜んで伺いたいと思います。
ネットワークづくり、地域交流のための。助成金について、仙台市のは使いにくいです。期限もあり半額の助成金です。今後の活動を継続する為に意見をまとめて欲しいです。
環境の整備の資金助成を是非考えて頂きたい
ぜひ、子どもの体験を中心とした（無料の）イベントを企画しましょう！
引きこもってしまっている子どもを救う方法を、力づくでない方法でチームを組んでやれるノウハウを。。。(こちらにそれを望んでいいか分からないのですが)
なし
未来ある子たちの為、子育て世代のための活動を期待しています！
何を目的にしているのか、よくわからない。説明では、耳障りのいい言葉が並んでいるが結局何をするの？という疑問が残る。そこをわかりやすく伝えてほしい
貧困家庭や困窮への経済的な支援も大切だと思います。ただ、それだけではなく親も子も豊かな心を持てるような環境を整えたり、子ども達がやりたいことを実現できるような機会を作ったりするために、力を発揮していただきたいと期待しています。
子ども食堂に対する仙台市の助成金の拡充と仙台市内の子ども食堂ネットワークの構築
子育て支援員 仙台市のすくすくサポートの協力会員になって活動していますが、もっと会員が増えたらと常々思っています。自分がサポート出来ない時近くに変わりのかたがないととても残念に思います。
「IVその他」記載事項につながるロビー活動にも力を注いでほしい。 ※記載事項では「根本的には、国や自治体の子育て関連予算の抜本的な大幅増額、親世代の勤務時間の先進国並みの大幅縮小、そのような改革意識を持った議員・首長の育成、輩出。」と記載。
なし
子ども達が生活しやすい環境を一緒に考えていただけますと有り難いです。
役割や活動内容についてな広報をお願いしたい。

《子育て支援の情報発信》

上記、制度や予算についての検討は、財団ではなく行政の領域なのかもしれませんが、社会で子育てを行えるような発信はぜひ期待したいです。(例えば保育園や各施設などでのこども食堂の普及や助成、障害児等マイノリティの子どもたちについての発信や支援呼びかけなど)

《「社会で子育て」の意識醸成》

宮城県の出生率は前回のワースト2位、今回のワースト3位と低迷が続いています。様々な要因があるのだと思いますが、「社会で子育てを行う」意識・風土醸成はやはり大事ではと思います。例えば男性育休を取らせたいという会社が少ないのであれば、まずは意識醸成から…というところで、企業担当者向けの研修や、モデルケース企業や男性社員さんの発信からなど。仙台では「男性育休の取得率アップ支援」などの実際に数字を上げに行く施策の手前で、意識醸成からのスタートが必要なのかもしれないと思いました。

《縦割りではない一元化の支援》

現在行政の仕組みは縦割りであり、支援団体もやりとりに苦慮することがあります。例えば「医療的ケア児」の話をする場合、「こども若者局」と「健康福祉局」と局が分かれ、支援団体側が双方と話をせねばならず、話がなかなか進まないケース。また、「医療的ケア児の担当課はない」と言われてしまうケースもありました。これは利用者にとっても同様で、特に障害児にとっては由々しき問題になっていると思っています。医療的ケア児や重度心身障害児は、「医療」「障害福祉」「保育」「就学」「家庭」こどもにとって必要なこれらすべての担当課が異なり、だからこそ窓口がどこで、どんな支援が得られるのかわからないといえます。そのため、先日「医療的ケアが必要なお子さんと家族のための支援ガイドブック～仙台版～」を自主制作しました。

https://florence.or.jp/specialneeds.florence.or.jp/assets/medicalcare_guidebook.pdf

「こども」について一元化の支援ができる案内窓口や、ホームページ等の整備が必要ではないかと考えており、(質問をしたら必要支援が出てくるAI窓口とかでもいいですね!)これは財団さんでも今後テーマとして考えていただけると嬉しいです。

《全国をリードする姿勢と取り組み》

ぜひ「全国的にも新しい施策を立ててリードする」姿勢を期待したいですし、一緒に取り組みたいと思います。こどもに関わる施策において、「仙台市が他都市をリードしている」「独自で取り組んでいる」ものは少ないと感じていたので、(ただ、こども誰でも通園制度のモデル事業参画は先進的だと感じました。一方福岡市のように、国で決められたメニューに上乘せしてなにか取り組むことはなかったので、その点は残念でした)こども財団さんの設立は嬉しかったです!既存の考え方にとらわれず、こどもたちを真ん中においた施策を牽引していただく存在であってほしいと期待しています。

長文、すみません!(補足:アンケートに関しては、フローレンスの団体全体としてではなく、「仙台支社」として仙台に関する活動の部分のみを記載しました。)

特に

特になし。
児童センターの職員の優遇，人材確保を願います。特に学校の長期休業時の人出不足に危機感を持っています。
各種様々な子育て支援団体様と繋がれるような場を作っていただき交流をはかれる場などを設けていただければと思います。
私どもの小さな活動が、子育ての支えとなるように知恵を絞って続けていきます。お手伝いさせていただける活動があればぜひお声がけいただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。
仙台には様々な子育て支援団体が在りますが、仙台こども財団さんには、ぜひそれらの団体のハブになるような事業や仕組み作りを期待します。

V 調査を振り返って

本調査は、こども・子育て支援団体の現状等を把握・分析するために実施しました。回答にご協力いただいた支援団体の皆さまに、心より御礼申し上げます。

「貴団体の活動は次のどれに近いですか」の質問について、「世代を超えた交流・居場所づくり」の回答が最も多く、「貴団体が最も重要視している活動はどれですか」の質問についても、「世代を超えた交流・居場所づくり」が最も多いことが分かりました。具体的な活動内容として、医療的ケア児とご家族の仲間づくり、野外体験、こども食堂、放課後デイサービス、学習支援、就労支援、スポーツを通じた世代間交流、障がいのある方の芸術文化活動の相談支援、などが挙げられました。

「これまでに連携して企画・事業に取り組んだことのある団体・関係機関を教えてください」の質問について、これまで他団体・関係機関と連携・協働して活動に取り組んだ経験のある団体が9割以上を占めることが分かりました。具体的には、「地域団体」が最も多く、次いで「行政」、「小学校」が挙げられました。「今後一緒に企画・事業に取り組みたい、ほかの団体・関係機関はありますか」の質問については、「こども・子育て支援を主たる活動とする団体」が最も多く、次いで「児童館・児童センター」「企業」が挙げられました。連携・協働を通じて取り組んでみたい活動内容としては、世代間交流や異年齢のこどもたちの遊びといった《多世代》に関するもの、地域課題の発見と解決や地域の居場所づくりといった《地域》に関するもの、情報交換や課題発見・解決策実践の共有といった《連携・協働》に関するものが挙げられました。

本調査を通じて、支援団体の皆さまが多様な活動に取り組まれていること、連携・協働を通じ地域社会全体でこども・若者・子育て家庭を支えていきたいと考えていることが分かりました。当財団としても、ビジョンである「まち全体がこども・子育て家庭にあたたかく、すべてのこどもたちが健やかに育つ社会」の実現に向け、支援団体の皆さまが持つそれぞれの強みを生かしながら、連携・協働してより効果的な活動につなげることができるよう、取組を進めてまいります。

令和7年2月
一般財団法人仙台こども財団

VI (参考) 質問項目一覧

〈団体の基本情報〉

- 問1 メールアドレス
 問2 団体名
 問3 電話番号
 問4 FAX番号
 問5 団体の形態・種類
 問6 主たる事務所の所在地
 問7 活動地域
 問8 団体の活動開始時期（年）
 問9 団体ホームページがある場合はURLをご入力ください。
 問10 団体SNSがある場合はアカウント名又はURLをご入力ください。
 問11 貴団体は次の①～③のうちどれに近いですか？

- 〔 A：法人格を持つ団体・組織、または、マネジメント体制や規則を持つ団体・組織
 B：A以外の、自発的に集まって活動するグループ・サークル 〕

- ①Aに該当し、こども・子育て支援を主たる活動としている
 ②Aに該当し、主たる活動とは別にこども・子育て支援に取り組んでいる
 ③Bに該当し、活動の中でこども・子育て家庭と関わりがある

〈1. 団体の現状について〉

【Aの団体】

- 問12 常勤スタッフの人数を教えてください。
 問13 非常勤スタッフの人数を教えてください。
 問14 無償で継続的に事業活動や組織運営にかかわっているボランティアの人数を教えてください。
 問15 有償で継続的に事業活動や組織運営にかかわっているボランティアの人数を教えてください。
 問16 事業規模（単年度当たりの支出規模）を教えてください。
 問17 これまでにどのような種類のご寄附をいただきましたか？
- ・ 寄附金
 - ・ 食料品
 - ・ 衣料品
 - ・ 日用品（文房具、玩具、家具などを含みます）
 - ・ 有価証券
 - ・ 土地・建物
 - ・ その他
 - ・ 特になし
 - ・ 分からない

- 問18 昨年度、寄附に応じてくださった方・企業・団体の件数を教えてください。
- 問19 貴団体の活動は次のどれに近いですか？
- ・ パパママ教室（プレパパ、プレママ含む）
 - ・ 妊娠・出産・産後ケア
 - ・ 子育てサロン・育児サークル
 - ・ 子育て相談・育児相談
 - ・ 保育・一時預かり
 - ・ 貧困家庭支援
 - ・ ひとり親支援
 - ・ 放課後支援
 - ・ 遊び場づくり
 - ・ こども食堂・地域のふれあいサロン
 - ・ 学習支援
 - ・ 不登校支援
 - ・ ヤングケアラー支援
 - ・ 引きこもり支援
 - ・ 若者の就労支援
 - ・ いじめ・虐待防止
 - ・ こども・若者の相談
 - ・ 障がい児（者）支援、医療ケア児の支援（その親やきょうだいの支援も含む）
 - ・ DV・性被害を受けたこども・若者の相談・支援
 - ・ 外国人を対象にした学習・就労・生活等の支援
 - ・ 防災・地域の見守り活動
 - ・ 世代を超えた交流・居場所づくり
 - ・ 更生保護・更生支援
 - ・ 芸術文化を通じた体験・交流の場づくり
 - ・ その他
 - ・ 分からない
- 問20 前問で選んでいただいた選択肢のうち、貴団体が最も重要視している活動はどれですか？
- 問21 貴団体の活動について具体的な内容を教えてください。
- 問22 貴団体の活動はどのような方々を対象にされていますか？
- 問23 今後取り組んでみたい活動について具体的な内容を教えてください。
- 問24 活動のうえで抱えている課題はありますか？
- ・ 課題解決に向けた具体策が思い浮かばない
 - ・ 事業や組織運営に携わる人材が不足している
 - ・ 事業費や管理費などの資金確保が難しい
 - ・ 活動のスペース（実際に活動を行なうための場所）を確保することが難しい
 - ・ 参加する市民や利用者がなかなか集まらない

- ・自団体の活動について周囲の理解が十分ではない
- ・自団体の活動を効果的に広報・PRできていない
- ・職員やスタッフの資質向上のための取組が十分にできていない
- ・外部の研修に参加する/させる機会を持つことができていない
- ・組織運営や事務の面で不安を抱えている（知識・ノウハウの不足など）
- ・組織・事業運営の中長期的なビジョン・戦略を見出せない
- ・事業承継に不安を抱えている
- ・その他
- ・特になし
- ・分からない

問25 前問で選んでいただいた選択肢のうち、最も大きな課題はどれですか？

【Bの団体】

問31 貴団体はどのような活動に取り組まれていますか？

問32 活動人数を教えてください。

問33 活動のなかで、抱えている課題やお困りごとはありますか？

- ・課題解決に向けた具体策が思い浮かばない
- ・事業や組織運営に携わる人材が不足している
- ・事業費や管理費などの資金確保が難しい
- ・活動のスペース（実際に活動を行なうための場所）を確保することが難しい
- ・参加する市民や利用者がなかなか集まらない
- ・自団体の活動について周囲の理解が十分ではない
- ・自団体の活動を効果的に広報・PRできていない
- ・職員やスタッフの資質向上のための取組が十分にできていない
- ・外部の研修に参加する/させる機会を持つことができていない
- ・組織運営や事務の面で不安を抱えている（知識・ノウハウの不足など）
- ・組織・事業運営の中長期的なビジョン・戦略を見出せない
- ・事業承継に不安を抱えている
- ・その他
- ・特になし
- ・分からない

問34 前問で選んでいただいた選択肢のうち、最も大きな課題やお困りごとはどれですか？

問35 今後、どんな活動に取り組みたいです？ 具体的な内容を教えてください。

〈2. 連携・協働について〉

【Aの団体】

問26 これまでに連携して企画・事業に取り組んだことのある団体・関係機関を教えてください。

問27 今後一緒に企画・事業に取り組みたいです、ほかの団体・関係機関はありますか？

問28 どのような企画・事業を、一緒に取り組んでみたいですか？ 具体的な内容を教えてください。

ださい。

【Bの団体】

問36 今後一緒に企画・事業に取り組みたい、ほかの団体・関係機関はありますか？

〈3. 広報について〉

【Aの団体】

問29 広報や情報発信をする上で何を利用していますか？

- ・紙媒体（チラシ、ポスターなど）
- ・団体ホームページ
- ・LINE
- ・X（旧Twitter）
- ・Facebook
- ・Instagram
- ・TikTok
- ・YouTube
- ・ライブ配信サービス
- ・その他
- ・分からない

問30 （紙媒体を活用されると回答した方は）配布や掲示のためにどのような方法・場所を利用されますか？

【Bの団体】

問37 活動をお知らせする際、何を利用していますか？

- ・紙媒体（チラシ、ポスターなど）
- ・団体ホームページ
- ・LINE
- ・X（旧Twitter）
- ・Facebook
- ・Instagram
- ・TikTok
- ・YouTube
- ・ライブ配信サービス
- ・その他
- ・分からない

問38 （紙媒体を活用されると回答した方は）どのような方法・場所を利用して、配布や掲示をされていますか？

〈4. 地域社会全体でこども・子育てを支えるために必要だと思うこと〉

問39 地域社会全体でこどもの健全な育ちや子育てを支えていくには何が必要だと思いますか。ご自由にご記入ください。

〈5. 仙台子ども財団に対するご意見〉

問40 仙台子ども財団について、ご意見があればご記入ください。

令和6年度

こども・子育て支援団体の実態調査

令和7年2月

一般財団法人仙台こども財団

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル4階

TEL : 022-302-5275 FAX : 022-302-5276

MAIL : info@sendai-kodomo.jp
